平成30年度

日田市市民意識調査報告書

平成 31 年 3 月

目　次

第１章　調査の概要・・・

第１章　　調査の概要

第１章　　調査の概要

１．調査の目的

第６次日田市総合計画の基本計画については、計画期間ごとに見直しを行うこととしており、今回第１期基本計画の見直しにあたり、日田市自治基本条例第13条第４項の規定により、市民参画の機会を設けるために市民意識調査を実施しました。

２．調査方法及び回収状況

調査期間	平成30年11月22日～平成30年12月７日
調査対象者	日田市内に居住する高校生以上の男女
標本抽出法	住民基本台帳から無作為抽出※
調査方法	郵便による調査票の配布と回収
配布数	3,273人
回収数	1,604人
回答率	49.0%

※抽出手順

①小学校区を基本に市内20地区に分け、それぞれの地区の人口に応じて抽出数を割り当て。

②割り当てられた抽出数を各地区でさらに、男女別に10歳代（高校生以上）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分で均等に割り振り。

③住民基本台帳から、上記②の区分ごとで対象者を無作為に抽出。

３．調査結果利用上の注意

●図表・グラフ中の「ｎ＝」とは、回答者数を示しています。

●回答結果の割合「%」は小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問は、選択肢の回答ごとに割合を算出しているため、割合の合計は100.0%ではありません。

●図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

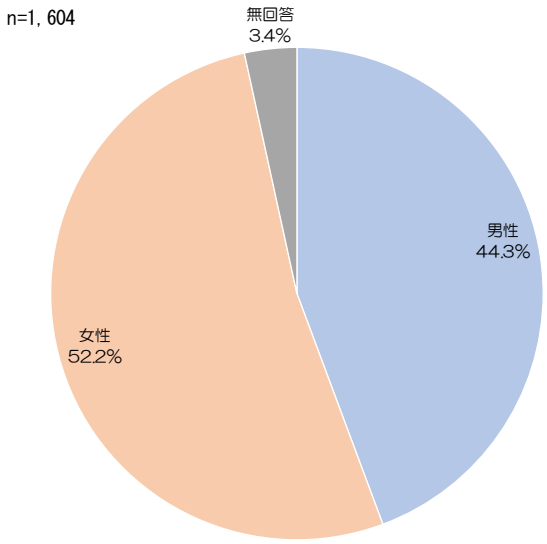
●図表中の数値などについては、一部省略している場合があります。

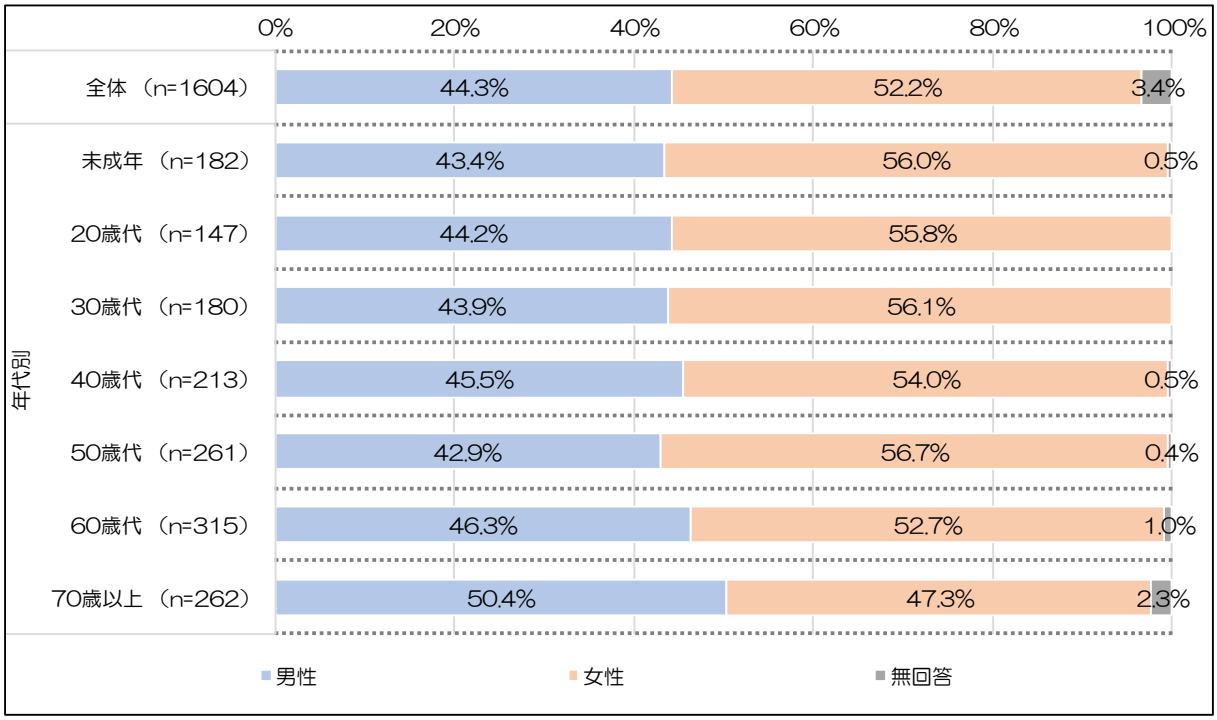
第２章　　調査結果

第２章　調査結果

【問１】あなたの性別を教えてください。（○は１つだけ）

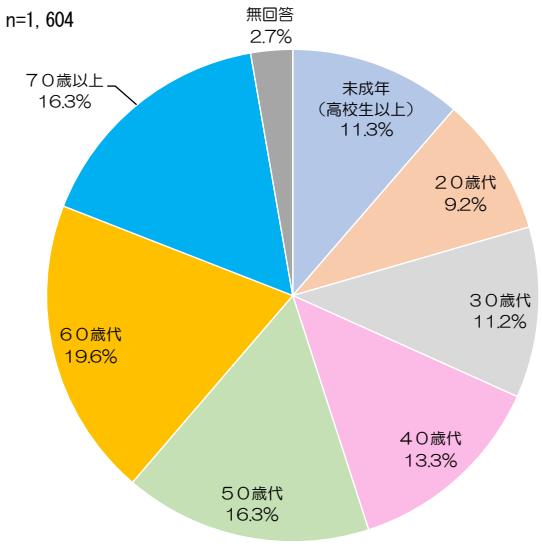
性別については、「男性」が 44.3%、「女性」が 52.2%となっています。
年代別にみると、「70 歳以上」以外で「女性」の回答の割合がやや高くなっています。

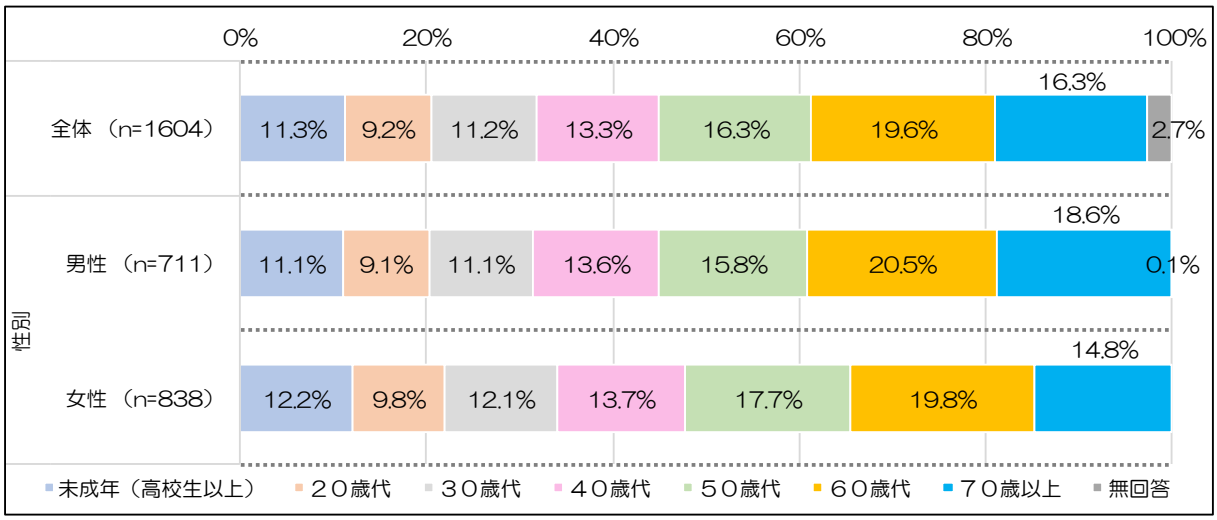




【問２】あなたの年齢はどの区分ですか。（○は１つだけ）

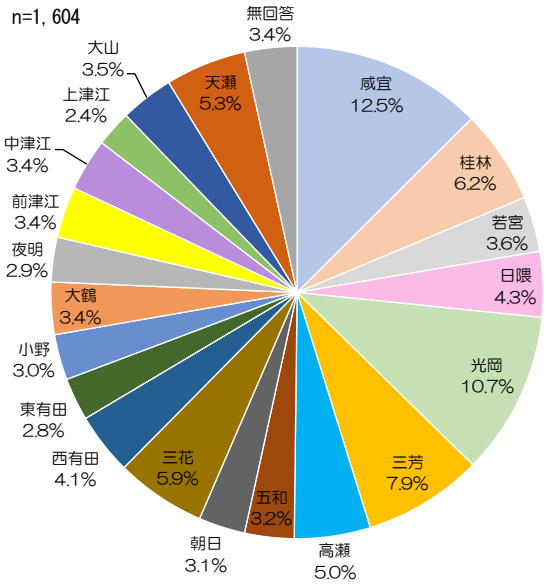
年齢区分については、「60 歳代」が 19.6%と最も高く、次いで「50 歳代」と「70 歳以上」が 16.3%、「40 歳代」が 13.3%の順となっています。





【問３】あなたのお住まいの地区はどちらですか。（○は１つだけ）

居住地については、「咸宜」が 12.5%と最も高く、次いで「光岡」が 10.7%、「三芳」が 7.9%の順となっています。



地区名	回答者数	回答割合	地区名	回答者数	回答割合
咸宜	201	12.5%	西有田	65	4.1%
桂林	99	6.2%	東有田	45	2.8%
若宮	58	3.6%	小野	48	3.0%
日隈	69	4.3%	大鶴	55	3.4%
光岡	172	10.7%	夜明	47	2.9%
三芳	126	7.9%	前津江	54	3.4%
高瀬	80	5.0%	中津江	55	3.4%
五和	52	3.2%	上津江	38	2.4%
朝日	49	3.1%	大山	56	3.5%
三花	95	5.9%	天瀬	85	5.3%
			無回答	55	3.4%

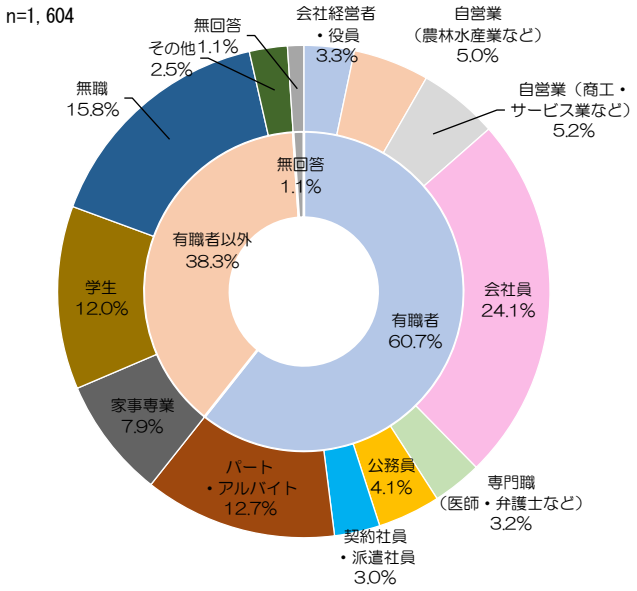
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	咸宜	桂林	若宮	日隈	光岡	三芳	高瀬	五和	朝日	三花	西有田	東有田	小野	大鶴	夜明	前津江	中津江	上津江	大山	天瀬	無回答
全体（単純集計）		1,604	201	99	58	69	172	126	80	52	49	95	65	45	48	55	47	54	55	38	56	85	55
			12.5%	6.2%	3.6%	4.3%	10.7%	7.9%	5.0%	3.2%	3.1%	5.9%	4.1%	2.8%	3.0%	3.4%	2.9%	3.4%	3.4%	2.4%	3.5%	5.3%	3.4%
性別	男性	711	88	34	24	27	84	51	38	23	28	47	30	21	20	26	20	29	27	18	27	42	7
			12.4%	4.8%	3.4%	3.8%	11.8%	7.2%	5.3%	3.2%	3.9%	6.6%	4.2%	3.0%	2.8%	3.7%	2.8%	4.1%	3.8%	2.5%	3.8%	5.9%	1.0%
	女性	838	111	64	34	42	87	74	42	28	21	47	35	24	28	28	26	25	28	19	29	42	4
			13.2%	7.6%	4.1%	5.0%	10.4%	8.8%	5.0%	3.3%	2.5%	5.6%	4.2%	2.9%	3.3%	3.3%	3.1%	3.0%	3.3%	2.3%	3.5%	5.0%	0.5%
年齢別	未成年	182	23	11	5	7	24	14	13	5	5	8	11	4	6	5	5	4	9	0	10	11	2
			12.6%	6.0%	2.7%	3.8%	13.2%	7.7%	7.1%	2.7%	2.7%	4.4%	6.0%	2.2%	3.3%	2.7%	2.7%	2.2%	4.9%	0.0%	5.5%	6.0%	1.1%
	20歳代	147	23	8	8	8	15	8	5	4	6	8	5	4	3	4	6	7	4	3	6	11	1
			15.6%	5.4%	5.4%	5.4%	10.2%	5.4%	3.4%	2.7%	4.1%	5.4%	3.4%	2.7%	2.0%	2.7%	4.1%	4.8%	2.7%	2.0%	4.1%	7.5%	0.7%
	30歳代	180	24	13	7	9	19	17	5	7	4	10	2	8	5	6	4	8	6	7	10	7	2
			13.3%	7.2%	3.9%	5.0%	10.6%	9.4%	2.8%	3.9%	2.2%	5.6%	1.1%	4.4%	2.8%	3.3%	2.2%	4.4%	3.3%	3.9%	5.6%	3.9%	1.1%
	40歳代	213	27	13	9	10	27	18	12	9	7	11	8	8	5	7	5	11	7	2	5	10	2
			12.7%	6.1%	4.2%	4.7%	12.7%	8.5%	5.6%	4.2%	3.3%	5.2%	3.8%	3.8%	2.3%	3.3%	2.3%	5.2%	3.3%	0.9%	2.3%	4.7%	0.9%
	50歳代	261	29	19	9	7	23	22	17	13	6	20	14	6	11	11	6	9	9	8	9	11	2
			11.1%	7.3%	3.4%	2.7%	8.8%	8.4%	6.5%	5.0%	2.3%	7.7%	5.4%	2.3%	4.2%	4.2%	2.3%	3.4%	3.4%	3.1%	3.4%	4.2%	0.8%
	60歳代	315	40	20	12	14	31	25	16	7	9	24	15	7	9	11	12	9	11	11	11	18	3
			12.7%	6.3%	3.8%	4.4%	9.8%	7.9%	5.1%	2.2%	2.9%	7.6%	4.8%	2.2%	2.9%	3.5%	3.8%	2.9%	3.5%	3.5%	3.5%	5.7%	1.0%
	70歳以上	262	35	15	8	14	33	22	12	7	12	14	10	8	9	11	9	6	8	7	5	17	0
			13.4%	5.7%	3.1%	5.3%	12.6%	8.4%	4.6%	2.7%	4.6%	5.3%	3.8%	3.1%	3.4%	4.2%	3.4%	2.3%	3.1%	2.7%	1.9%	6.5%	0.0%

【問４】あなたの職業（雇用形態）は何ですか。（○は１つだけ）

職業（雇用形態）については、「会社員」が 24.1%と最も高く、次いで「無職」が 15.8%、「パート・アルバイト」が 12.7%の順となっています。

男女別でみると、「男性」では「会社員」の割合が最も高く、「女性」では「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

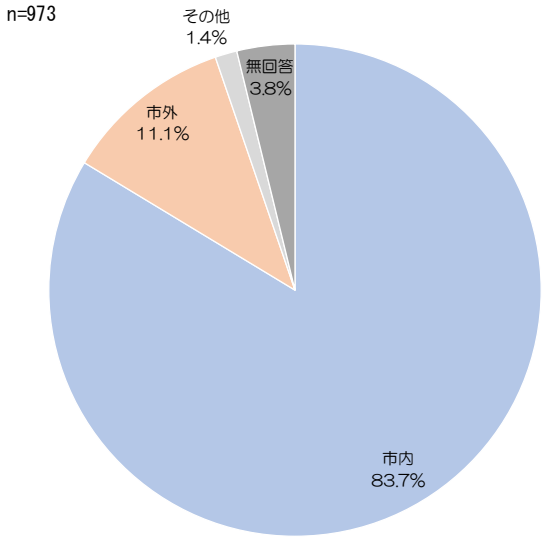


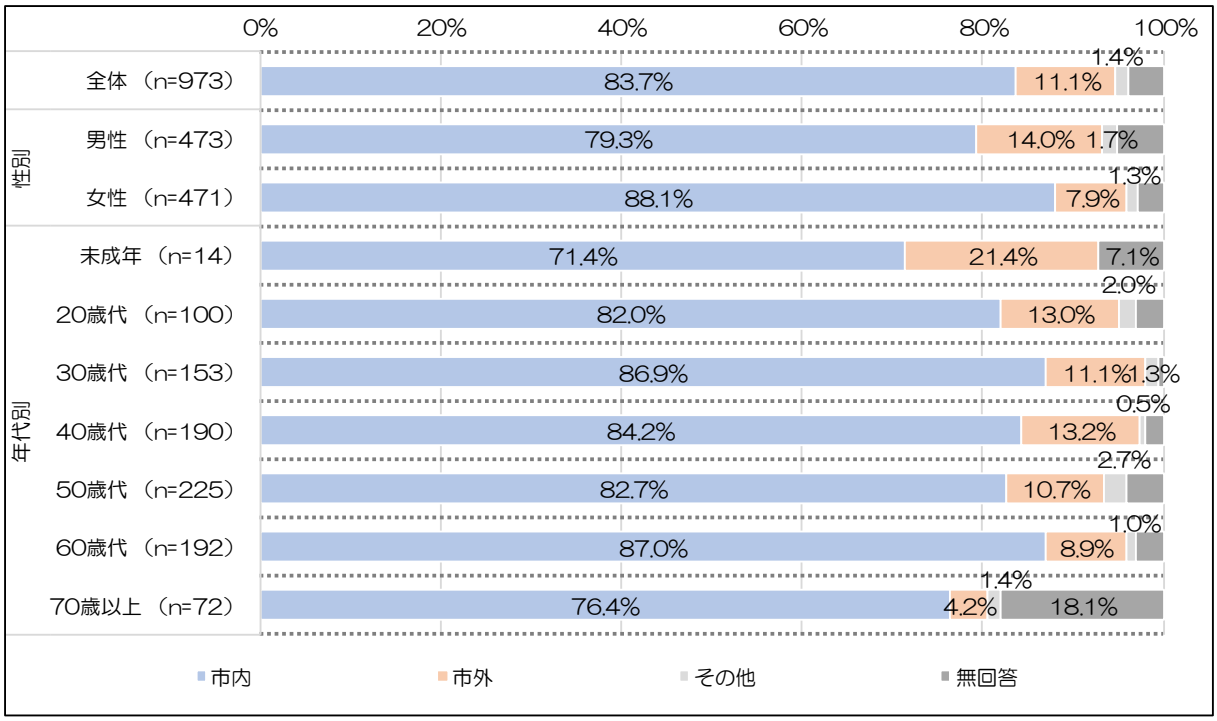
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	有職者								有職者以外				無回答
			会社経営者・役員	自営業（農林水産業など）	自営業（商工・サービス業など）	会社員	専門職（医師・弁護士など）	公務員	契約社員・派遣社員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	
全体（単純集計）		1,604	53	80	84	387	52	66	48	203	127	193	254	40	17
			3.3%	5.0%	5.2%	24.1%	3.2%	4.1%	3.0%	12.7%	7.9%	12.0%	15.8%	2.5%	1.1%
性別	男性	711	39	52	46	243	10	35	17	31	2	75	139	17	5
			5.5%	7.3%	6.5%	34.2%	1.4%	4.9%	2.4%	4.4%	0.3%	10.5%	19.5%	2.4%	0.7%
	女性	838	12	25	33	133	40	29	30	169	117	115	105	21	9
			1.4%	3.0%	3.9%	15.9%	4.8%	3.5%	3.6%	20.2%	14.0%	13.7%	12.5%	2.5%	1.1%
年齢別	未成年	182	0	0	0	10	0	1	2	1	1	165	2	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%	0.5%	1.1%	0.5%	0.5%	90.7%	1.1%	0.0%	0.0%
	20歳代	147	3	2	1	59	10	11	6	8	7	26	10	3	1
			2.0%	1.4%	0.7%	40.1%	6.8%	7.5%	4.1%	5.4%	4.8%	17.7%	6.8%	2.0%	0.7%
	30歳代	180	9	5	6	75	8	5	12	33	15	0	7	4	1
			5.0%	2.8%	3.3%	41.7%	4.4%	2.8%	6.7%	18.3%	8.3%	0.0%	3.9%	2.2%	0.6%
	40歳代	213	8	8	9	82	15	18	8	42	12	0	8	2	1
			3.8%	3.8%	4.2%	38.5%	7.0%	8.5%	3.8%	19.7%	5.6%	0.0%	3.8%	0.9%	0.5%
	50歳代	261	9	12	21	92	9	26	9	47	12	0	14	8	2
			3.4%	4.6%	8.0%	35.2%	3.4%	10.0%	3.4%	18.0%	4.6%	0.0%	5.4%	3.1%	0.8%
	60歳代	315	15	20	30	51	7	3	10	56	43	0	60	13	7
			4.8%	6.3%	9.5%	16.2%	2.2%	1.0%	3.2%	17.8%	13.7%	0.0%	19.0%	4.1%	2.2%
	70歳以上	262	9	30	12	6	2	0	0	13	32	0	147	9	2
			3.4%	11.5%	4.6%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	5.0%	12.2%	0.0%	56.1%	3.4%	0.8%

【問４－１】有職者の方にお伺いします。
あなたはどちらで働いていますか。（○は１つだけ）

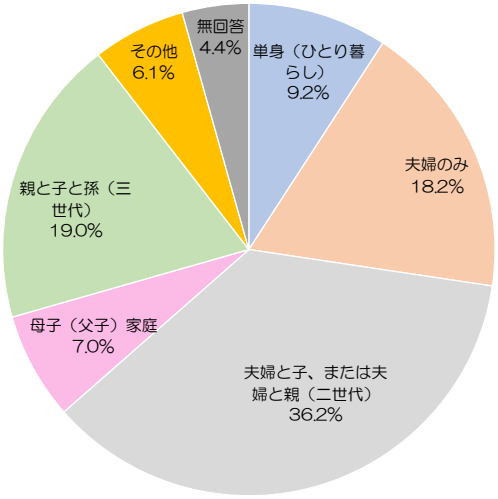
就労場所については、「市内」が 83.7%、「市外」が 11.1%となっています。

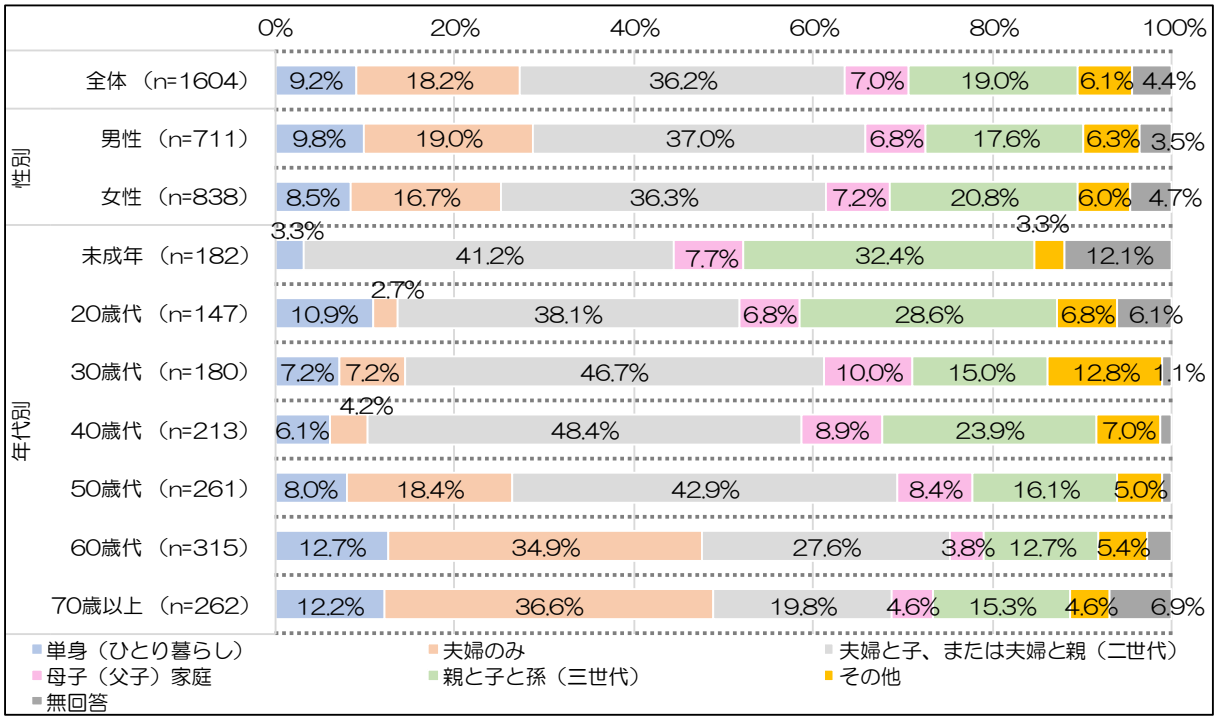




【問５】あなたの家族構成はどれに当てはまりますか。（○は１つだけ）

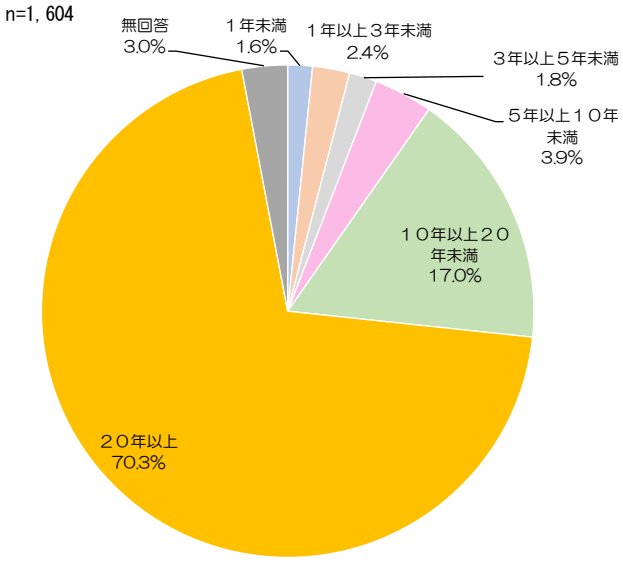
家族構成については、「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が 36.2%と最も高く、次いで「親と子と孫（三世代）」が 19.0%、「夫婦のみ」が 18.2%の順となっています。

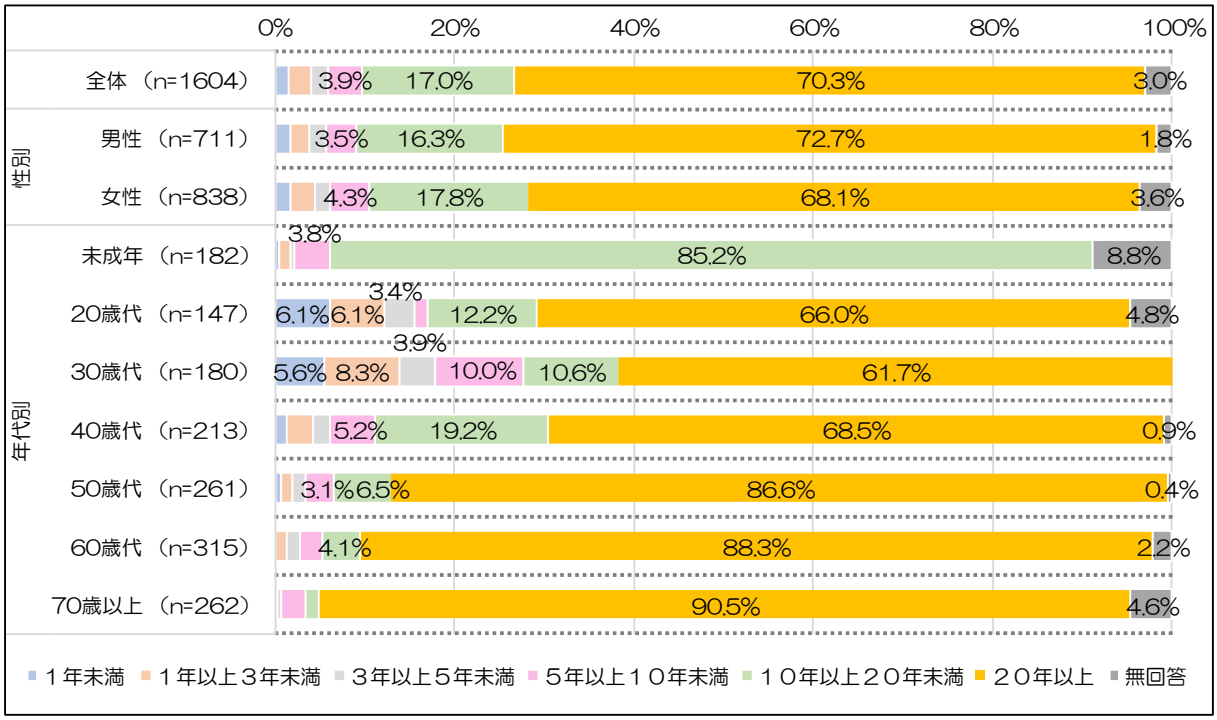




【問６】日田市での居住年数はどのくらいですか。（○は１つだけ）

日田市での居住年数については、「20 年以上」が 70.3%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 17.0%、「5 年以上 10 年未満」が 3.9%の順となっています。

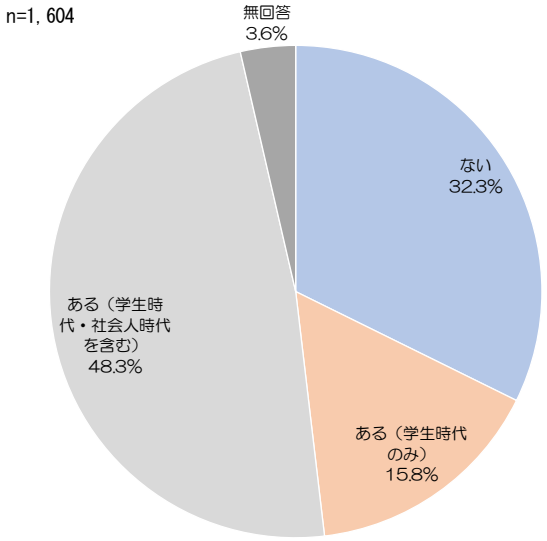


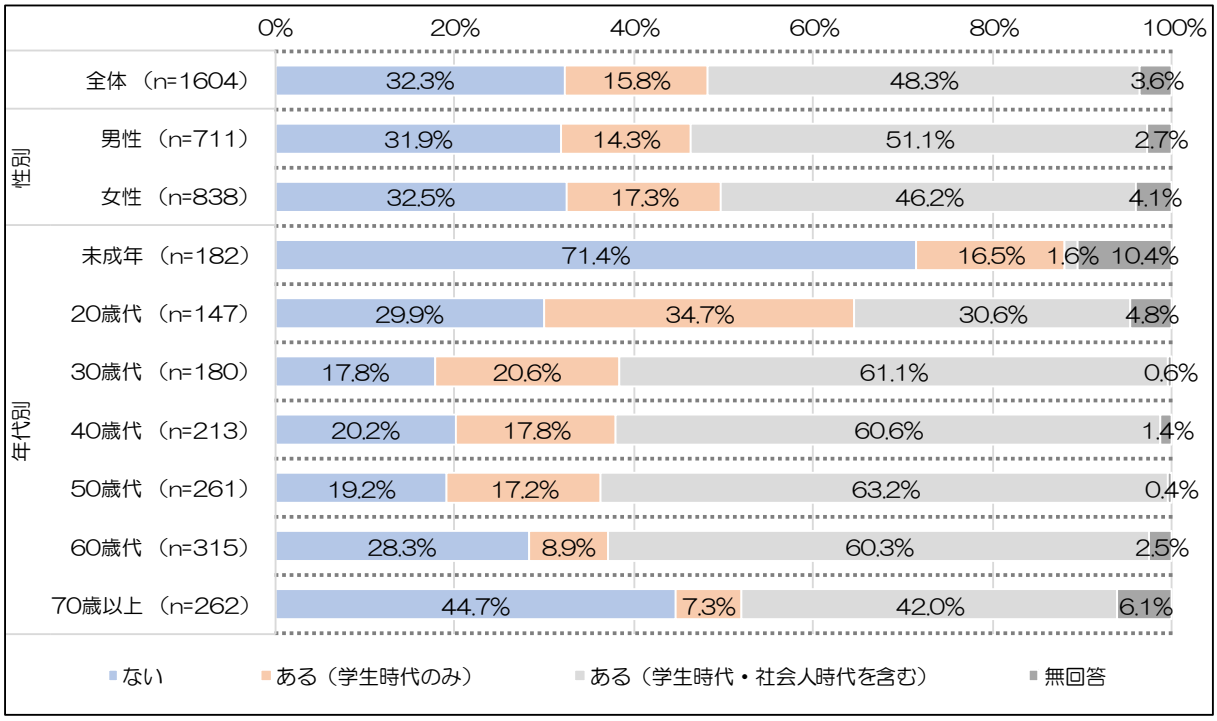


【問７】日田市以外にお住まいになった経験はありますか。（○は１つだけ）

市外への居住経験については、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」が 48.3%と最も高く、次いで「ない」が 32.3%、「ある（学生時代のみ）」が 15.8%の順となっています。

年代別でみると、「30 歳代」から「60 歳代」において、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」の割合が 6 割を超えています。





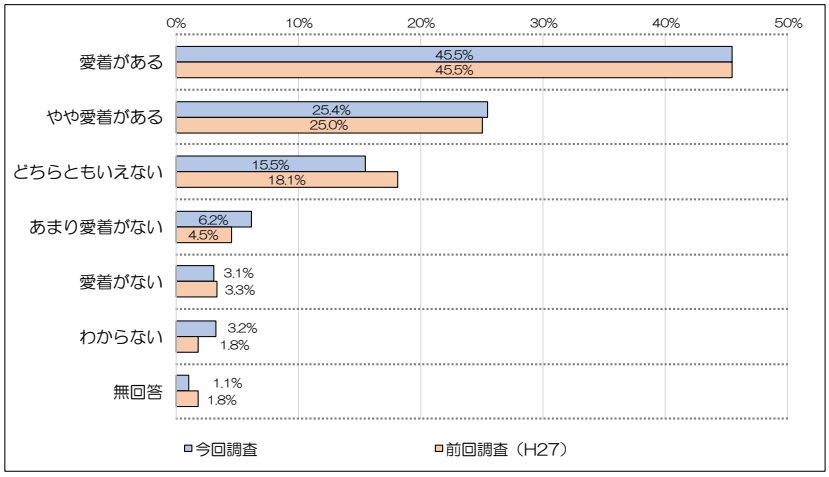
【問８】あなたは、日田市に愛着を持っていますか。（○は１つだけ）

日田市に愛着を持っているかについては、「愛着がある」が 45.5%と最も高く、次いで「やや愛着がある」が 25.4%、「どちらともいえない」が 15.5%の順となっています。

年代別にみると、どの年代においても「愛着がある」の割合が最も高くなっています。特に、「60 歳代」「70 歳以上」の年代において、「愛着がある」と回答した割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「やや愛着がある」の割合は高くなっています。

■前回調査比較



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	愛着がある	やや愛着がある	どちらともいえない	あまり愛着がない	愛着がない	わからない	無回答
全体（単純集計）		1,604	730	408	248	99	50	52	17
			45.5%	25.4%	15.5%	6.2%	3.1%	3.2%	1.1%
性別	男性	711	321	174	103	55	33	18	7
			45.1%	24.5%	14.5%	7.7%	4.6%	2.5%	1.0%
	女性	838	381	219	138	43	17	31	9
			45.5%	26.1%	16.5%	5.1%	2.0%	3.7%	1.1%
年代別	未成年	182	70	53	32	15	3	9	0
			38.5%	29.1%	17.6%	8.2%	1.6%	4.9%	0.0%
	20歳代	147	51	50	19	13	8	5	1
			34.7%	34.0%	12.9%	8.8%	5.4%	3.4%	0.7%
	30歳代	180	68	52	28	14	12	5	1
			37.8%	28.9%	15.6%	7.8%	6.7%	2.8%	0.6%
	40歳代	213	73	70	36	17	12	4	1
			34.3%	32.9%	16.9%	8.0%	5.6%	1.9%	0.5%
	50歳代	261	111	66	52	16	8	8	0
			42.5%	25.3%	19.9%	6.1%	3.1%	3.1%	0.0%
	60歳代	315	159	70	49	16	4	10	7
			50.5%	22.2%	15.6%	5.1%	1.3%	3.2%	2.2%
	70歳以上	262	176	36	26	7	3	8	6
			67.2%	13.7%	9.9%	2.7%	1.1%	3.1%	2.3%
居住年数別	1年未満	26	2	7	8	2	3	4	0
			7.7%	26.9%	30.8%	7.7%	11.5%	15.4%	0.0%
	1年以上3年未満	39	14	12	8	2	2	1	0
			35.9%	30.8%	20.5%	5.1%	5.1%	2.6%	0.0%
	3年以上5年未満	29	4	13	3	4	3	2	0
			13.8%	44.8%	10.3%	13.8%	10.3%	6.9%	0.0%
	5年以上10年未満	62	15	11	13	14	8	1	0
			24.2%	17.7%	21.0%	22.6%	12.9%	1.6%	0.0%
	10年以上20年未満	272	105	77	42	29	9	10	0
			38.6%	28.3%	15.4%	10.7%	3.3%	3.7%	0.0%
	20年以上	1,128	573	280	167	46	24	32	6
			50.8%	24.8%	14.8%	4.1%	2.1%	2.8%	0.5%

【問９】あなたは、日田市を住みよいまちだと思いますか。（○は１つだけ）

日田市の住みよさについては、住みよいと感じる人※1が 61.1%、住みよくないと感じる人※2が 19.6%となっています。

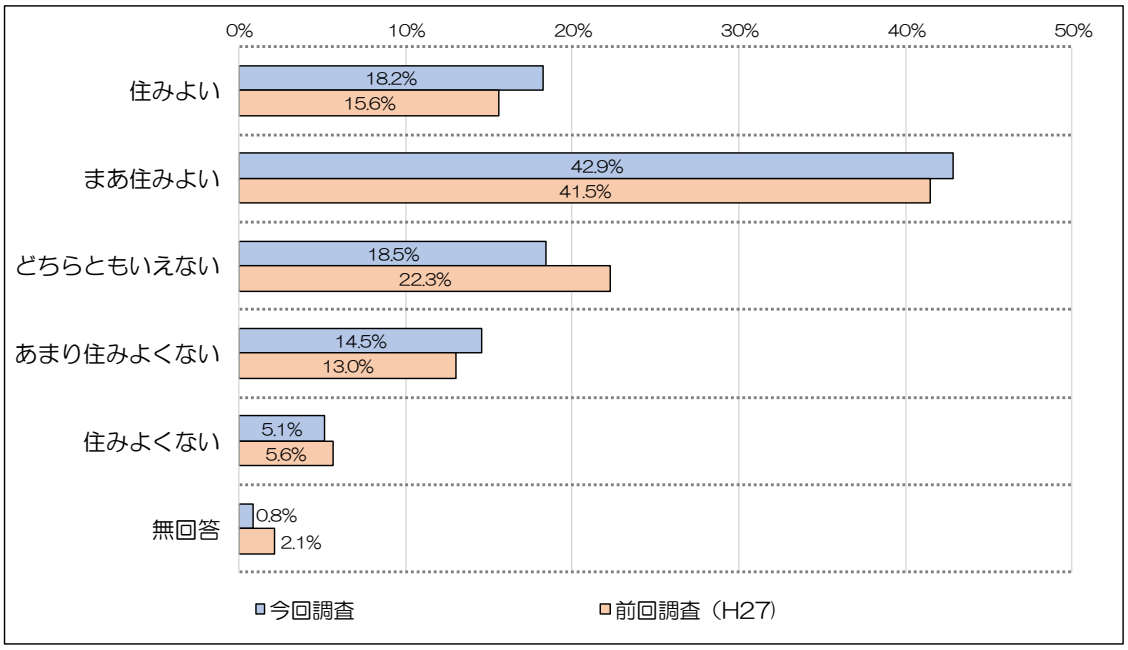
年代別にみると、住みよいと感じる人の割合は、「未成年」「70 歳以上」において、特に高くなっています。

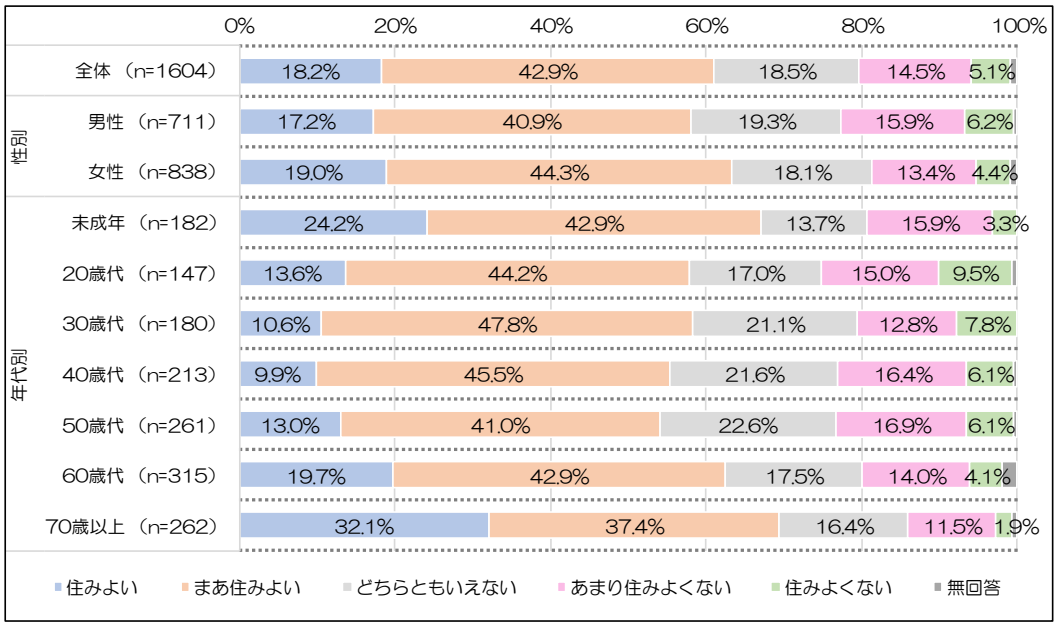
前回調査と比較すると、「住みよい」「まあ住みよい」の割合は高くなっています。

※1「住みよい」若しくは「まあ住みよい」と回答した人

※2「住みよくない」若しくは「あまり住みよくない」と回答した人

■前回調査比較

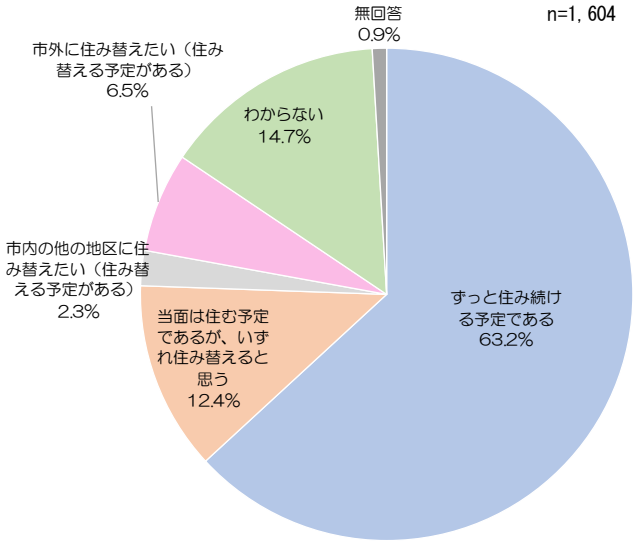


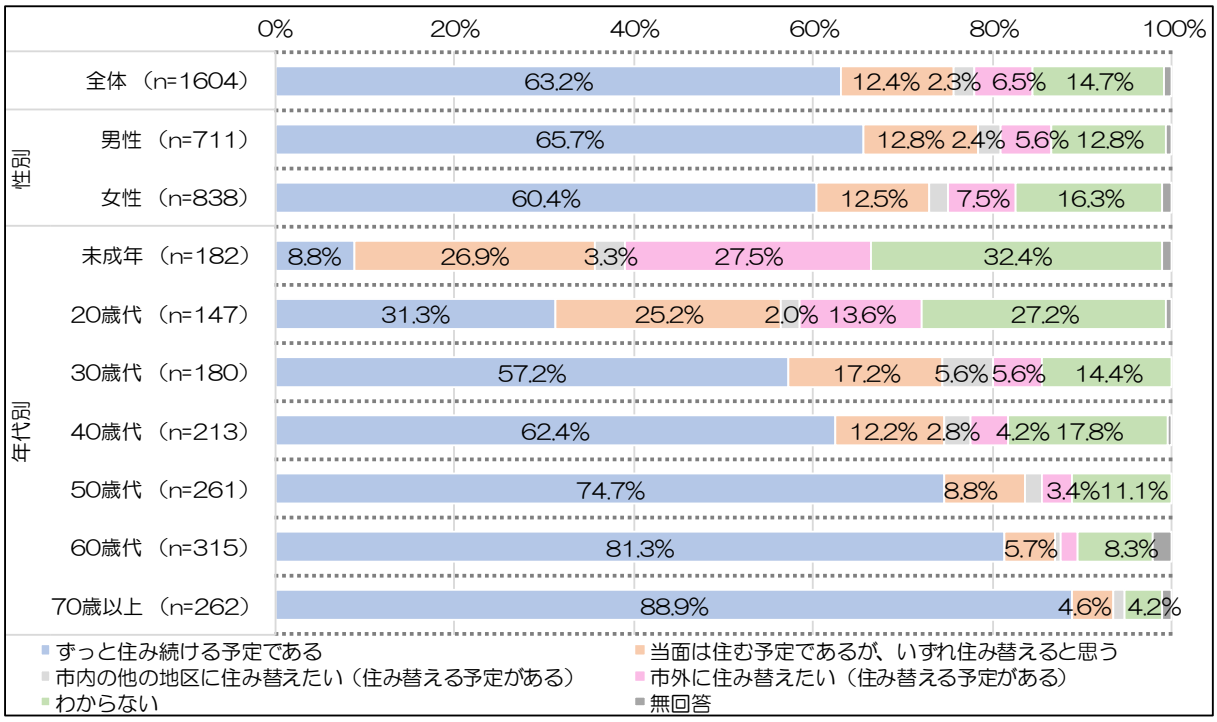


【問１０】あなたは、今後も日田市に住み続けるご予定ですか。（○は１つだけ）

今後も日田市に住み続ける意向については、「ずっと住み続ける予定である」が 63.2%と最も高く、次いで「わからない」が 14.7%、「当面は住む予定であるが、いずれ住み替えると思う」が 12.4%の順となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「ずっと住み続ける予定である」と回答した割合が高くなっています。

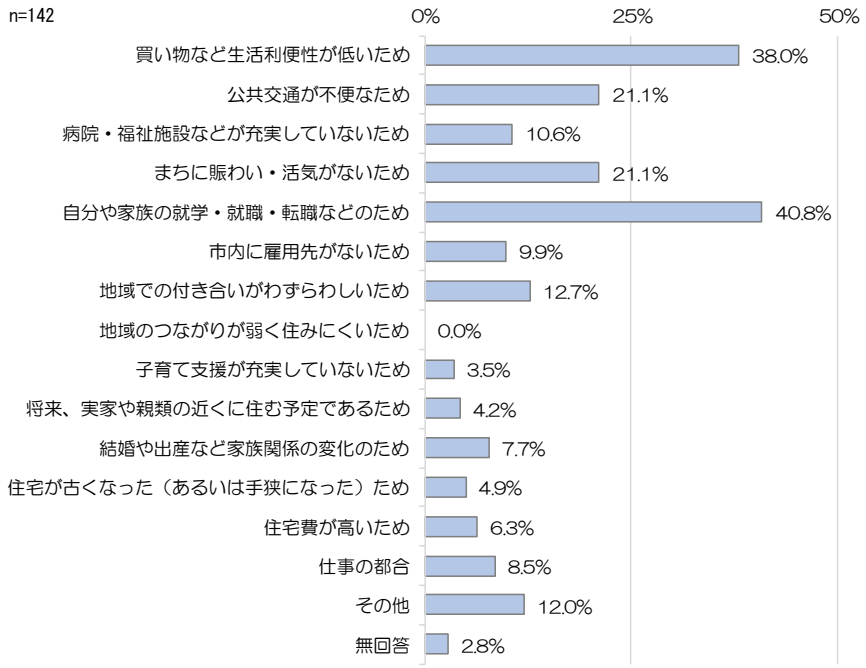




【問１０－１】住み替えを希望されている方にお伺いします。
住み替えを希望する理由をお答えください。（○は３つまで）

住み替えを希望する理由については、「自分や家族の就学・就職・転職などのため」が40.8%と最も高く、次いで「買い物など生活利便性が低いため」が38.0%、「公共交通が不便なため」「まちに賑わい・活気がないため」が21.1%の順となっています。

男女別にみると、「女性」では「買い物など生活利便性が低いため」と回答した割合が最も高く、「男性」では「自分や家族の就学・就職・転職などのため」と回答した割合が最も高くなっています。



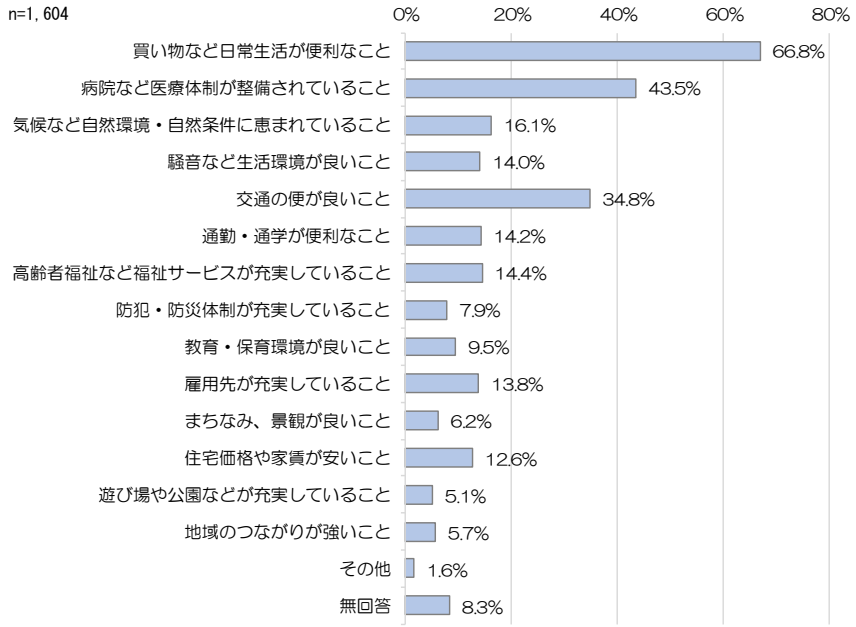
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	買い物など生活利便性が低いため	公共交通が不便なため	病院・福祉施設などが充実していないため	まちに賑わい・活気がないため	自分や家族の就学・就職・転職などのため	市内に雇用先がないため	地域での付き合いがわずらわしいため	地域のつながりが弱く住みにくいため	子育て支援が充実していないため	将来、実家や親類の近くに住む予定であるため	結婚や出産など家族関係の変化のため	住宅が古くなった（あるいは手狭になった）ため	住宅費が高いため	仕事の都合	その他	無回答
全体（単純集計）		142	54	30	15	30	58	14	18	0	5	6	11	7	9	12	17	4
			38.0%	21.1%	10.6%	21.1%	40.8%	9.9%	12.7%	0.0%	3.5%	4.2%	7.7%	4.9%	6.3%	8.5%	12.0%	2.8%
性別	男性	57	16	14	4	15	22	2	9	0	3	4	1	3	2	11	8	2
			28.1%	24.6%	7.0%	26.3%	38.6%	3.5%	15.8%	0.0%	5.3%	7.0%	1.8%	5.3%	3.5%	19.3%	14.0%	3.5%
	女性	81	36	16	10	14	34	12	9	0	2	2	9	3	7	1	9	2
			44.4%	19.8%	12.3%	17.3%	42.0%	14.8%	11.1%	0.0%	2.5%	2.5%	11.1%	3.7%	8.6%	1.2%	11.1%	2.5%
年代別	未成年	56	14	5	2	10	43	7	1	0	0	0	1	0	1	4	8	1
			25.0%	8.9%	3.6%	17.9%	76.8%	12.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	7.1%	14.3%	1.8%
	20歳代	23	12	2	4	8	6	3	1	0	1	0	4	0	3	2	0	2
			52.2%	8.7%	17.4%	34.8%	26.1%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	17.4%	0.0%	13.0%	8.7%	0.0%	8.7%
	30歳代	20	5	5	2	5	6	2	4	0	3	2	2	2	2	3	4	0
			25.0%	25.0%	10.0%	25.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%	15.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	15.0%	20.0%	0.0%
	40歳代	15	9	7	3	3	2	2	3	0	1	2	2	1	1	1	0	0
			60.0%	46.7%	20.0%	20.0%	13.3%	13.3%	20.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	50歳代	14	7	8	2	1	0	0	5	0	0	0	0	2	1	0	4	0
			50.0%	57.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	28.6%	0.0%
	60歳代	8	5	3	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	2	0	1
			62.5%	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%
	70歳以上	3	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0
			33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

【問１１】住む場所を選ぶ際、重視することをお答えください。（○は３つまで）

住む場所を選ぶ際、重視することについては、「買い物など日常生活が便利なこと」が66.8%と最も高く、次いで「病院など医療体制が整備されていること」が43.5%、「交通の便が良いこと」が34.8%の順となっています。

年代別に上位3項目を除くと、「未成年」「40歳代」では「通勤・通学が便利なこと」、「20歳代」では「住宅価格や家賃が安いこと」、「30歳代」では「教育・保育環境が良いこと」、「50歳代」では「雇用先が充実していること」、「60歳代」「70歳以上」では「高齢者福祉など福祉サービスが充実していること」の割合が高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	買い物など日常生活が便利なこと	病院など医療体制が整備されていること	気候など自然環境・自然条件に恵まれていること	騒音など生活環境が良いこと	交通の便が良いこと	通勤・通学が便利なこと	高齢者福祉など福祉サービスが充実していること	防犯・防災体制が充実していること	教育・保育環境が良いこと	雇用先が充実していること	まちなみ、景観が良いこと	住宅価格や家賃が安いこと	遊び場や公園などが充実していること	地域のつながりが強いこと	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	1,072	697	259	225	558	228	231	126	152	221	99	202	82	91	26	133
			66.8%	43.5%	16.1%	14.0%	34.8%	14.2%	14.4%	7.9%	9.5%	13.8%	6.2%	12.6%	5.1%	5.7%	1.6%	8.3%
性別	男性	711	466	314	129	86	254	93	101	53	67	107	51	88	36	43	12	58
			65.5%	44.2%	18.1%	12.1%	35.7%	13.1%	14.2%	7.5%	9.4%	15.0%	7.2%	12.4%	5.1%	6.0%	1.7%	8.2%
	女性	838	577	363	122	125	286	129	122	70	82	110	42	109	44	40	12	65
			68.9%	43.3%	14.6%	14.9%	34.1%	15.4%	14.6%	8.4%	9.8%	13.1%	5.0%	13.0%	5.3%	4.8%	1.4%	7.8%
年代別	未成年	182	133	53	21	28	68	57	2	20	12	31	24	33	23	4	1	6
			73.1%	29.1%	11.5%	15.4%	37.4%	31.3%	1.1%	11.0%	6.6%	17.0%	13.2%	18.1%	12.6%	2.2%	0.5%	3.3%
	20歳代	147	117	49	16	18	59	24	2	7	17	28	12	40	12	4	1	8
			79.6%	33.3%	10.9%	12.2%	40.1%	16.3%	1.4%	4.8%	11.6%	19.0%	8.2%	27.2%	8.2%	2.7%	0.7%	5.4%
	30歳代	180	122	61	31	40	38	41	9	16	56	35	9	38	21	11	6	5
			67.8%	33.9%	17.2%	22.2%	21.1%	22.8%	5.0%	8.9%	31.1%	19.4%	5.0%	21.1%	11.7%	6.1%	3.3%	2.8%
	40歳代	213	147	88	34	41	71	49	8	13	35	33	8	37	12	7	4	11
			69.0%	41.3%	16.0%	19.2%	33.3%	23.0%	3.8%	6.1%	16.4%	15.5%	3.8%	17.4%	5.6%	3.3%	1.9%	5.2%
	50歳代	261	177	125	44	35	107	30	39	26	14	50	11	26	4	12	5	19
			67.8%	47.9%	16.9%	13.4%	41.0%	11.5%	14.9%	10.0%	5.4%	19.2%	4.2%	10.0%	1.5%	4.6%	1.9%	7.3%
	60歳代	315	205	172	63	41	117	11	82	27	10	24	19	16	5	23	3	30
			65.1%	54.6%	20.0%	13.0%	37.1%	3.5%	26.0%	8.6%	3.2%	7.6%	6.0%	5.1%	1.6%	7.3%	1.0%	9.5%
	70歳以上	262	145	132	45	11	83	10	82	14	7	16	10	7	3	23	5	47
			55.3%	50.4%	17.2%	4.2%	31.7%	3.8%	31.3%	5.3%	2.7%	6.1%	3.8%	2.7%	1.1%	8.8%	1.9%	17.9%

【問１２】日田市では各分野で様々な施策に取り組んでいます。施策に対するあなたの現在の満足度と今後の重要度についてお聞かせ下さい。

■個別項目の満足度評価と重要度評価を評点化（全体）

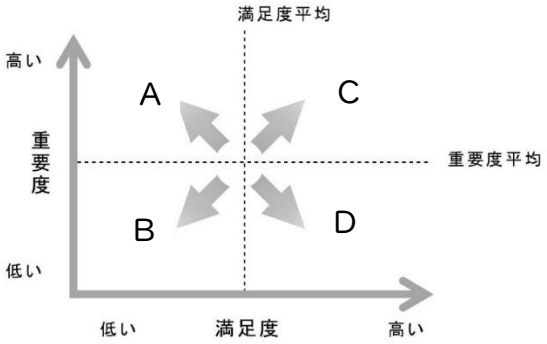
■評価方法（加重平均）
※満足度評点：満足（100）、やや満足（50）、どちらともいえない（0）、やや不満（-50）、不満（-100）として、回答者の平均得点を算出
※重要度評点：重要（100）、やや重要（50）、どちらともいえない（0）、あまり重要でない（-50）、重要でない（-100）として、回答者の平均得点を算出
算出結果の数値が高いほど、「満足度」では満足している、「重要度」では重要と考えている指標となります。

■施策別評価結果一覧

番号	施策	重要度			満足度			評価エリア	ニーズ値	
		加重平均値	全体平均との差	相対順位	加重平均値	全体平均との差	相対順位		ニーズ値	相対順位
1	市民協働のまちづくり	51.68	-2.10	19/29	1.11	-3.29	22/29	B	50.57	15/29
2	市民サービスの充実・向上	59.30	5.52	11/29	4.03	-0.38	17/29	A	55.27	12/29
3	政策を実行・実現する行財政運営	59.59	5.81	9/29	-6.93	-11.34	27/29	A	66.52	3/29
4	健康づくり、保健・医療の充実	69.14	15.36	3/29	11.67	7.27	3/29	C	57.47	7/29
5	地域福祉の推進	62.60	8.82	7/29	6.78	2.37	14/29	C	55.83	10/29
6	子ども・子育て支援の推進	68.28	14.50	4/29	9.40	5.00	6/29	C	58.88	6/29
7	障がい者（児）福祉の充実	60.72	6.94	8/29	3.69	-0.71	18/29	A	57.03	8/29
8	高齢者福祉の充実	66.31	12.53	6/29	3.20	-1.20	19/29	A	63.11	4/29
9	防災・消防・救急体制の強化	69.43	15.65	2/29	12.63	8.22	2/29	C	56.80	9/29
10	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	58.06	4.28	12/29	8.25	3.85	8/29	C	49.81	17/29
11	農業・水産業の振興	51.26	-2.52	21/29	-1.45	-5.85	23/29	B	52.71	14/29
12	林業の振興	52.14	-1.64	18/29	-3.22	-7.62	26/29	B	55.36	11/29
13	商工業の振興	53.16	-0.62	16/29	-7.60	-12.00	29/29	B	60.76	5/29
14	観光の振興	53.50	-0.28	15/29	6.90	2.50	13/29	D	46.59	18/29
15	道路・河川・公共交通の整備	68.16	14.38	5/29	-6.98	-11.38	28/29	A	75.14	2/29
16	住環境の整備と維持管理	51.66	-2.12	20/29	-3.05	-7.45	25/29	B	54.71	13/29
17	公園・緑地の整備と維持管理	40.58	-13.20	24/29	4.90	0.50	16/29	D	35.68	23/29
18	地域特性を活かした空間づくり	33.61	-20.17	27/29	1.51	-2.89	21/29	B	32.10	25/29
19	情報通信基盤の整備と維持管理	45.73	-8.05	22/29	2.61	-1.79	20/29	B	43.12	21/29
20	減災対策と災害復旧	73.74	19.96	1/29	-2.69	-7.09	24/29	A	76.43	1/29
21	学校教育の充実	59.55	5.77	10/29	9.08	4.68	7/29	C	50.47	16/29
22	文化芸術の振興	31.31	-22.47	28/29	10.52	6.11	5/29	D	20.80	29/29
23	生涯学習の充実	34.16	-19.62	26/29	7.91	3.51	11/29	D	26.25	27/29
24	スポーツ・レクリエーションの振興	30.43	-23.35	29/29	5.59	1.19	15/29	D	24.84	28/29
25	互いに尊重しあえる社会の実現	36.02	-17.76	25/29	7.06	2.66	12/29	D	28.96	26/29
26	地域環境の保全	52.43	-1.35	17/29	7.96	3.56	10/29	D	44.47	19/29
27	良好な水資源の確保	57.94	4.16	13/29	18.89	14.48	1/29	C	39.05	22/29
28	資源循環と地球温暖化対策の推進	55.37	1.59	14/29	11.50	7.09	4/29	C	43.87	20/29
29	環境意識の向上	43.72	-10.06	23/29	8.17	3.76	9/29	D	35.55	24/29
		53.78	-	-	4.40	-	-	-	49.38	-

※ニーズ値　＝　重要度加重平均値 － 満足度加重平均値　で算出

各個別項目における満足度評点と重要度評点の相関関係を表すと以下のような図になります。

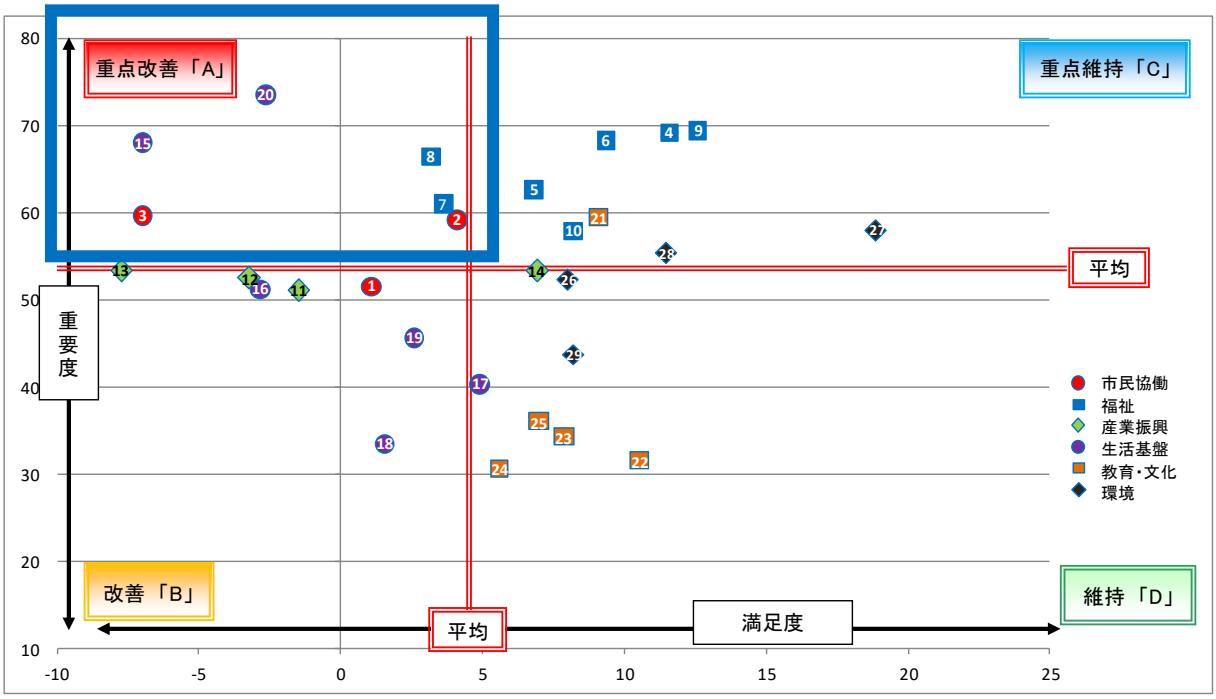


■領域の説明

Ａ領域：重要度が高く、満足度が低い（重点改善）
Ｂ領域：重要度、満足度ともに低い（改善）
Ｃ領域：重要度、満足度ともに高い（重点維持）
Ｄ領域：重要度が低く、満足度が高い（維持）

図中の左上の青枠部分にある、重要度が高く、満足度が低い項目については、特に優先して改善が必要な施策であると考えられます。

評価の結果、重点改善の区分に該当する施策は、「市民サービスの充実・向上」「政策を実行・実現する行財政運営」「障がい者（児）福祉の充実」「高齢者福祉の充実」「道路・河川・公共交通の整備」「減災対策と災害復旧」となっています。



Ⅰ：市民協働分野
1 市民協働のまちづくり
2 市民サービスの充実・向上
3 政策を実行・実現する行財政運営

Ⅱ：福祉分野
4 健康づくり、保健・医療の充実
5 地域福祉の推進
6 子ども・子育て支援の推進
7 障がい者（児）福祉の充実
8 高齢者福祉の充実
9 防災・消防・救急体制の強化
10 防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実

Ⅲ：産業振興分野
11 農業・水産業の振興
12 林業の振興
13 商工業の振興
14 観光の振興

Ⅳ：生活基盤分野
15 道路・河川・公共交通の整備
16 住環境の整備と維持管理
17 公園・緑地の整備と維持管理
18 地域特性を活かした空間づくり
19 情報通信基盤の整備と維持管理
20 減災対策と災害復旧

Ⅴ：教育・文化分野
21 学校教育の充実
22 文化芸術の振興
23 生涯学習の充実
24 スポーツ・レクリエーションの振興
25 互いに尊重しあえる社会の実現

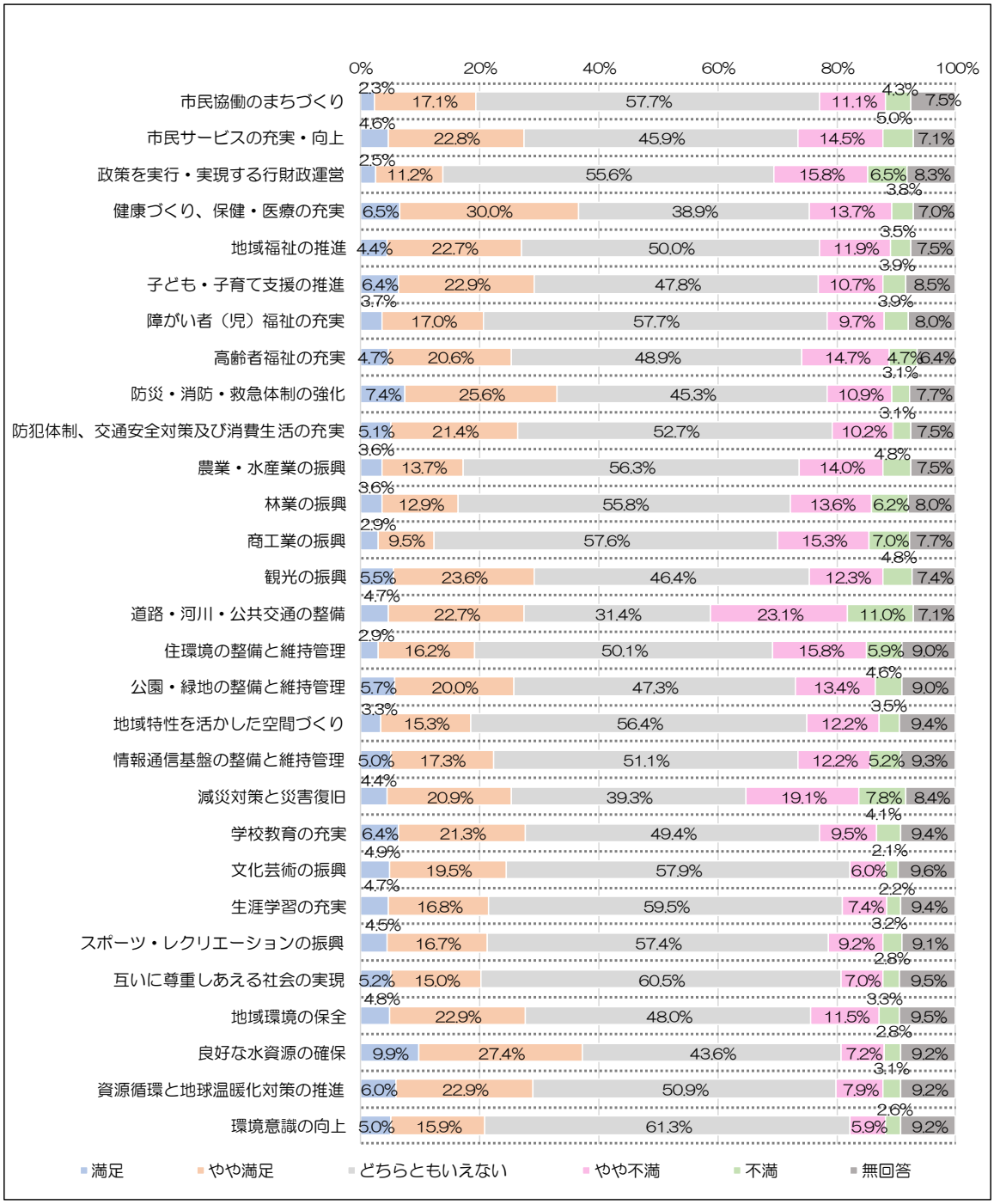
Ⅵ：環境分野
26 地域環境の保全
27 良好な水資源の確保
28 資源循環と地球温暖化対策の推進
29 環境意識の向上

●「現在の満足度」（全体）

現在の満足度については、満足している人※1の割合は、「良好な水資源の確保」が37.3%と最も高く、次いで「健康づくり、保健・医療の充実」が36.5%、「防災・消防・救急体制の強化」が33.0%の順となっています。一方、不満がある人※2の割合は、「道路・河川・公共交通の整備」が34.1%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」26.9%の順となっています。

※1「満足」若しくは「やや満足」と回答した人

※2「不満」もしくは「やや不満」と回答した人



●「現在の満足度」（男女別順位）

「現在の満足度」の男女別の順位は以下のとおりとなっています。

（上位３項目、及び下位３項目のみ抜粋）

	男性	女性
１位	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保
２位	防災・消防・救急体制の強化	文化芸術の振興
３位	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化
⋮	⋮	⋮
27 位	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営
28 位	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備
29 位（最下位）	商工業の振興	商工業の振興

●「現在の満足度」（年代別順位）

「現在の満足度」の年代別の順位は以下のとおりとなっています。

（上位３項目、及び下位３項目のみ抜粋）

	未成年（高校生以上）	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
１位	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保
２位	文化芸術の振興	環境意識の向上	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進	資源循環と地球温暖化対策の推進	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
３位	健康づくり、保健・医療の充実	資源循環と地球温暖化対策の推進	資源循環と地球温暖化対策の推進	健康づくり、保健・医療の充実	文化芸術の振興	資源循環と地球温暖化対策の推進	防災・消防・救急体制の強化
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
27 位	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	農業・水産業の振興
28 位	政策を実行・実現する行財政運営	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興
29 位（最下位）	道路・河川・公共交通の整備	情報通信基盤の整備と維持管理	住環境の整備と維持管理	商工業の振興	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興

●「現在の満足度」（地区別順位※上位）

「現在の満足度」の地区別の順位は以下のとおりとなっています。※上位３項目

地区名	１位	２位	３位
咸宜	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	健康づくり、保健・医療の充実
桂林	良好な水資源の確保	学校教育の充実	防災・消防・救急体制の強化
若宮	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	観光の振興
日隈	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
光岡	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
三芳	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	学校教育の充実
高瀬	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	地域環境の保全
五和	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進	文化芸術の振興
朝日	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	環境意識の向上
三花	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実
西有田	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	学校教育の充実、文化芸術の振興（同一順位）
東有田	公園・緑地の整備と維持管理	学校教育の充実	互いに尊重しあえる社会の実現
小野	子ども・子育て支援の推進	高齢者福祉の充実	健康づくり、保健・医療の充実、資源環境と地球温暖化対策の推進（同一順位）
大鶴	スポーツ・レクリエーションの振興	互いに尊重しあえる社会の実現	環境意識の向上
夜明	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	観光の振興
前津江	良好な水資源の確保	学校教育の充実	文化芸術の振興
中津江	互いに尊重しあえる社会の実現	観光の振興	情報通信基盤の整備と維持管理
上津江	健康づくり、保健・医療の充実	学校教育の充実	子ども・子育て支援の推進
大山	学校教育の充実	良好な水資源の確保	子ども・子育て支援の推進
天瀬	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	互いに尊重しあえる社会の実現

●「現在の満足度」（地区別順位※下位）

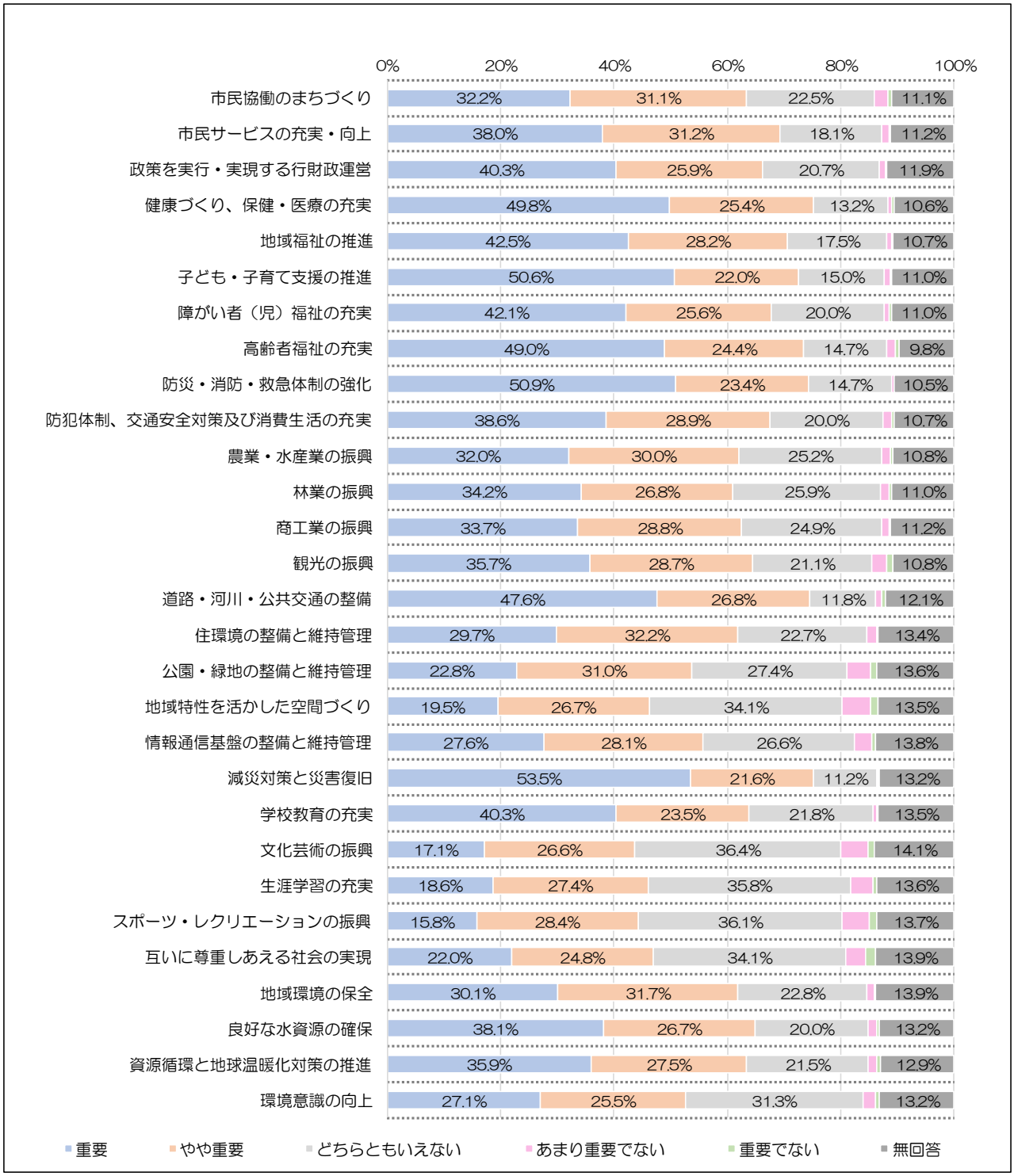
「現在の満足度」の地区別の順位は以下のとおりとなっています。※下位３項目

地区名	～	27 位	28 位	29 位（最下位）
咸宜	・・・	住環境の整備と維持管理	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興
桂林	・・・	政策を実行・実現する行財政運営	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興
若宮	・・・	道路・河川・公共交通の整備	高齢者福祉の充実	減災対策と災害復旧
日隈	・・・	農業・水産業の振興、林業の振興、住環境の整備と維持管理（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興
光岡	・・・	道路・河川・公共交通の整備、減災対策と災害復旧（同一順位）	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営
三芳	・・・	林業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興
高瀬	・・・	住環境の整備と維持管理	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興
五和	・・・	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興
朝日	・・・	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	政策を実行・実現する行財政運営
三花	・・・	住環境の整備と維持管理	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧
西有田	・・・	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	農業・水産業の振興
東有田	・・・	商工業の振興	林業の振興	農業・水産業の振興
小野	・・・	商工業の振興、道路・河川・公共交通の整備、減災対策と災害復旧（同一順位）	住環境の整備と維持管理	林業の振興
大鶴	・・・	住環境の整備と維持管理	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備
夜明	・・・	商工業の振興	情報通信基盤の整備と維持管理	道路・河川・公共交通の整備
前津江	・・・	農業・水産業の振興、林業の振興（同一順位）	住環境の整備と維持管理	道路・河川・公共交通の整備
中津江	・・・	住環境の整備と維持管理	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備
上津江	・・・	林業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	道路・河川・公共交通の整備
大山	・・・	住環境の整備と維持管理	商工業の振興	道路・河川・公共交通の整備
天瀬	・・・	商工業の振興	農業・水産業の振興	政策を実行・実現する行財政運営

■「今後の重要度」（全体）

今後の重要度については、重要性を感じている人※1の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が75.2%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」が75.1%、「道路・河川・公共交通の整備」が74.4%の順となっています。

※1「重要」若しくは「やや重要」と回答した人



■「今後の重要度」（男女別順位）

「今後の重要度」の男女別の順位は以下のとおりとなっています。※上位３項目

	男性	女性
１位	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧
２位	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化
３位	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実

■「今後の重要度」（年代別順位）

「今後の重要度」の年代別の順位は以下のとおりとなっています。※上位３項目

	未成年（高校生以上）	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
１位	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧
２位	子ども・子育て支援の推進	健康づくり、保健・医療の充実	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
３位	高齢者福祉の充実	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	高齢者福祉の充実	道路・河川・公共交通の整備

■「今後の重要度」（地区別順位）

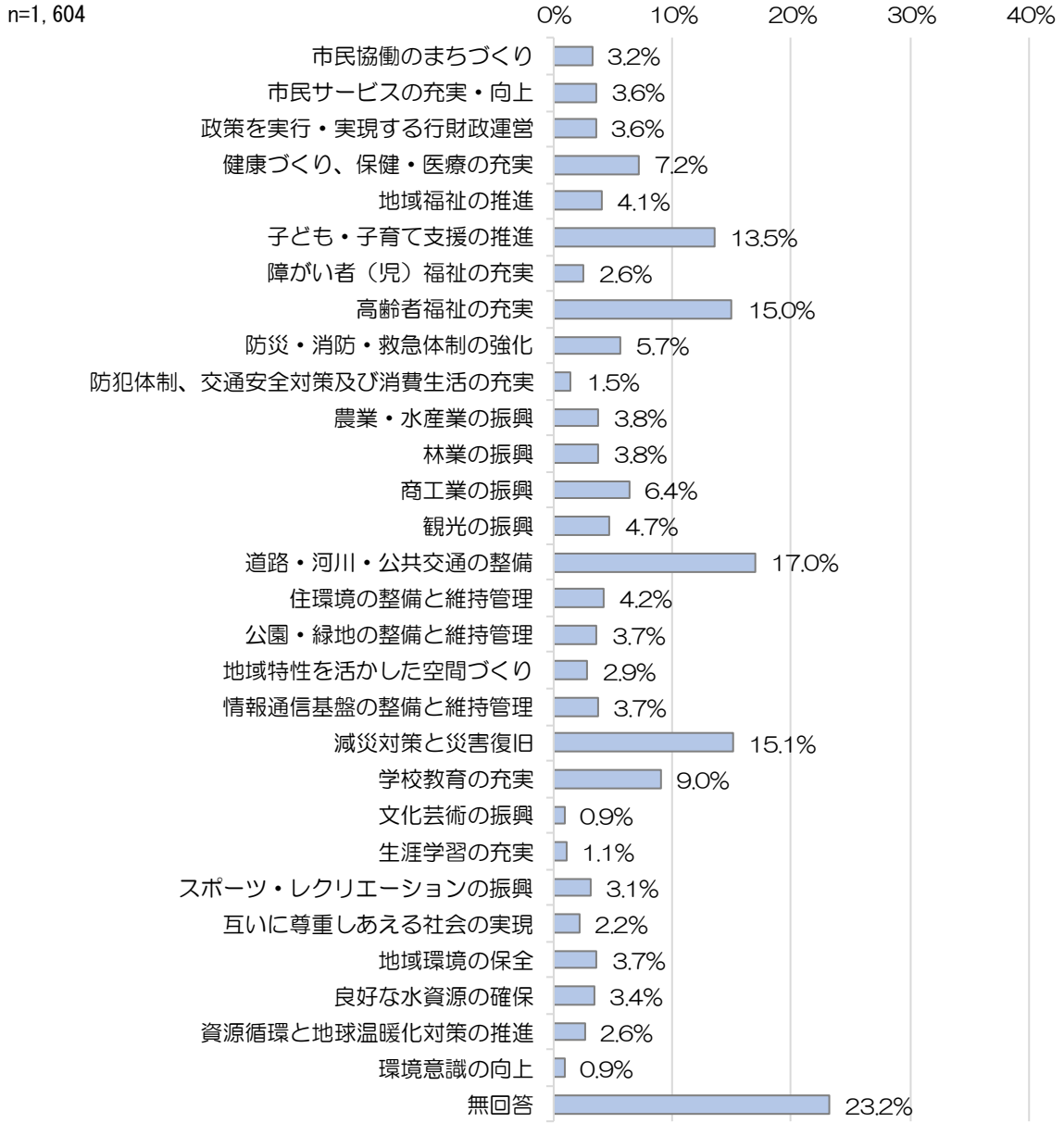
「今後の重要度」の地区別の順位は以下のとおりとなっています。※上位３項目

地区名	１位	２位	３位
咸宜	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化
桂林	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化
若宮	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
日隈	防災・消防・救急体制の強化	減災対策と災害復旧	高齢者福祉の充実
光岡	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化
三芳	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧
高瀬	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進、高齢者福祉の充実（同一順位）
五和	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化
朝日	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化
三花	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進
西有田	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
東有田	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実
小野	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	健康づくり、保健・医療の充実
大鶴	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化
夜明	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	高齢者福祉の充実
前津江	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実
中津江	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	地域福祉の推進
上津江	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧
大山	地域福祉の推進	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
天瀬	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	障がい者（児）福祉の充実

【問１３】問１２で、まちづくりの施策ごとに「現在の満足度」と「今後の重要度」をお伺いしました。それらを総合的に判断して、今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策について番号を記入してください。（問１２の①～㉙の中から２つまで）

今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策については、「道路・河川・公共交通の整備」が 17.0%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」が 15.1%、「高齢者福祉の充実」が 15.0%、「子ども・子育て支援の推進」が 13.5%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」「60 歳代」では「道路・河川・公共交通の整備」、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」では「子ども・子育て支援の推進」、「50 歳代」「70 歳以上」では「高齢者福祉の充実」の割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：％）

		標本数（人）	市民協働のまちづくり	市民サービスの充実・向上	政策を実行・実現する行財政運営	健康づくり、保健・医療の充実	地域福祉の推進	子ども・子育て支援の推進	障がい者（児）福祉の充実	高齢者福祉の充実	防災・消防・救急体制の強化	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	農業・水産業の振興	林業の振興	商工業の振興	観光の振興	道路・河川・公共交通の整備
全体（単純集計）		1,604	52	58	57	116	65	217	41	241	91	24	61	61	102	76	272
			3.2%	3.6%	3.6%	7.2%	4.1%	13.5%	2.6%	15.0%	5.7%	1.5%	3.8%	3.8%	6.4%	4.7%	17.0%
性別	男性	711	24	31	22	47	23	87	19	97	44	9	27	34	59	39	133
			3.4%	4.4%	3.1%	6.6%	3.2%	12.2%	2.7%	13.6%	6.2%	1.3%	3.8%	4.8%	8.3%	5.5%	18.7%
	女性	838	28	26	35	67	41	129	21	137	46	15	32	26	41	35	131
			3.3%	3.1%	4.2%	8.0%	4.9%	15.4%	2.5%	16.3%	5.5%	1.8%	3.8%	3.1%	4.9%	4.2%	15.6%
年代別	未成年	182	8	7	3	11	6	22	5	14	4	7	2	4	13	15	31
			4.4%	3.8%	1.6%	6.0%	3.3%	12.1%	2.7%	7.7%	2.2%	3.8%	1.1%	2.2%	7.1%	8.2%	17.0%
	20歳代	147	12	10	7	12	5	39	4	16	9	3	5	4	9	15	23
			8.2%	6.8%	4.8%	8.2%	3.4%	26.5%	2.7%	10.9%	6.1%	2.0%	3.4%	2.7%	6.1%	10.2%	15.6%
	30歳代	180	5	5	6	15	6	58	9	16	8	1	7	6	16	9	25
			2.8%	2.8%	3.3%	8.3%	3.3%	32.2%	5.0%	8.9%	4.4%	0.6%	3.9%	3.3%	8.9%	5.0%	13.9%
	40歳代	213	12	8	8	15	10	41	2	33	16	3	10	4	19	14	33
			5.6%	3.8%	3.8%	7.0%	4.7%	19.2%	0.9%	15.5%	7.5%	1.4%	4.7%	1.9%	8.9%	6.6%	15.5%
	50歳代	261	5	7	8	25	11	21	12	56	19	5	11	10	19	3	58
			1.9%	2.7%	3.1%	9.6%	4.2%	8.0%	4.6%	21.5%	7.3%	1.9%	4.2%	3.8%	7.3%	1.1%	22.2%
	60歳代	315	3	11	15	20	14	24	5	63	25	1	18	19	16	13	66
			1.0%	3.5%	4.8%	6.3%	4.4%	7.6%	1.6%	20.0%	7.9%	0.3%	5.7%	6.0%	5.1%	4.1%	21.0%
	70歳以上	262	7	9	10	17	12	11	3	36	9	4	6	13	9	5	29
			2.7%	3.4%	3.8%	6.5%	4.6%	4.2%	1.1%	13.7%	3.4%	1.5%	2.3%	5.0%	3.4%	1.9%	11.1%

（上表の続き）

		標本数（人）	住環境の整備と維持管理	公園・緑地の整備と維持管理	地域特性を活かした空間づくり	情報通信基盤の整備と維持管理	減災対策と災害復旧	学校教育の充実	文化芸術の振興	生涯学習の充実	スポーツ・レクリエーションの振興	互いに尊重しあえる社会の実現	地域環境の保全	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	環境意識の向上	無回答
全体（単純集計）		1,604	68	59	46	60	242	145	15	17	50	35	59	55	42	15	372
			4.2%	3.7%	2.9%	3.7%	15.1%	9.0%	0.9%	1.1%	3.1%	2.2%	3.7%	3.4%	2.6%	0.9%	23.2%
性別	男性	711	31	23	18	35	102	54	6	8	29	14	25	30	22	9	156
			4.4%	3.2%	2.5%	4.9%	14.3%	7.6%	0.8%	1.1%	4.1%	2.0%	3.5%	4.2%	3.1%	1.3%	21.9%
	女性	838	35	36	28	25	132	86	8	8	21	20	31	23	18	5	189
			4.2%	4.3%	3.3%	3.0%	15.8%	10.3%	1.0%	1.0%	2.5%	2.4%	3.7%	2.7%	2.1%	0.6%	22.6%
年代別	未成年	182	6	16	11	12	31	26	4	1	18	6	7	1	1	3	30
			3.3%	8.8%	6.0%	6.6%	17.0%	14.3%	2.2%	0.5%	9.9%	3.3%	3.8%	0.5%	0.5%	1.6%	16.5%
	20歳代	147	5	10	3	15	17	17	2	1	6	2	3	2	3	1	15
			3.4%	6.8%	2.0%	10.2%	11.6%	11.6%	1.4%	0.7%	4.1%	1.4%	2.0%	1.4%	2.0%	0.7%	10.2%
	30歳代	180	8	7	8	9	23	26	1	4	10	6	6	6	4	1	24
			4.4%	3.9%	4.4%	5.0%	12.8%	14.4%	0.6%	2.2%	5.6%	3.3%	3.3%	3.3%	2.2%	0.6%	13.3%
	40歳代	213	9	11	9	13	34	32	3	1	4	6	6	7	5	0	28
			4.2%	5.2%	4.2%	6.1%	16.0%	15.0%	1.4%	0.5%	1.9%	2.8%	2.8%	3.3%	2.3%	0.0%	13.1%
	50歳代	261	19	10	4	4	47	13	2	0	3	4	11	9	12	2	55
			7.3%	3.8%	1.5%	1.5%	18.0%	5.0%	0.8%	0.0%	1.1%	1.5%	4.2%	3.4%	4.6%	0.8%	21.1%
	60歳代	315	15	2	8	7	59	15	2	4	6	6	14	18	11	2	74
			4.8%	0.6%	2.5%	2.2%	18.7%	4.8%	0.6%	1.3%	1.9%	1.9%	4.4%	5.7%	3.5%	0.6%	23.5%
	70歳以上	262	5	3	3	0	25	11	0	5	3	3	9	11	5	4	127
			1.9%	1.1%	1.1%	0.0%	9.5%	4.2%	0.0%	1.9%	1.1%	1.1%	3.4%	4.2%	1.9%	1.5%	48.5%

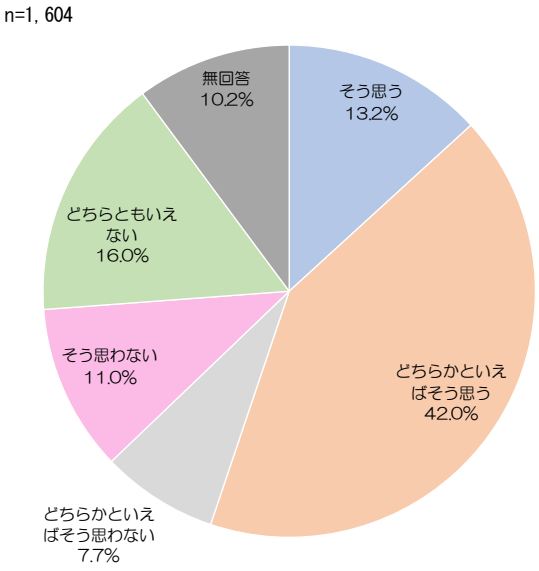
【問１４】日田市は、自治会やまちづくり団体などによる地域での活動が盛んなまちだと思いますか。（○は１つだけ）

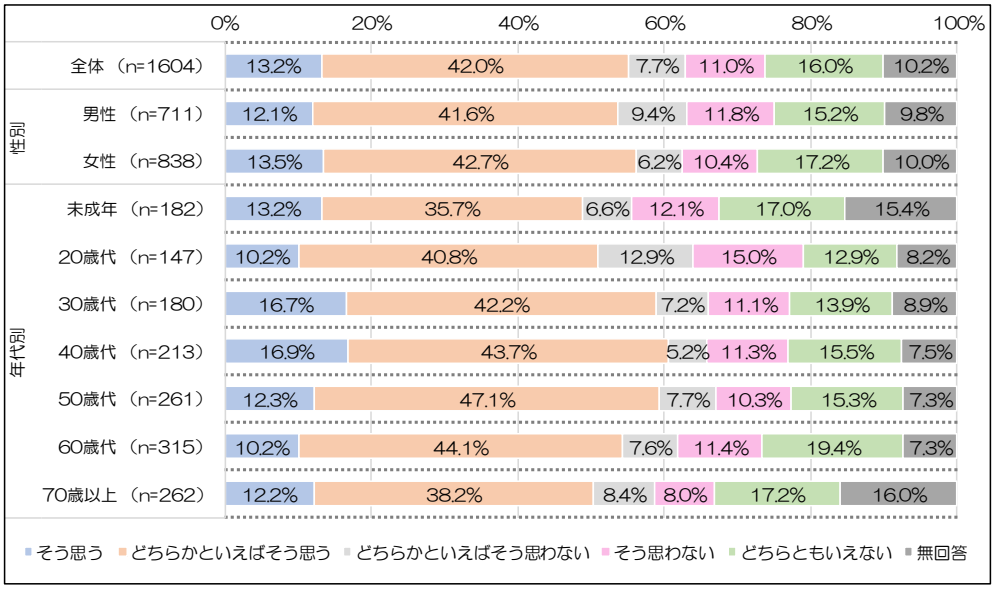
日田市は、自治会やまちづくり団体などによる地域での活動が盛んなまちだと思うかについては、活動が盛んなまちだと思う人※1が 55.2%、活動が盛んなまちだと思わない人※2が 18.7%となっています。

年代別にみると、「30 歳代」「40 歳代」において、「そう思う」と回答した割合が他の年代より高くなっています。また、活動が盛んなまちだと思う人の割合は、「未成年」「20 歳代」「70 歳以上」が他の年代より低くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



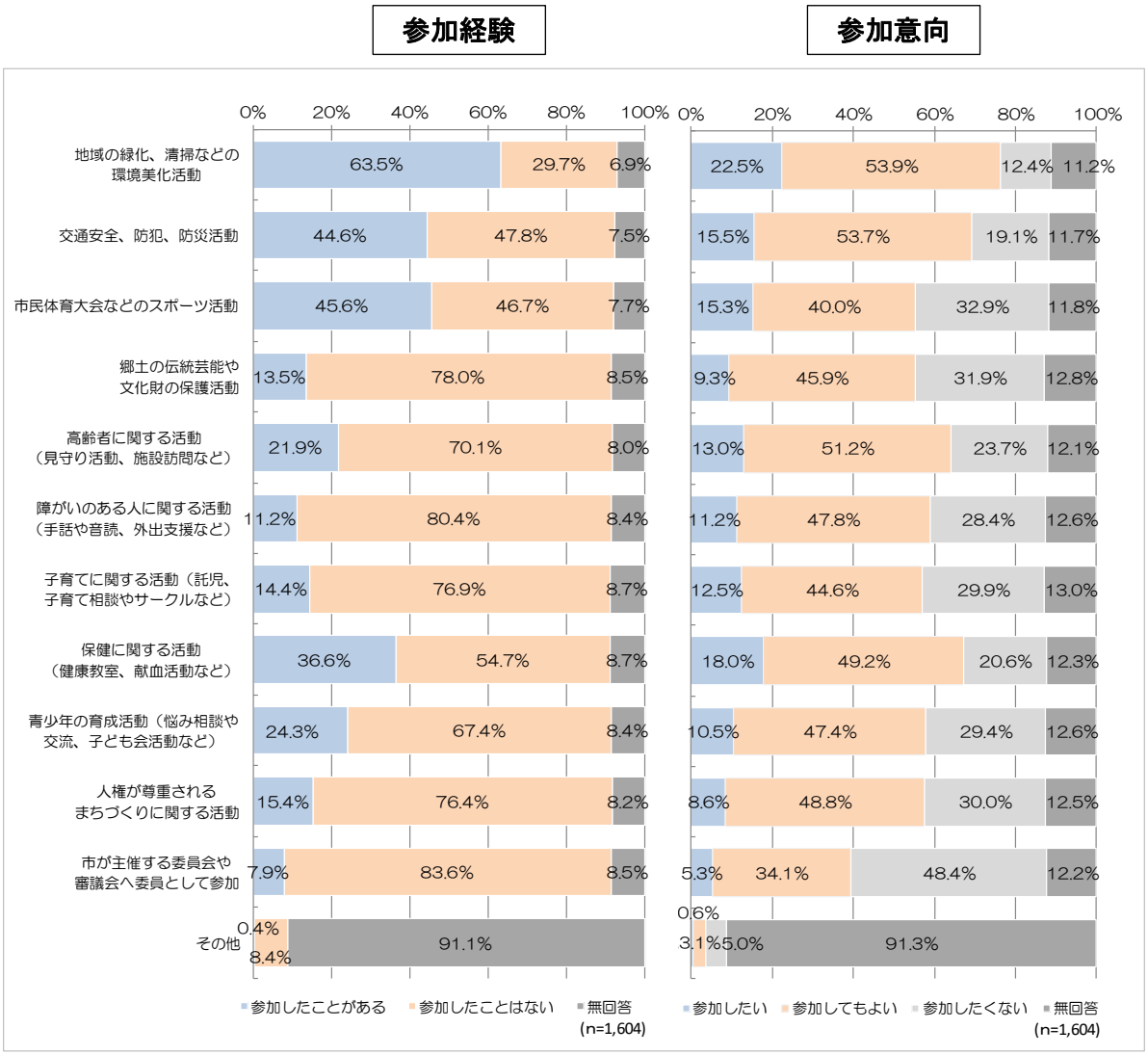


【問１５】あなたはコミュニティ活動やボランティア活動などに参加したことがありますか。また、今後、参加してみたい活動がありますか。（「参加した経験」と「今後の参加意向」の項目ごとに○は１つずつ）

参加したことのあるコミュニティ活動やボランティア活動としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が 63.5%と最も高く、次いで「市民体育大会などのスポーツ活動」が 45.6%、「交通安全、防犯、防災活動」が 44.6%となっています。

今後、参加してみたい活動※1としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が 76.4%と最も高く、次いで「交通安全、防犯、防災活動」が 69.2%、「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が 67.2%となっています。

※1「参加したい」若しくは「参加してもよい」と回答した人



コミュニティ活動やボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について、参加経験の上位３項目は、男女ともに同じ結果となり、参加意向については、順位に違いはあるものの、男女ともに「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」「交通安全、防犯、防災活動」「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が上位３項目に入っています。

■男女別 参加経験（「参加したことがある」）

男性	女性
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 67.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 60.4%
市民体育大会などのスポーツ活動 48.9%	市民体育大会などのスポーツ活動 43.2%
交通安全、防犯、防災活動 47.0%	交通安全、防犯、防災活動 42.5%

■男女別 参加意向（「参加したい」＋「参加してもよい」）

男性	女性
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 78.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 75.1%
交通安全、防犯、防災活動 71.3%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 69.8%
保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 65.3%	交通安全、防犯、防災活動 67.9%

コミュニティ活動やボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について年代別にみると、参加経験ではすべての年代において、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」の割合が最も高く、「未成年」「20 歳代」「30 歳代」では「市民体育大会などのスポーツ活動」、「40 歳代以上」では「交通安全、防犯、防災活動」の割合が２番目に高くなっています。

また、参加意向については、ほとんどの年代で「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が上位３項目に入っており、その他の特徴としては、「未成年」「60 歳代」「70 歳以上」で「高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など）」、「20 歳代」で「子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど）」、「30 歳代」から「70 歳以上」で「交通安全、防犯、防災活動」が上位３項目に入っています。

■年代別 参加経験（「参加したことがある」）

未成年（高校生以上）	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 62.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 40.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 50.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 61.0%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 73.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 74.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 64.5%
市民体育大会などのスポーツ活動 49.5%	市民体育大会などのスポーツ活動 36.1%	市民体育大会などのスポーツ活動 45.6%	交通安全、防犯、防災活動 50.7%	交通安全、防犯、防災活動 56.7%	交通安全、防犯、防災活動 56.8%	交通安全、防犯、防災活動 45.4%
高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 30.2%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 27.2%	交通安全、防犯、防災活動 33.9%	市民体育大会などのスポーツ活動 43.7%	市民体育大会などのスポーツ活動 55.2%	市民体育大会などのスポーツ活動 48.6%	市民体育大会などのスポーツ活動 37.4%

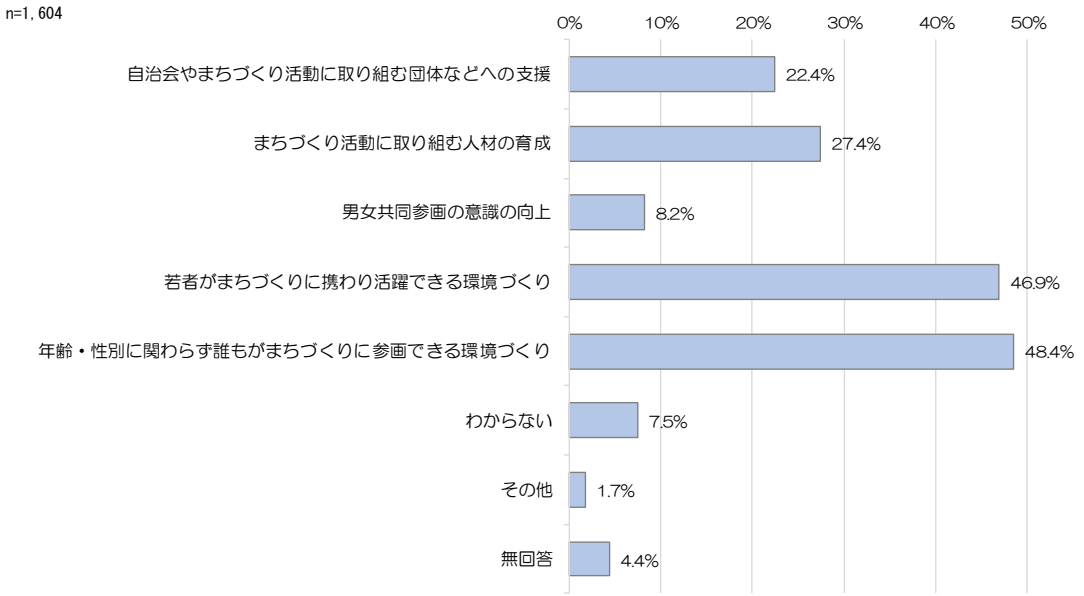
■年代別 参加意向（「参加したい」＋「参加してもよい」）

未成年（高校生以上）	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 84.1%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 78.2%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 76.7%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 78.9%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 83.9%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 81.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 55.7%
保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 78.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 77.6%	交通安全、防犯、防災活動 72.2%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 76.1%	交通安全、防犯、防災活動 77.4%	交通安全、防犯、防災活動 70.8%	交通安全、防犯、防災活動 47.3%
高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 76.9%	子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど） 77.6%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 70.0%	交通安全、防犯、防災活動 74.6%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 71.3%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 67.0%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 46.9%

【問１６】市民がまちづくりの「主役」となるためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

市民がまちづくりの「主役」となるために特に重要だと思うこととして、「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」が 48.4%と最も高く、次いで「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」が 46.9%、「まちづくり活動に取り組む人材の育成」が 27.4%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「40 歳代」までは、「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」と回答した割合が最も高く、「60 歳代」「70 歳以上」では「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」と回答した割合が最も高くなっています。「50 歳代」では、この両方が同じ割合で最も高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	自治会やまちづくり活動に取り組む団体などへの支援	まちづくり活動に取り組む人材の育成	男女共同参画の意識の向上	若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり	年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	359	439	132	752	777	120	28	70
			22.4%	27.4%	8.2%	46.9%	48.4%	7.5%	1.7%	4.4%
性別	男性	711	176	221	62	342	327	40	15	25
			24.8%	31.1%	8.7%	48.1%	46.0%	5.6%	2.1%	3.5%
	女性	838	172	206	65	384	427	73	12	41
			20.5%	24.6%	7.8%	45.8%	51.0%	8.7%	1.4%	4.9%
年代別	未成年	182	22	47	16	91	89	17	3	7
			12.1%	25.8%	8.8%	50.0%	48.9%	9.3%	1.6%	3.8%
	20歳代	147	25	37	10	87	66	14	1	2
			17.0%	25.2%	6.8%	59.2%	44.9%	9.5%	0.7%	1.4%
	30歳代	180	33	46	15	98	94	8	4	2
			18.3%	25.6%	8.3%	54.4%	52.2%	4.4%	2.2%	1.1%
	40歳代	213	48	59	21	104	103	15	6	2
			22.5%	27.7%	9.9%	48.8%	48.4%	7.0%	2.8%	0.9%
	50歳代	261	63	80	21	124	124	18	4	10
			24.1%	30.7%	8.0%	47.5%	47.5%	6.9%	1.5%	3.8%
	60歳代	315	81	93	25	134	163	19	3	15
			25.7%	29.5%	7.9%	42.5%	51.7%	6.0%	1.0%	4.8%
	70歳以上	262	77	67	20	93	118	24	7	27
			29.4%	25.6%	7.6%	35.5%	45.0%	9.2%	2.7%	10.3%

【問１７】あなたは、日田市の市政について関心がありますか。（○は１つだけ）

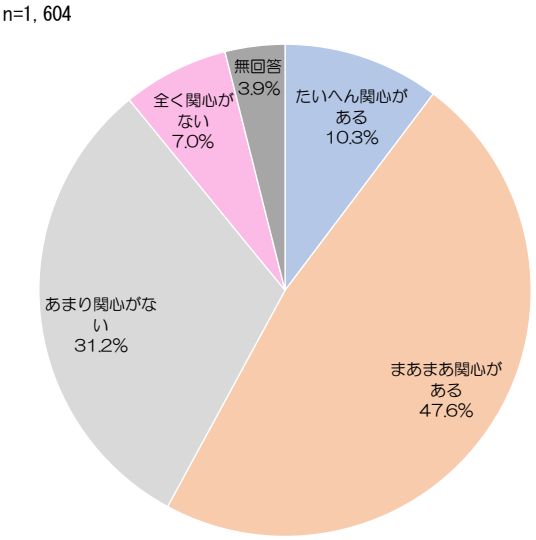
日田市の市政への関心については、関心がある人※1が 57.9%、関心がない人※2が 38.2%となっています。

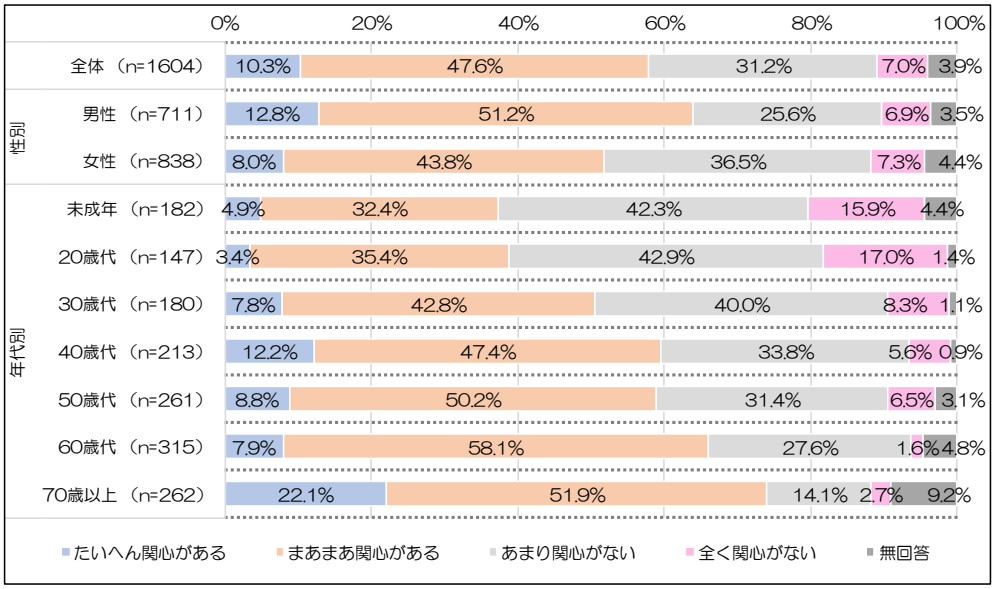
男女別にみると、関心がある人は、「男性」が 64.0%で「女性」の 51.8%と比較して 12.2 ポイント高くなっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて関心がある人の割合が高くなっています。

※1「たいへん関心がある」若しくは「まあまあ関心がある」と回答した人

※2「全く関心がない」若しくは「あまり関心がない」と回答した人



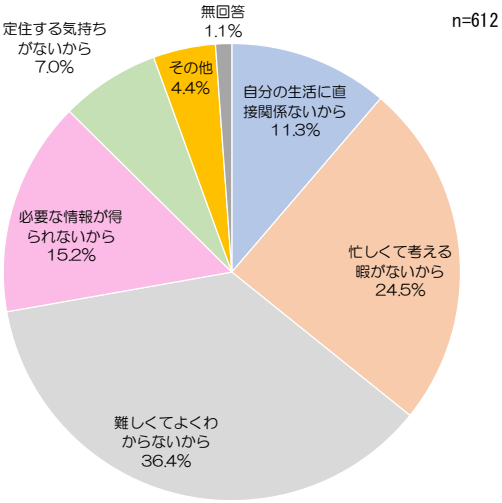


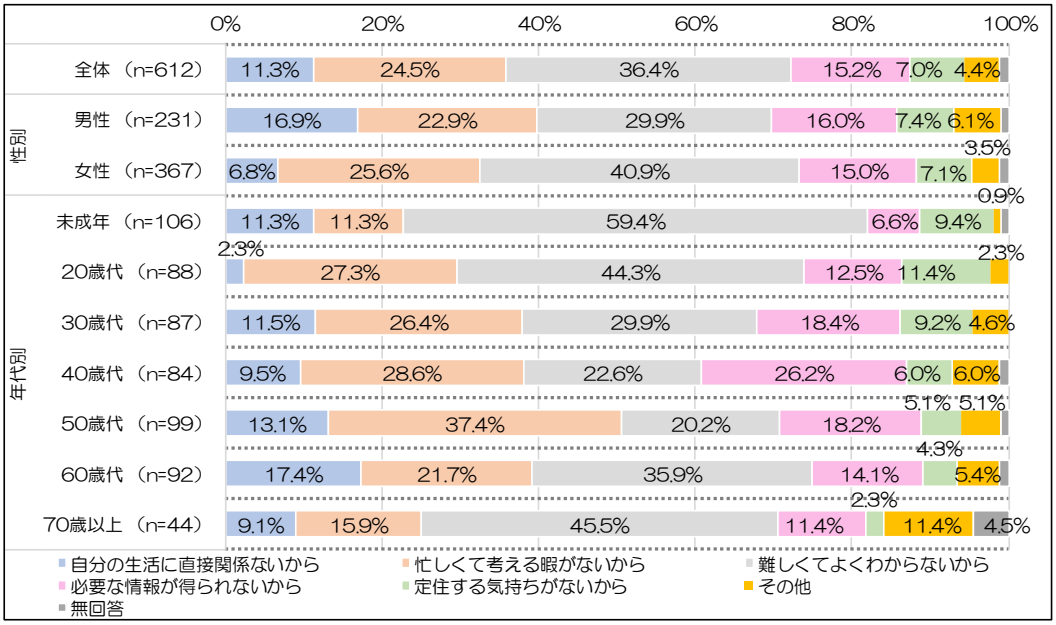
【問１７－１】市政に関心がない方にお伺いします。
「３．あまり関心がない」「４．全く関心がない」を選んだ理由は何ですか。
（○は１つだけ）

市政に関心がない理由として、「難しくてよくわからないから」が 36.4%と最も高く、次いで「忙しくて考える暇がないから」が 24.5%、「必要な情報が得られないから」が 15.2%の順となっています。

男女別にみると、「自分の生活に直接関係ないから」と回答した割合は、「男性」が 16.9%で「女性」の 6.8%と比較して 10.1 ポイント高くなっています。また、「難しくてよくわからないから」と回答した割合は、「女性」が 40.9%で「男性」の 29.9%と比較して 11.0 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「20 歳代」「30 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」では、「難しくてよくわからないから」と回答した割合が最も高く、「40 歳代」と「50 歳代」では、「忙しくて考える暇がないから」と回答した割合が最も高くなっています。



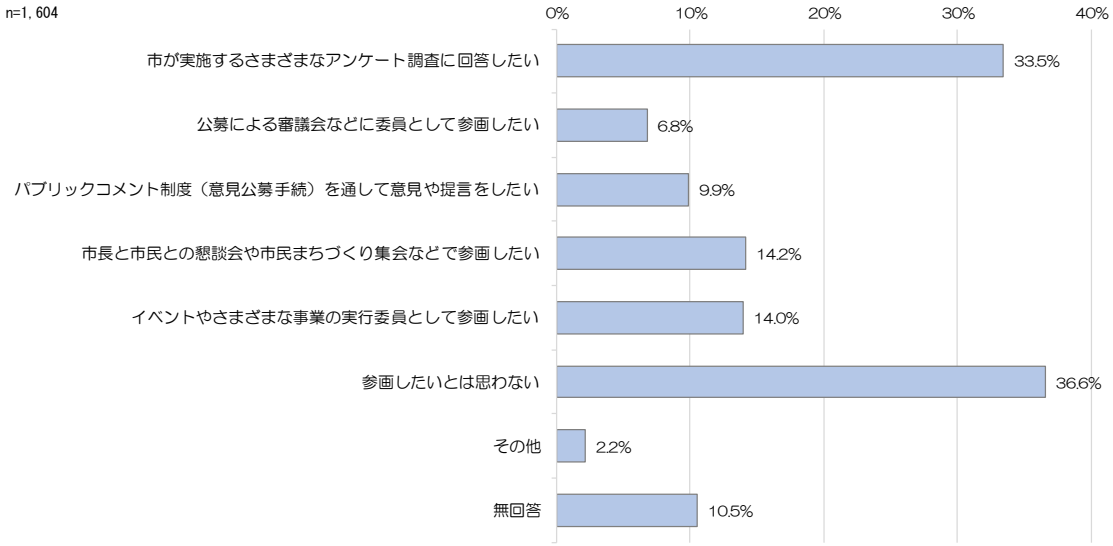


【問１８】あなたが、市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思いますか。（○は３つまで）

市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思うかについては、「参画したいとは思わない」が 36.6%と最も高く、次いで「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」が 33.5%の順となっています。

男女別にみると、「市長と市民との懇談会や市民まちづくり集会などで参画したい」と回答した割合は「男性」が 17.9%で「女性」の 10.9%と比較して 7.0 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合が「未成年」「20 歳代」「30 歳代」「60 歳代」の年代において１位、「40 歳代」「50 歳代」「70 歳以上」においても２位となっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい	公募による審議会などに委員として参画したい	パブリックコメント制度（意見公募手続）を通して意見や提言をしたい	市長と市民との懇談会や市民まちづくり集会などで参画したい	イベントやさまざまな事業の実行委員として参画したい	参画したいとは思わない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	537	109	159	227	224	587	35	169
			33.5%	6.8%	9.9%	14.2%	14.0%	36.6%	2.2%	10.5%
性別	男性	711	222	62	91	127	96	252	18	74
			31.2%	8.7%	12.8%	17.9%	13.5%	35.4%	2.5%	10.4%
	女性	838	293	43	61	91	122	323	15	84
			35.0%	5.1%	7.3%	10.9%	14.6%	38.5%	1.8%	10.0%
年代別	未成年	182	59	13	18	19	47	71	3	10
			32.4%	7.1%	9.9%	10.4%	25.8%	39.0%	1.6%	5.5%
	20歳代	147	40	11	18	14	32	68	0	5
			27.2%	7.5%	12.2%	9.5%	21.8%	46.3%	0.0%	3.4%
	30歳代	180	61	8	11	23	23	80	1	9
			33.9%	4.4%	6.1%	12.8%	12.8%	44.4%	0.6%	5.0%
	40歳代	213	80	21	32	23	34	77	1	9
			37.6%	9.9%	15.0%	10.8%	16.0%	36.2%	0.5%	4.2%
	50歳代	261	93	21	25	38	29	92	9	28
			35.6%	8.0%	9.6%	14.6%	11.1%	35.2%	3.4%	10.7%
	60歳代	315	101	23	26	46	39	112	8	50
			32.1%	7.3%	8.3%	14.6%	12.4%	35.6%	2.5%	15.9%
	70歳以上	262	84	10	22	55	15	77	12	49
			32.1%	3.8%	8.4%	21.0%	5.7%	29.4%	4.6%	18.7%

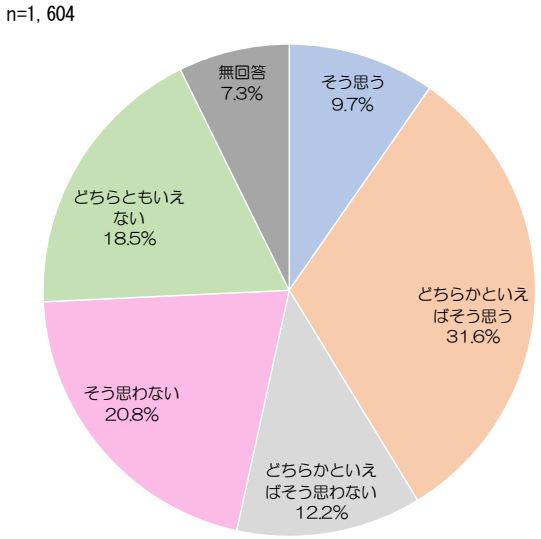
【問１９】あなたは、最新の市政情報（市が提供する情報）が手軽に入手できていると思いますか。（○は１つだけ）

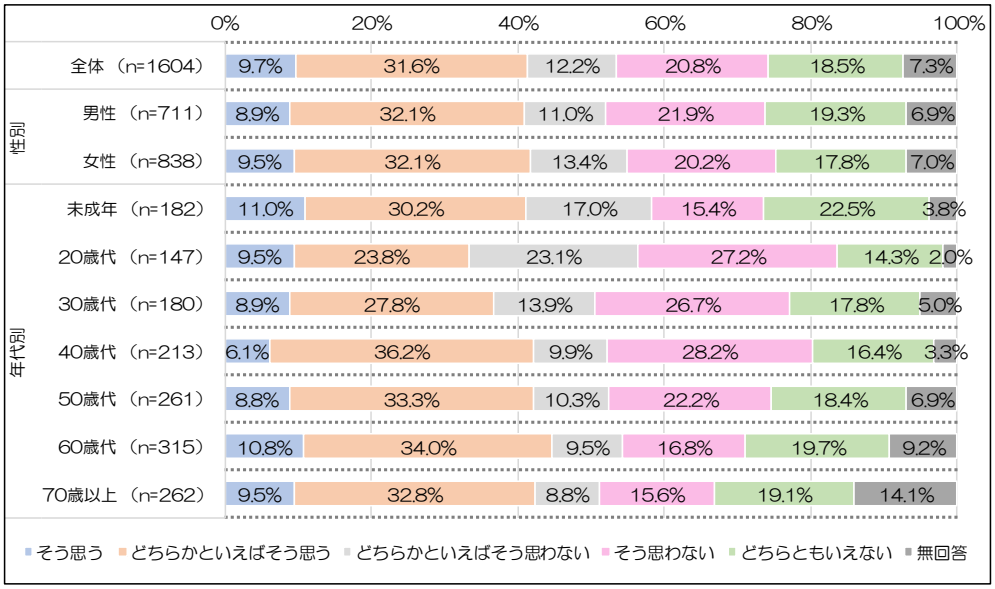
最新の市政情報（市が提供する情報）が手軽に入手できていると思うかについては、手軽に入手できていると思う人※1が 41.3%、手軽に入手できていると思わない人※2が 33.0%となっています。

年代別にみると、「20 歳代」と「30 歳代」において、手軽に入手できていると思わない人の割合が手軽に入手できていると思う人より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

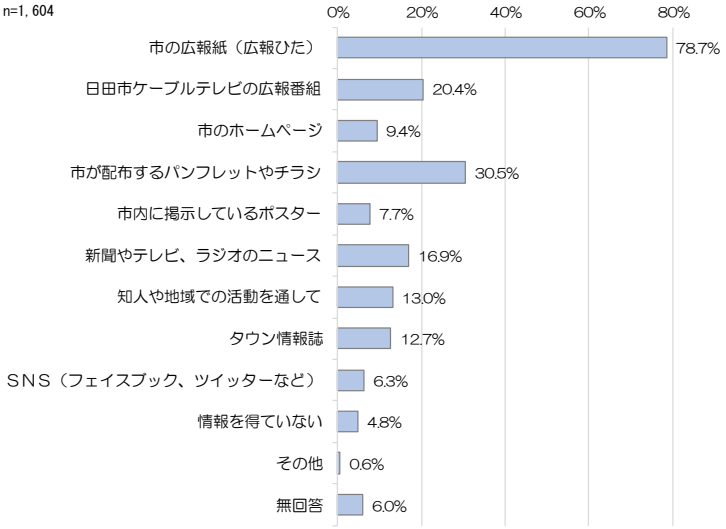




【問２０】あなたは、市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ていますか。（○は３つまで）

市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ているかについては、「市の広報紙（広報ひた）」が 78.7%と最も高く、次いで「市が配布するパンフレットやチラシ」が 30.5%、「日田市ケーブルテレビの広報番組」が 20.4%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代で「市の広報紙（広報ひた）」の割合が最も高くなっているものの、「未成年」においては、他の年代が 7～8 割であるのに対してやや低い、５割程度にとどまっています。また、「未成年」「20 歳代」「30 歳代」においては「ＳＮＳ（フェイスブック、ツイッターなど）」、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」においては「知人や地域での活動を通して」、「50 歳代」においては「タウン情報誌」、「60 歳代」と「70 歳以上」においては「新聞やテレビ、ラジオのニュース」の割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	市の広報紙（広報ひた）	日田市ケーブルテレビの広報番組	市のホームページ	市が配布するパンフレットやチラシ	市内に掲示しているポスター	新聞やテレビ、ラジオのニュース	知人や地域での活動を通して	タウン情報誌	ＳＮＳ（フェイスブック、ツイッターなど）	情報を得ていない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	1,262	327	150	489	123	271	209	204	101	77	10	96
			78.7%	20.4%	9.4%	30.5%	7.7%	16.9%	13.0%	12.7%	6.3%	4.8%	0.6%	6.0%
性別	男性	711	538	132	90	209	49	113	102	79	36	42	5	48
			75.7%	18.6%	12.7%	29.4%	6.9%	15.9%	14.3%	11.1%	5.1%	5.9%	0.7%	6.8%
	女性	838	682	182	56	261	70	143	99	117	63	34	5	41
			81.4%	21.7%	6.7%	31.1%	8.4%	17.1%	11.8%	14.0%	7.5%	4.1%	0.6%	4.9%
年代別	未成年	182	92	44	15	36	21	19	19	12	27	27	2	7
			50.5%	24.2%	8.2%	19.8%	11.5%	10.4%	10.4%	6.6%	14.8%	14.8%	1.1%	3.8%
	20歳代	147	106	23	20	31	14	15	21	11	20	16	2	3
			72.1%	15.6%	13.6%	21.1%	9.5%	10.2%	14.3%	7.5%	13.6%	10.9%	1.4%	2.0%
	30歳代	180	147	38	12	22	14	18	26	22	21	10	0	8
			81.7%	21.1%	6.7%	12.2%	7.8%	10.0%	14.4%	12.2%	11.7%	5.6%	0.0%	4.4%
	40歳代	213	185	34	32	60	23	19	33	33	15	12	2	6
			86.9%	16.0%	15.0%	28.2%	10.8%	8.9%	15.5%	15.5%	7.0%	5.6%	0.9%	2.8%
	50歳代	261	221	48	34	79	11	44	24	54	13	5	2	19
			84.7%	18.4%	13.0%	30.3%	4.2%	16.9%	9.2%	20.7%	5.0%	1.9%	0.8%	7.3%
	60歳代	315	270	71	26	128	23	67	42	41	2	3	1	23
			85.7%	22.5%	8.3%	40.6%	7.3%	21.3%	13.3%	13.0%	0.6%	1.0%	0.3%	7.3%
	70歳以上	262	207	59	9	116	14	79	38	26	1	3	1	24
			79.0%	22.5%	3.4%	44.3%	5.3%	30.2%	14.5%	9.9%	0.4%	1.1%	0.4%	9.2%

【問２１】日田市は、男性も女性も平等に生活や活動ができるまちだと思いますか。（○は１つだけ）

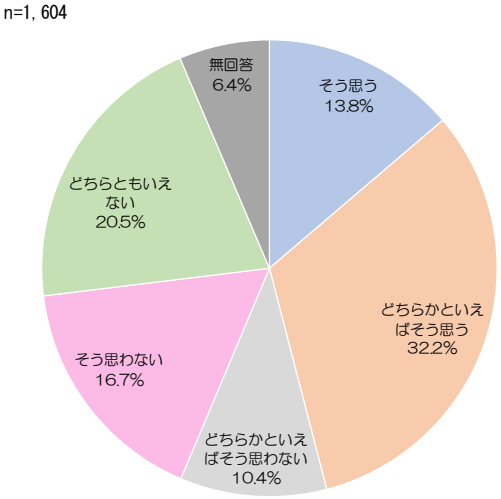
日田市は、男性も女性も平等に生活や活動ができるまちだと思うかについては、男女が平等なまちだと思う人※1が46.0%、男女が平等なまちだと思わない人※2が27.1%となっています。

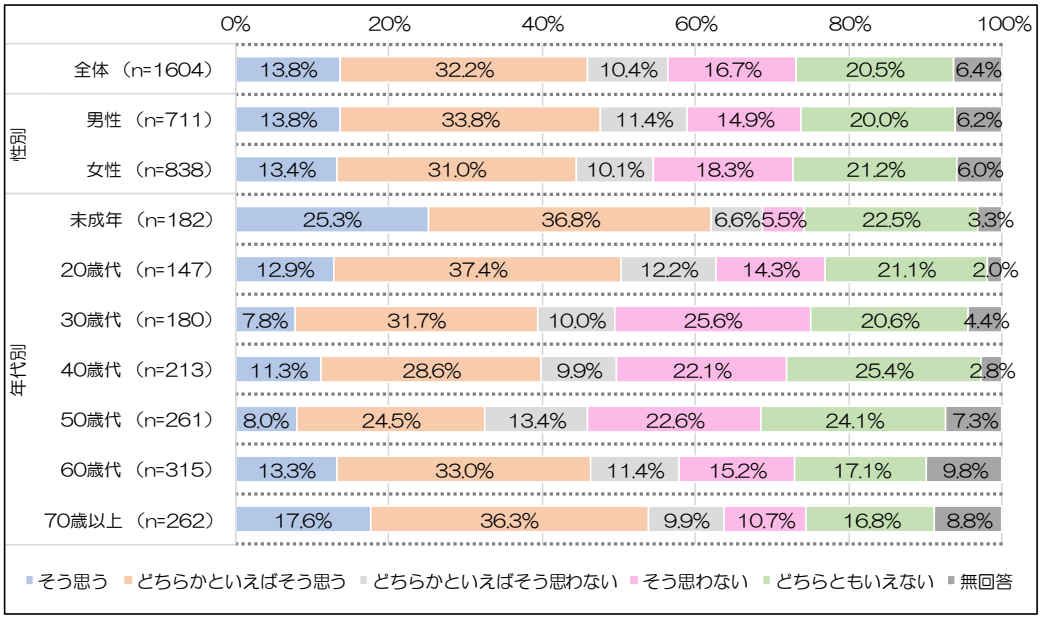
男女別にみて、回答の結果にあまり大きな差はみられませんでした。

年代別にみると、「未成年」において、男女が平等なまちだと思う人の割合が他の年代より高くなっています。「30歳代」「40歳代」「50歳代」においては、男女が平等なまちだと思う人の割合が他の年代に比べ低くなっており、特に「50歳代」では、男女が平等なまちだと思わない人の割合が、男女が平等なまちだと思う人より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





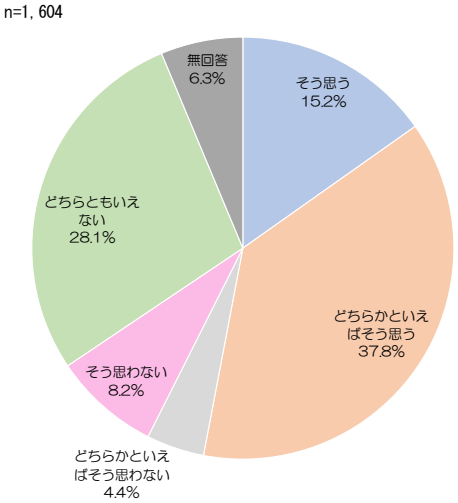
【問２２】あなたは、市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続の手順など）が分かりやすく、利用しやすいと思いますか。（○は１つだけ）

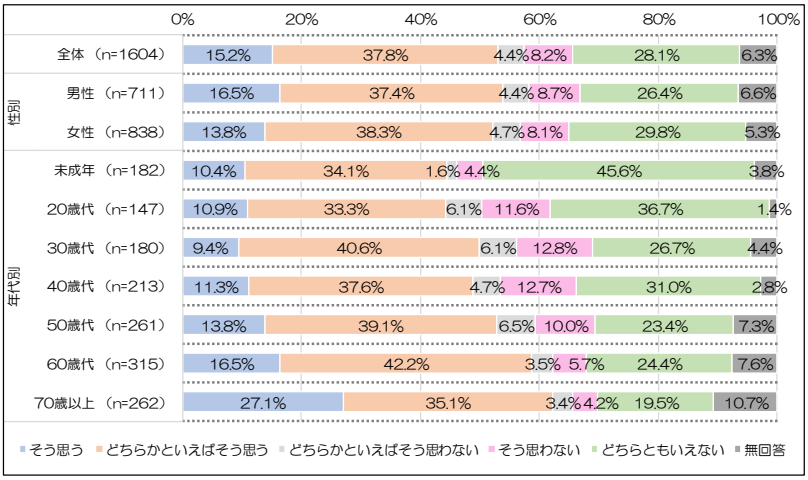
市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続の手順など）が分かりやすく、利用しやすいと思うかについては、利用しやすいと思う人※1が 53.0%、利用しやすいと思わない人※2が 12.6%となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、利用しやすいと思う人の割合が高くなっています。「20 歳代」から「50 歳代」においては、利用しやすいと思わない人の割合が他の年代よりもやや高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





■利用しやすいと思わない主な理由

内容
職員の接遇や対応への不満
窓口の開設時間に対する不満
手続が煩雑なことに対する不満
手続に時間が掛かることに対する不満
手続きを行う場所が分かりづらいことに対する不満

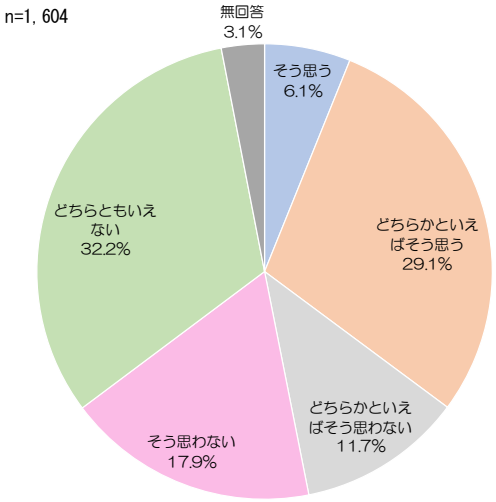
【問２３】日田市は、市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高いまちだと思いますか。（○は１つだけ）

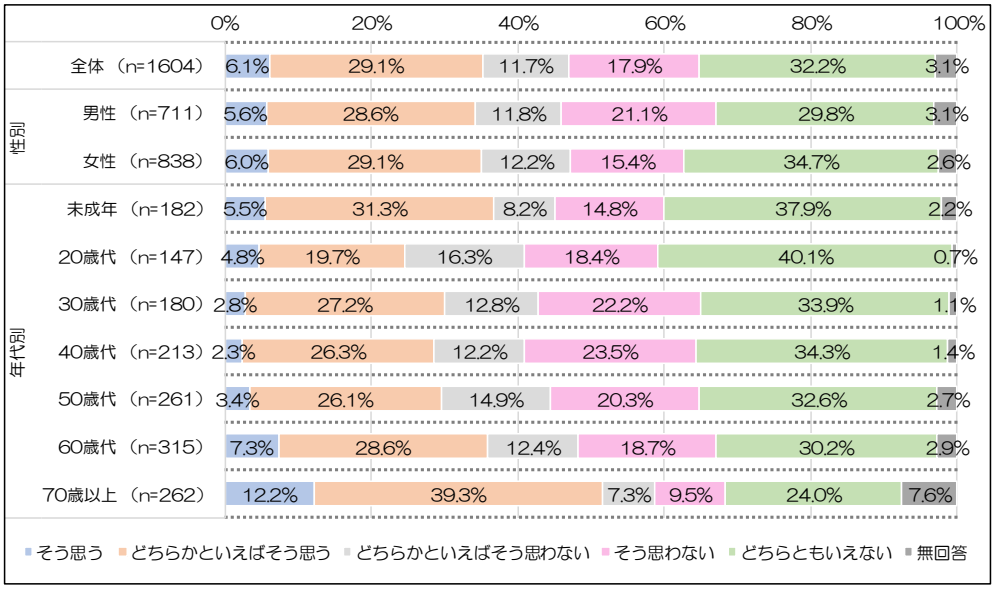
日田市は、市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高いまちだと思うかについては、意識が高いまちだと思う人※1が 35.2%、意識が高いまちだと思わない人※2が 29.6%となっています。

年代別にみると、「70 歳以上」の年代において、意識が高いまちだと思う人の割合が他の年代より高く、5 割を超えています。「20 歳代」から「50 歳代」の年代においては、意識が高いまちだと思わない人の割合が、意識が高いまちだと思う人の割合よりも高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



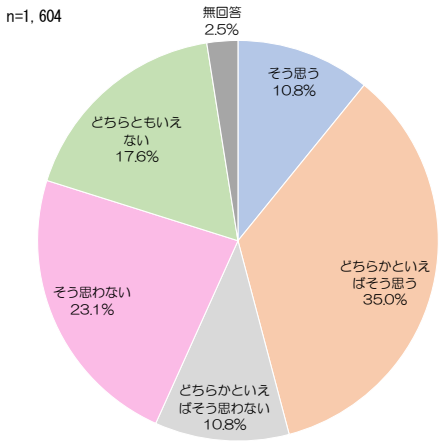


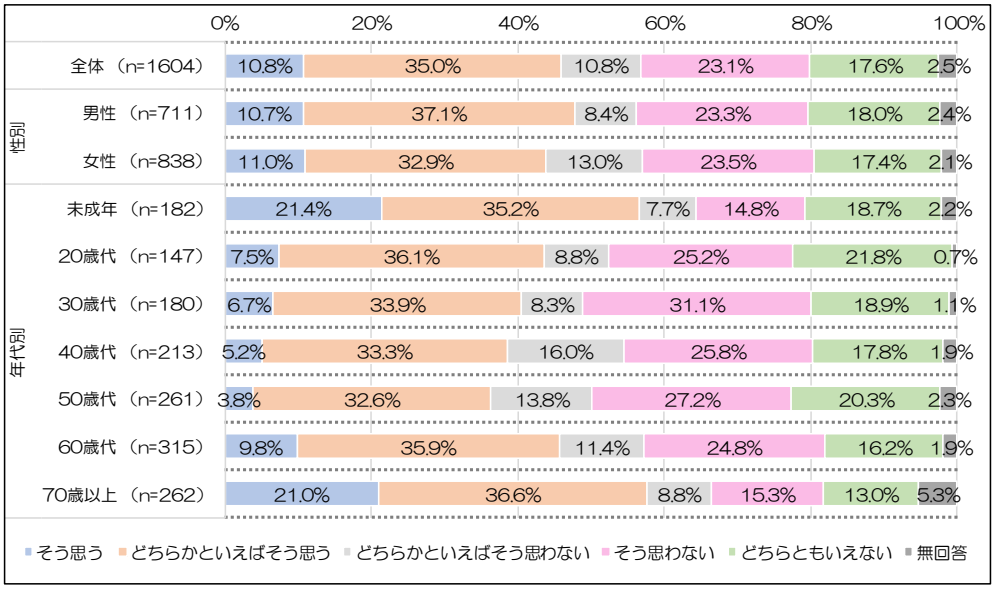
【問２４】日田市は、安心して医療が受けられる体制が整っているまちだと思いますか。
（○は１つだけ）

日田市は、安心して医療が受けられる体制が整っているまちだと思うかについては、整っているまちだと思う人※1が 45.8%、整っているまちだと思わない人※2が 33.9%となっています。

年代別にみると、「未成年」「70 歳以上」の年代においては整っているまちだと思う人の割合が 5 割を超えていますが、それ以外の年代においては 3～4 割程度となっており、特に「40 歳代」「50 歳代」においては、整っているまちだと思わない人の割合が整っているまちだと思う人の割合よりも高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人
※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

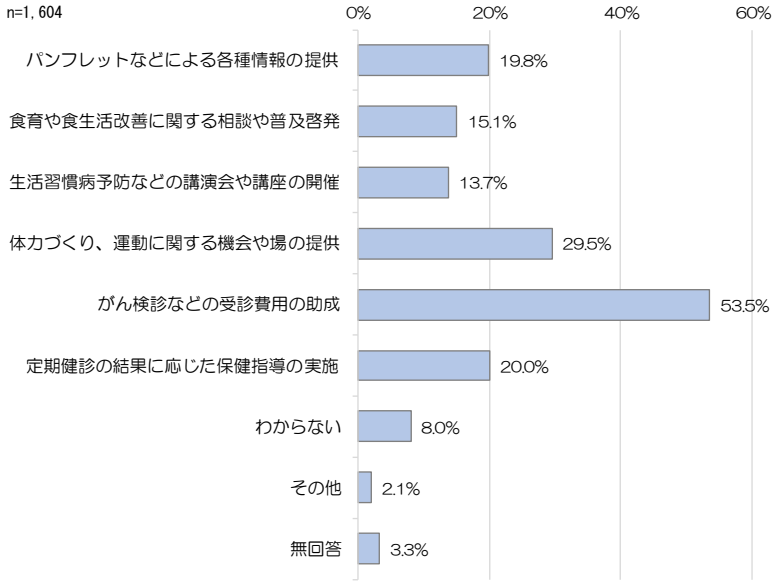




【問２５】健康づくりへの取組について、市はどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（○は２つまで）

健康づくりへの取組について、市はどのようなことに力を入れていく必要があると思うかについては、「がん検診などの受診費用の助成」が 53.5%と最も高く、次いで「体力づくり、運動に関する機会や場の提供」が 29.5%、「定期健診の結果に応じた保健指導の実施」が 20.0%、「パンフレットなどによる各種情報の提供」が 19.8%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代において「がん検診などの受診費用の助成」、「体力づくり、運動に関する機会や場の提供」と回答した割合が高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	パンフレットなどによる各種情報の提供	食育や食生活改善に関する相談や普及啓発	生活習慣病予防などの講演会や講座の開催	体力づくり、運動に関する機会や場の提供	がん検診などの受診費用の助成	定期健診の結果に応じた保健指導の実施	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	318	242	220	473	858	321	129	33	53
			19.8%	15.1%	13.7%	29.5%	53.5%	20.0%	8.0%	2.1%	3.3%
性別	男性	711	149	102	107	204	352	146	69	17	21
			21.0%	14.3%	15.0%	28.7%	49.5%	20.5%	9.7%	2.4%	3.0%
	女性	838	161	133	103	252	484	164	57	16	24
			19.2%	15.9%	12.3%	30.1%	57.8%	19.6%	6.8%	1.9%	2.9%
年代別	未成年	182	20	19	17	69	88	33	35	1	4
			11.0%	10.4%	9.3%	37.9%	48.4%	18.1%	19.2%	0.5%	2.2%
	20歳代	147	29	23	19	48	86	30	13	3	1
			19.7%	15.6%	12.9%	32.7%	58.5%	20.4%	8.8%	2.0%	0.7%
	30歳代	180	25	25	21	65	122	37	9	3	3
			13.9%	13.9%	11.7%	36.1%	67.8%	20.6%	5.0%	1.7%	1.7%
	40歳代	213	41	35	24	50	129	35	18	9	3
			19.2%	16.4%	11.3%	23.5%	60.6%	16.4%	8.5%	4.2%	1.4%
	50歳代	261	51	54	42	75	148	39	16	7	8
			19.5%	20.7%	16.1%	28.7%	56.7%	14.9%	6.1%	2.7%	3.1%
	60歳代	315	72	54	44	98	161	68	12	4	10
			22.9%	17.1%	14.0%	31.1%	51.1%	21.6%	3.8%	1.3%	3.2%
	70歳以上	262	75	27	46	53	105	69	24	6	18
			28.6%	10.3%	17.6%	20.2%	40.1%	26.3%	9.2%	2.3%	6.9%

【問２６】日田市は、安心して出産し、子育てのしやすいまちだと思いますか。（○は１つだけ）

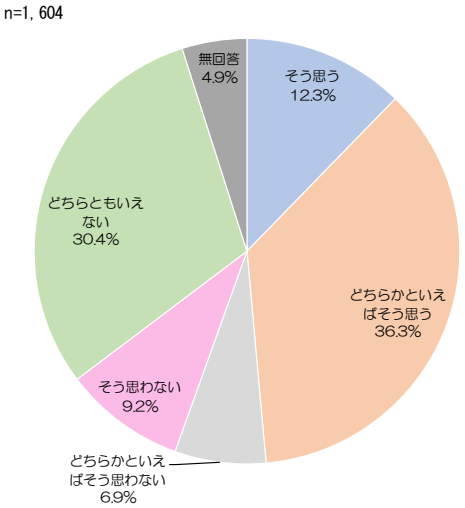
日田市は、安心して出産し、子育てのしやすいまちだと思うかについては、子育てのしやすいまちだと思う人※1が48.6%、子育てのしやすいまちだと思わない人※2が16.1%となっています。

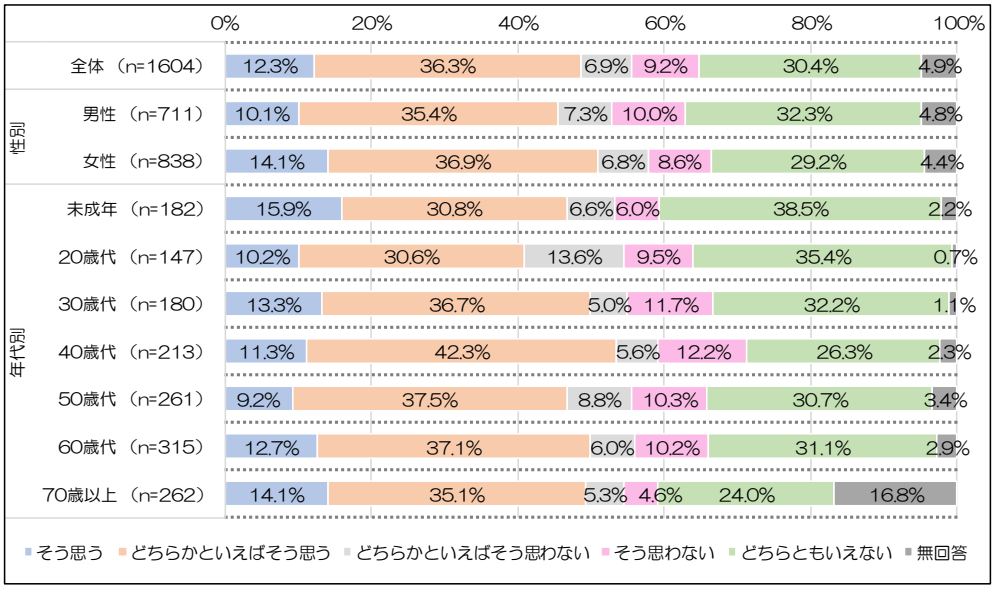
男女別にみると、子育てのしやすいまちだと思う人は、「女性」が51.0%で「男性」の45.5%と比較して5.5ポイント高くなっています。

年代別にみると、「30歳代」「40歳代」において、子育てのしやすいまちだと思う人の割合が約５割と他の年代より高くなっています。一方、「20歳代」においては子育てのしやすいまちだと思う人の割合が約４割と、「30歳代」「40歳代」より低くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



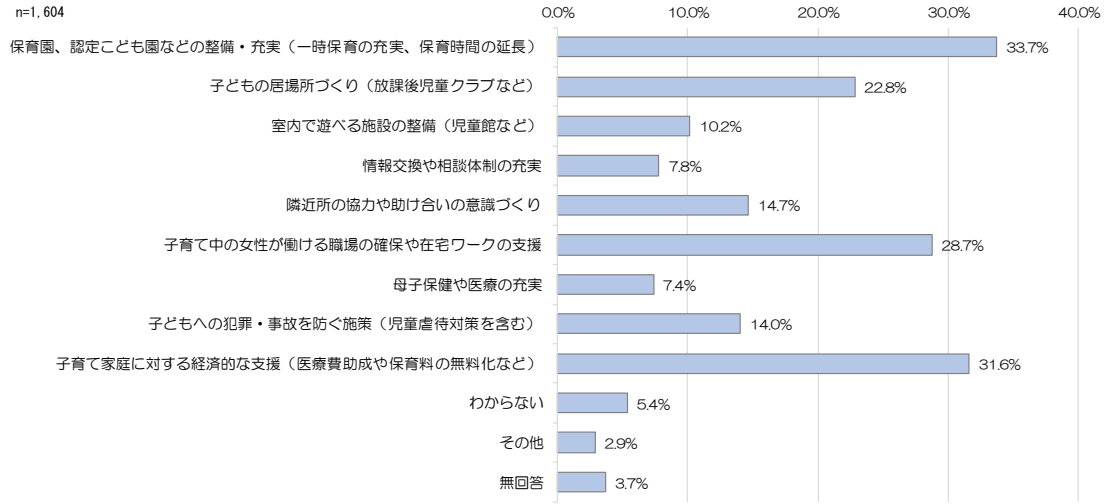


【問２７】すべての子どもが幸せに育つための環境整備について、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

すべての子どもが幸せに育つために特に重要と思う環境整備については、「保育園、認定こども園などの整備・充実（一時保育の充実、保育時間の延長）」が 33.7%と最も高く、次いで「子育て家庭に対する経済的な支援（医療費助成や保育料の無料化など）」が 31.6%、「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が 28.7%の順となっています。

男女別にみて、回答の結果にあまり大きな差はみられませんでした。

年代別にみると、「30 歳代」「40 歳代」以外のすべての年代において、「保育園、認定こども園などの整備・充実（一時保育の充実、保育時間の延長）」と回答する割合が最も高くなっています。「30 歳代」「40 歳代」においては、「子育て家庭に対する経済的な支援（医療費助成や保育料の無料化など）」と回答する割合が最も高くなっています。



（上段：人　下段：%）

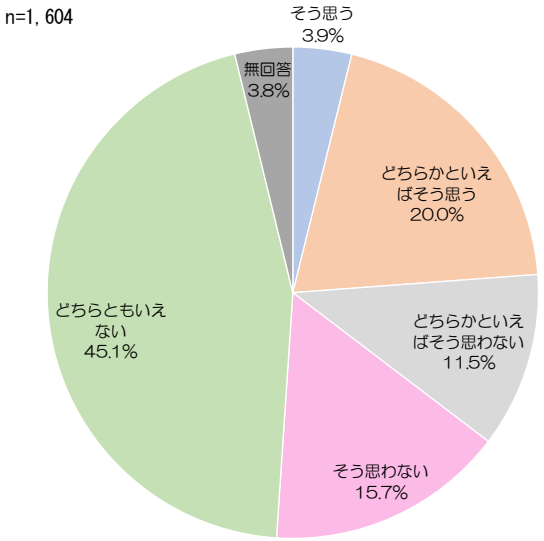
		標本数（人）	保育園、認定こども園などの整備・充実（一時保育の充実、保育時間の延長）	子どもの居場所づくり（放課後児童クラブなど）	室内で遊べる施設の整備（児童館など）	情報交換や相談体制の充実	隣近所の協力や助け合いの意識づくり	子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	母子保健や医療の充実	子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策（児童虐待対策を含む）	子育て家庭に対する経済的な支援（医療費助成や保育料の無料化など）	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	541	366	163	125	235	461	118	225	507	86	46	59
			33.7%	22.8%	10.2%	7.8%	14.7%	28.7%	7.4%	14.0%	31.6%	5.4%	2.9%	3.7%
性別	男性	711	250	148	69	54	97	195	64	95	229	44	19	24
			35.2%	20.8%	9.7%	7.6%	13.6%	27.4%	9.0%	13.4%	32.2%	6.2%	2.7%	3.4%
	女性	838	281	204	90	69	123	251	52	123	264	39	24	30
			33.5%	24.3%	10.7%	8.2%	14.7%	30.0%	6.2%	14.7%	31.5%	4.7%	2.9%	3.6%
年代別	未成年	182	72	36	28	7	15	43	15	30	55	22	2	4
			39.6%	19.8%	15.4%	3.8%	8.2%	23.6%	8.2%	16.5%	30.2%	12.1%	1.1%	2.2%
	20歳代	147	62	33	22	10	11	52	9	12	60	4	2	2
			42.2%	22.4%	15.0%	6.8%	7.5%	35.4%	6.1%	8.2%	40.8%	2.7%	1.4%	1.4%
	30歳代	180	50	44	30	14	19	57	17	29	77	5	7	1
			27.8%	24.4%	16.7%	7.8%	10.6%	31.7%	9.4%	16.1%	42.8%	2.8%	3.9%	0.6%
	40歳代	213	64	49	30	15	20	68	16	30	81	5	17	3
			30.0%	23.0%	14.1%	7.0%	9.4%	31.9%	7.5%	14.1%	38.0%	2.3%	8.0%	1.4%
	50歳代	261	103	63	13	27	33	89	25	35	79	11	4	7
			39.5%	24.1%	5.0%	10.3%	12.6%	34.1%	9.6%	13.4%	30.3%	4.2%	1.5%	2.7%
	60歳代	315	104	85	20	35	58	90	20	38	95	15	7	10
			33.0%	27.0%	6.3%	11.1%	18.4%	28.6%	6.3%	12.1%	30.2%	4.8%	2.2%	3.2%
	70歳以上	262	77	44	17	16	65	50	14	46	47	22	5	29
			29.4%	16.8%	6.5%	6.1%	24.8%	19.1%	5.3%	17.6%	17.9%	8.4%	1.9%	11.1%

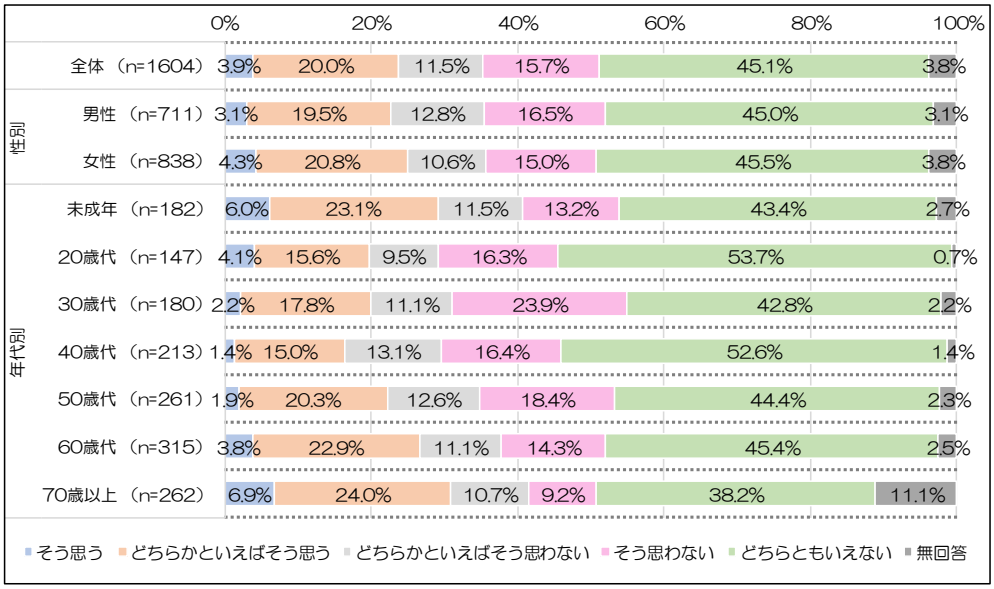
【問２８】日田市は、障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
（○は１つだけ）

日田市は、障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思うかについては、暮らしやすいまちだと思う人※1が 23.9%、暮らしやすいまちだと思わない人※2が 27.2%となっています。

年代別にみると、「20 歳代」から「50 歳代」においては、暮らしやすいまちだと思わない人の割合が暮らしやすいまちだと思う人より高くなっており、「未成年」「60 歳代」「70 歳以上」においては暮らしやすいまちだと思う人の割合が暮らしやすいまちだと思わない人より高くなっています。

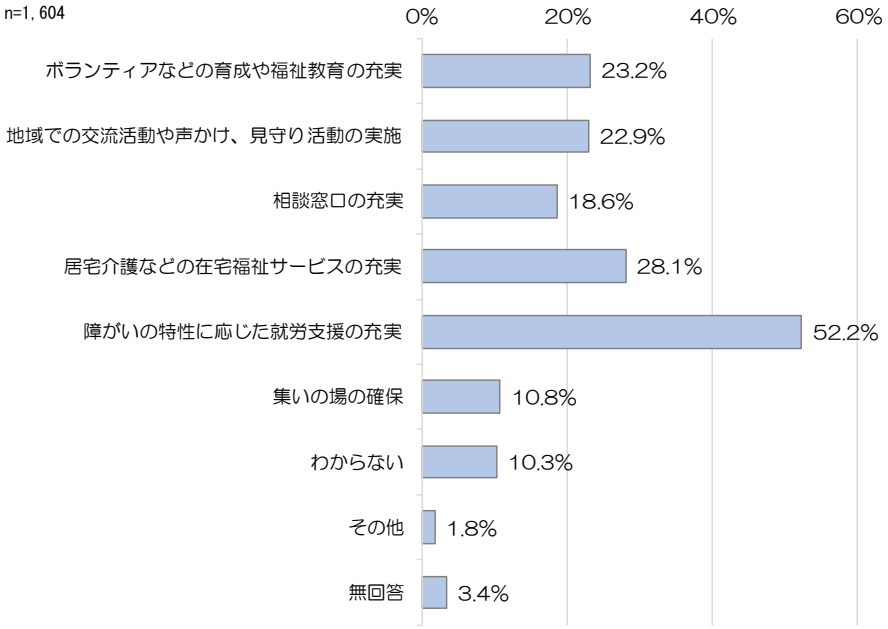
※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人
※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





【問２９】障がいのある人が地域で安心し、生きがいをもって暮らすためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

障がいのある人が地域で安心し、生きがいをもって暮らすために特に重要だと思うことについては、「障がいの特性に応じた就労支援の充実」が 52.2%と最も高く、次いで「居宅介護などの在宅福祉サービスの充実」が 28.1%、「ボランティアなどの育成や福祉教育の充実」が 23.2%、「地域での交流活動や声かけ、見守り活動の充実」が 22.9%の順となっています。



（上段：人　下段：%）

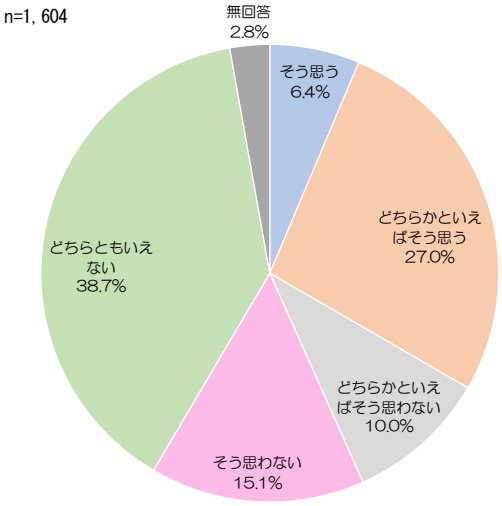
		標本数（人）	ボランティアなどの育成や福祉教育の充実	地域での交流活動や声かけ、見守り活動の実施	相談窓口の充実	居宅介護などの在宅福祉サービスの充実	障がいの特性に応じた就労支援の充実	集いの場の確保	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	372	368	298	450	838	173	165	29	55
			23.2%	22.9%	18.6%	28.1%	52.2%	10.8%	10.3%	1.8%	3.4%
性別	男性	711	171	153	137	196	367	76	78	12	25
			24.1%	21.5%	19.3%	27.6%	51.6%	10.7%	11.0%	1.7%	3.5%
	女性	838	193	201	151	240	447	92	83	17	24
			23.0%	24.0%	18.0%	28.6%	53.3%	11.0%	9.9%	2.0%	2.9%
年代別	未成年	182	34	46	24	54	79	36	28	1	5
			18.7%	25.3%	13.2%	29.7%	43.4%	19.8%	15.4%	0.5%	2.7%
	20歳代	147	35	25	32	30	88	18	23	0	1
			23.8%	17.0%	21.8%	20.4%	59.9%	12.2%	15.6%	0.0%	0.7%
	30歳代	180	48	32	21	45	108	27	17	10	4
			26.7%	17.8%	11.7%	25.0%	60.0%	15.0%	9.4%	5.6%	2.2%
	40歳代	213	53	36	37	55	119	21	26	7	3
			24.9%	16.9%	17.4%	25.8%	55.9%	9.9%	12.2%	3.3%	1.4%
	50歳代	261	71	47	41	85	164	29	15	5	6
			27.2%	18.0%	15.7%	32.6%	62.8%	11.1%	5.7%	1.9%	2.3%
	60歳代	315	70	87	75	88	171	22	29	2	8
			22.2%	27.6%	23.8%	27.9%	54.3%	7.0%	9.2%	0.6%	2.5%
	70歳以上	262	53	82	62	80	88	16	25	4	24
			20.2%	31.3%	23.7%	30.5%	33.6%	6.1%	9.5%	1.5%	9.2%

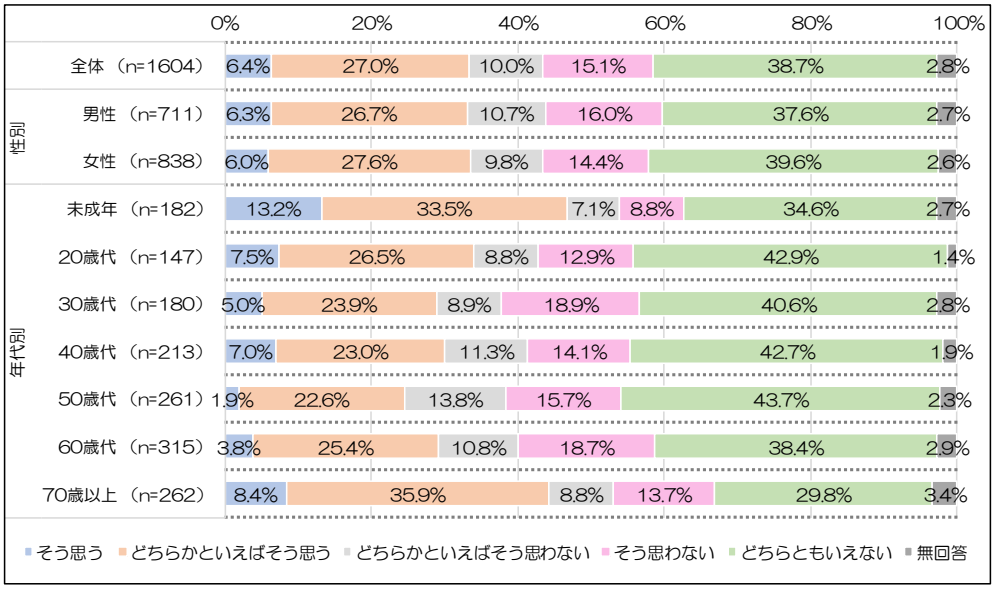
【問３０】日田市は、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちだと思いますか。
（○は１つだけ）

日田市は、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちだと思うかについては、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人※1が 33.4%、生きがいをもって暮らせるまちだと思わない人※2が 25.1%となっています。

年代別にみると、「未成年」「70 歳以上」の年代において、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人の割合が 4 割超と他の年代より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人
※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

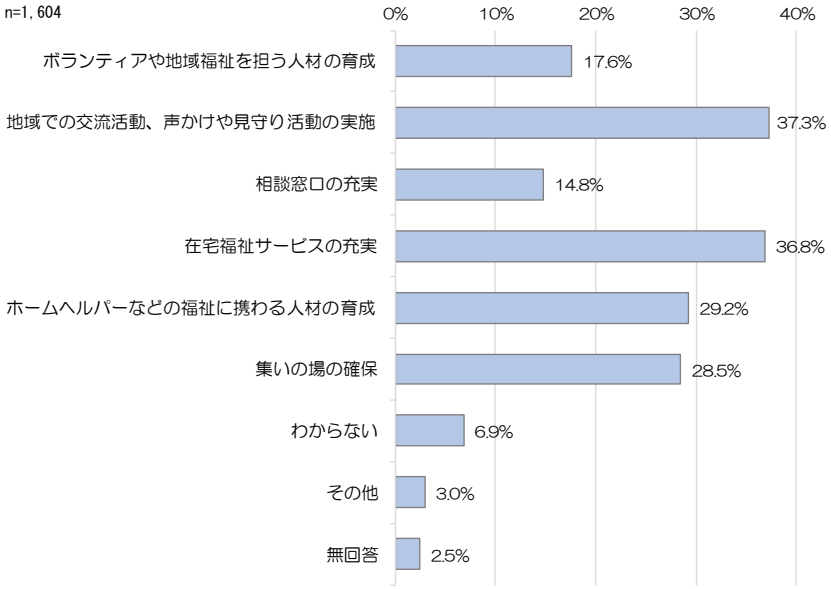




【問３１】高齢者が安心し、生きがいをもって暮らすためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

高齢者が安心し、生きがいをもって暮らすために特に重要だと思うことについては、「地域での交流活動、声かけや見守り活動の実施」が 37.3%と最も高く、次いで「在宅福祉サービスの充実」が 36.8%、「ホームヘルパーなどの福祉に携わる人材の育成」が 29.2%、「集いの場の確保」が 28.5%の順となっています。

年代別にみると、「20 歳代」「40 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」においては「地域での交流活動、声かけや見守り活動の実施」と回答した割合が最も高くなっています。



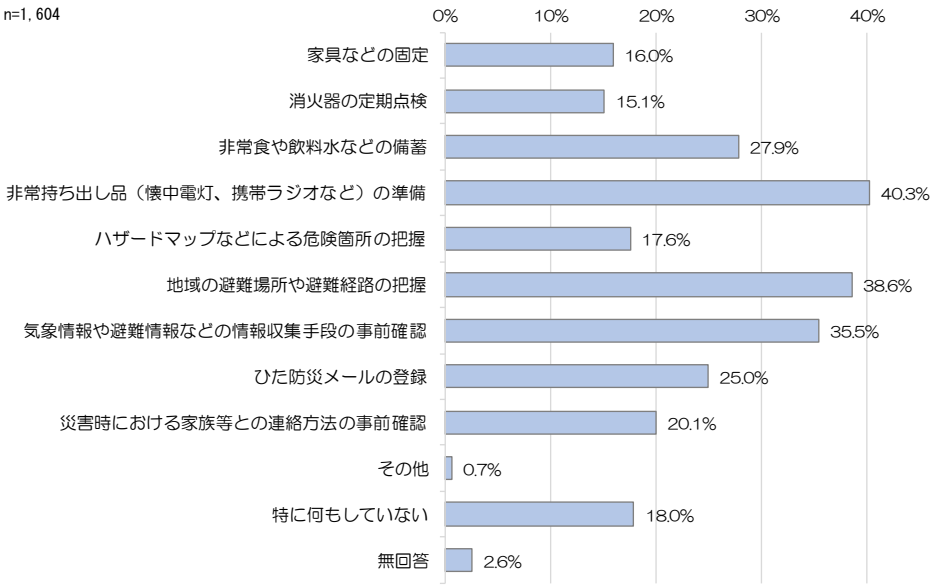
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	ボランティアや地域福祉を担う人材の育成	地域での交流活動、声かけや見守り活動の実施	相談窓口の充実	在宅福祉サービスの充実	ホームヘルパーなどの福祉に携わる人材の育成	集いの場の確保	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	283	599	237	591	469	457	110	48	40
			17.6%	37.3%	14.8%	36.8%	29.2%	28.5%	6.9%	3.0%	2.5%
性別	男性	711	127	242	119	255	218	182	57	28	14
			17.9%	34.0%	16.7%	35.9%	30.7%	25.6%	8.0%	3.9%	2.0%
	女性	838	145	334	107	313	241	268	51	19	22
			17.3%	39.9%	12.8%	37.4%	28.8%	32.0%	6.1%	2.3%	2.6%
年代別	未成年	182	36	53	11	57	53	64	26	3	5
			19.8%	29.1%	6.0%	31.3%	29.1%	35.2%	14.3%	1.6%	2.7%
	20歳代	147	21	57	21	44	42	52	18	5	2
			14.3%	38.8%	14.3%	29.9%	28.6%	35.4%	12.2%	3.4%	1.4%
	30歳代	180	28	53	19	69	58	65	17	9	4
			15.6%	29.4%	10.6%	38.3%	32.2%	36.1%	9.4%	5.0%	2.2%
	40歳代	213	35	73	30	69	67	68	18	9	5
			16.4%	34.3%	14.1%	32.4%	31.5%	31.9%	8.5%	4.2%	2.3%
	50歳代	261	47	86	43	114	94	71	8	7	4
			18.0%	33.0%	16.5%	43.7%	36.0%	27.2%	3.1%	2.7%	1.5%
	60歳代	315	55	132	53	131	92	75	10	7	7
			17.5%	41.9%	16.8%	41.6%	29.2%	23.8%	3.2%	2.2%	2.2%
	70歳以上	262	52	127	50	89	56	58	12	7	8
			19.8%	48.5%	19.1%	34.0%	21.4%	22.1%	4.6%	2.7%	3.1%

【問３２】あなたは、地震や風水害などの災害に対してどのような備えをしていますか。（○はいくつでも）

地震や風水害などの災害に対して備えていることとしては、「非常持ち出し品（懐中電灯、携帯ラジオなど）の準備」が 40.3%と最も高く、次いで「地域の避難場所や避難経路の把握」が 38.6%、「気象情報や避難情報などの情報収集手段の事前確認」が 35.5%の順となっています。

年代別にみると、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」「70 歳以上」の年代において、「非常持ち出し品（懐中電灯、携帯ラジオなど）の準備」と回答した割合が最も高くなっています。また、「20 歳代」においては「特に何もしていない」と回答した割合が 3 割超と、他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

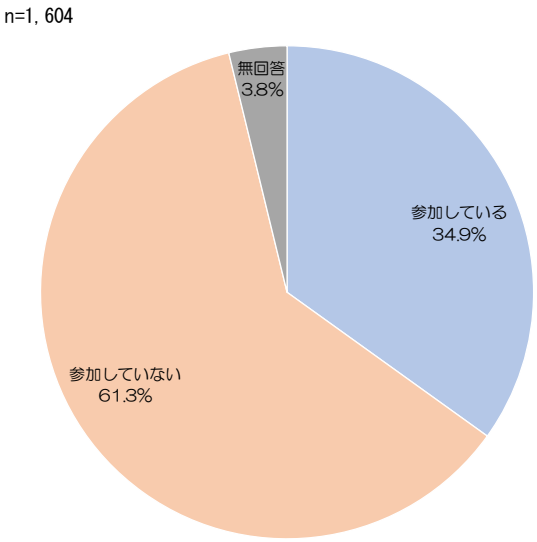
		標本数（人）	家具などの固定	消火器の定期点検	非常食や飲料水などの備蓄	非常持ち出し品（懐中電灯、携帯ラジオなど）の準備	ハザードマップなどによる危険箇所の把握	地域の避難場所や避難経路の把	気象情報や避難情報などの情報収集手段の事前確認	ひた防災メールの登録	災害時における家族等との連絡方法の事前確認	その他	特に何もしていない	無回答
全体（単純集計）		1,604	256	243	447	646	282	619	569	401	322	11	288	42
			16.0%	15.1%	27.9%	40.3%	17.6%	38.6%	35.5%	25.0%	20.1%	0.7%	18.0%	2.6%
性別	男性	711	114	105	183	276	136	258	262	160	122	5	138	18
			16.0%	14.8%	25.7%	38.8%	19.1%	36.3%	36.8%	22.5%	17.2%	0.7%	19.4%	2.5%
	女性	838	133	129	245	345	135	332	290	233	189	6	143	21
			15.9%	15.4%	29.2%	41.2%	16.1%	39.6%	34.6%	27.8%	22.6%	0.7%	17.1%	2.5%
年代別	未成年	182	16	17	46	44	18	58	39	42	40	3	39	5
			8.8%	9.3%	25.3%	24.2%	9.9%	31.9%	21.4%	23.1%	22.0%	1.6%	21.4%	2.7%
	20歳代	147	15	4	38	49	12	42	41	19	33	0	47	2
			10.2%	2.7%	25.9%	33.3%	8.2%	28.6%	27.9%	12.9%	22.4%	0.0%	32.0%	1.4%
	30歳代	180	24	17	58	68	30	64	62	47	38	0	40	4
			13.3%	9.4%	32.2%	37.8%	16.7%	35.6%	34.4%	26.1%	21.1%	0.0%	22.2%	2.2%
	40歳代	213	37	32	63	84	46	70	83	80	25	1	34	5
			17.4%	15.0%	29.6%	39.4%	21.6%	32.9%	39.0%	37.6%	11.7%	0.5%	16.0%	2.3%
	50歳代	261	45	45	80	110	63	103	122	102	46	3	35	5
			17.2%	17.2%	30.7%	42.1%	24.1%	39.5%	46.7%	39.1%	17.6%	1.1%	13.4%	1.9%
	60歳代	315	47	49	79	139	60	143	114	69	61	2	50	8
			14.9%	15.6%	25.1%	44.1%	19.0%	45.4%	36.2%	21.9%	19.4%	0.6%	15.9%	2.5%
	70歳以上	262	64	71	69	132	44	116	95	37	70	2	39	9
			24.4%	27.1%	26.3%	50.4%	16.8%	44.3%	36.3%	14.1%	26.7%	0.8%	14.9%	3.4%

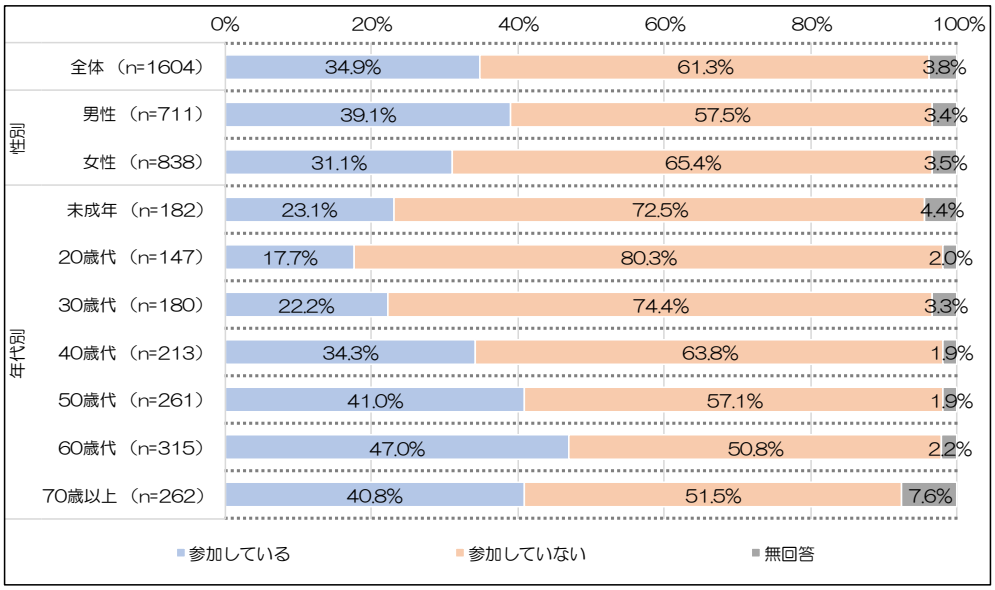
【問３３】あなたは、地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加していますか。（○は１つだけ）

地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加しているかについては、「参加している」が 34.9%、「参加していない」が 61.3%となっています。

男女別にみると、「参加している」と回答した割合は「男性」が 39.1%で「女性」の 31.1%と比較して 8.0 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20 歳代」において「参加している」と回答した割合が 2 割以下と最も低く、「未成年」「30 歳代」においては 2 割程度と、若い年代の方の参加割合が低くなっています。



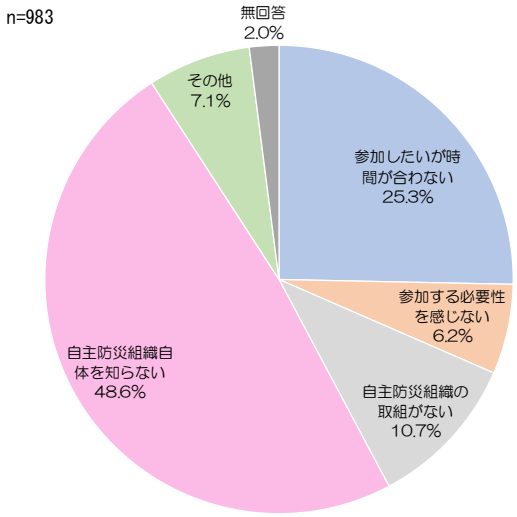


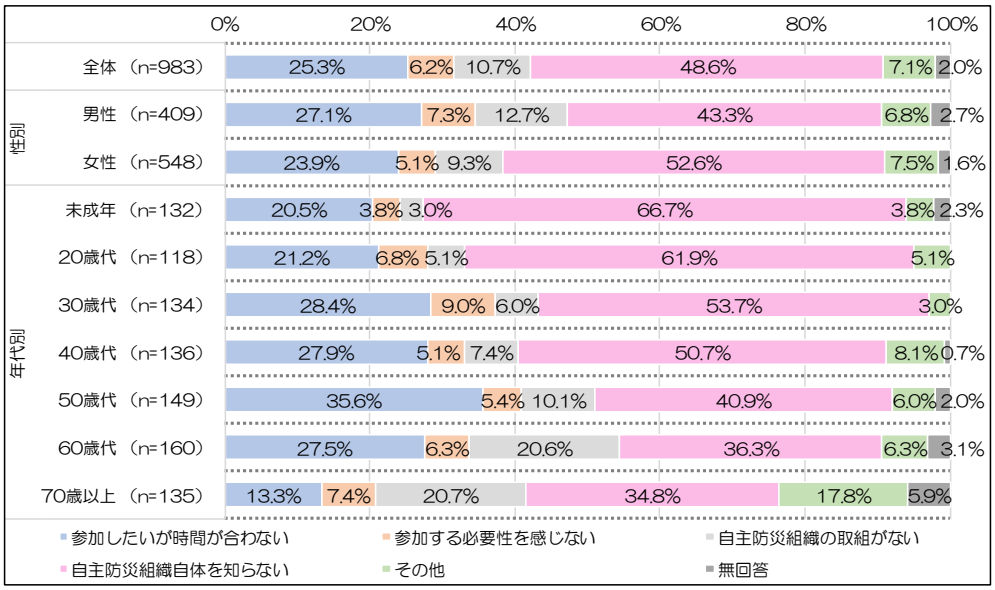
【問３３－１】地域の自主防災組織の取組に参加していない人にお伺いします。
参加していない理由はなんですか。（○は１つだけ）

参加していない理由については、「自主防災組織自体を知らない」が 48.6%と最も高く、次いで「参加したいが時間が合わない」が 25.3%、「自主防災組織の取組がない」が 10.7%の順となっています。

男女別にみると、「自主防災組織自体を知らない」と回答した割合は「女性」が 52.6%で「男性」の 43.3%と比較して 9.3 ポイント高くなっています。

年代別にみると、すべての年代において「自主防災組織自体を知らない」と回答した割合が最も高くなっています。「70 歳以上」以外の年代においては「参加したいが時間が合わない」と回答した割合が 2 番目に高くなっています。

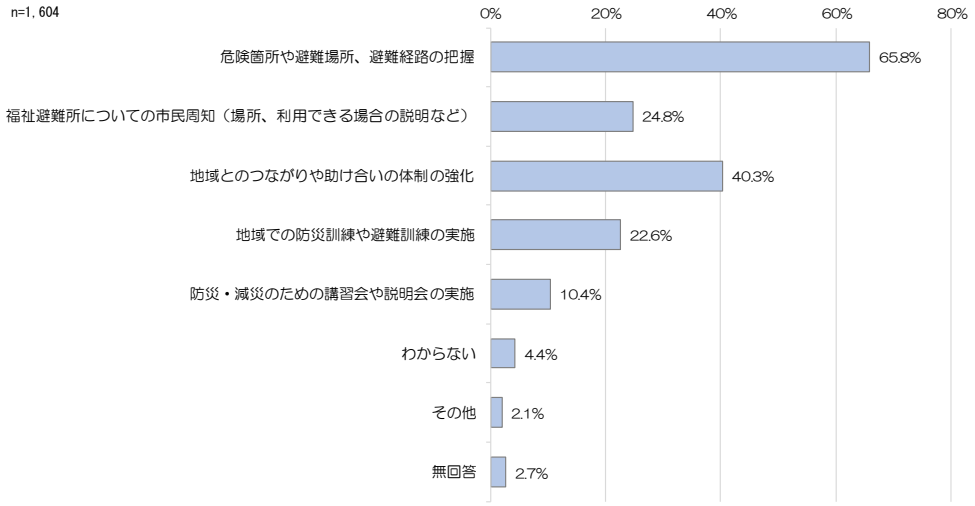




【問３４】地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。（○は２つまで）

地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思うかについては、「危険箇所や避難場所、避難経路の把握」が 65.8%と最も高く、次いで「地域とのつながりや助け合いの体制の強化」が 40.3%、「福祉避難所についての市民周知（場所、利用できる場合の説明など）」が 24.8%、「地域での防災訓練や避難訓練の実施」が 22.6%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代において「危険箇所や避難場所、避難経路の把握」と回答した割合が最も高くなっています。「20 歳代」においては「福祉避難所についての市民周知（場所、利用できる場合の説明など）」と回答した割合が 2 番目に高く、それ以外の年代においては「地域とのつながりや助け合いの体制の強化」と回答した割合が 2 番目に高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	危険箇所や避難場所、避難経路の把握	福祉避難所についての市民周知（場所、利用できる場合の説明など）	地域とのつながりや助け合いの体制の強化	地域での防災訓練や避難訓練の実施	防災・減災のための講習会や説明会の実施	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	1,056	397	647	363	167	70	33	44
			65.8%	24.8%	40.3%	22.6%	10.4%	4.4%	2.1%	2.7%
性別	男性	711	474	153	296	176	69	37	17	16
			66.7%	21.5%	41.6%	24.8%	9.7%	5.2%	2.4%	2.3%
	女性	838	556	228	330	172	91	31	15	25
			66.3%	27.2%	39.4%	20.5%	10.9%	3.7%	1.8%	3.0%
年代別	未成年	182	117	38	65	45	9	16	3	4
			64.3%	20.9%	35.7%	24.7%	4.9%	8.8%	1.6%	2.2%
	20歳代	147	104	53	42	27	13	11	3	2
			70.7%	36.1%	28.6%	18.4%	8.8%	7.5%	2.0%	1.4%
	30歳代	180	124	54	69	39	15	7	6	4
			68.9%	30.0%	38.3%	21.7%	8.3%	3.9%	3.3%	2.2%
	40歳代	213	140	62	85	34	29	7	2	4
			65.7%	29.1%	39.9%	16.0%	13.6%	3.3%	0.9%	1.9%
	50歳代	261	175	67	104	68	32	5	6	6
			67.0%	25.7%	39.8%	26.1%	12.3%	1.9%	2.3%	2.3%
	60歳代	315	213	58	137	79	35	10	7	9
			67.6%	18.4%	43.5%	25.1%	11.1%	3.2%	2.2%	2.9%
	70歳以上	262	163	53	129	57	29	12	6	11
			62.2%	20.2%	49.2%	21.8%	11.1%	4.6%	2.3%	4.2%

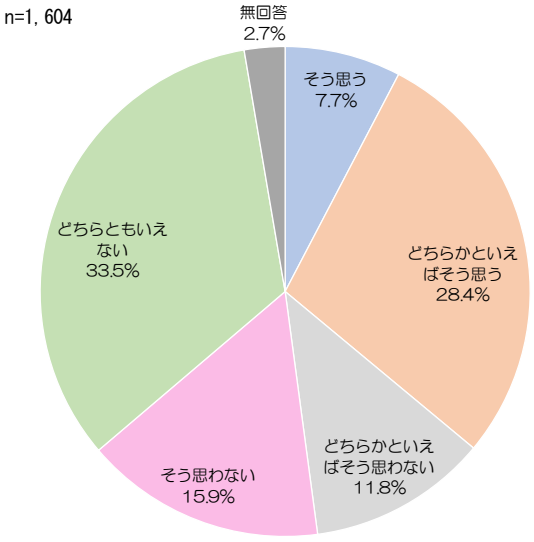
【問３５】日田市は、防犯意識の高いまちだと思いますか。（○は１つだけ）

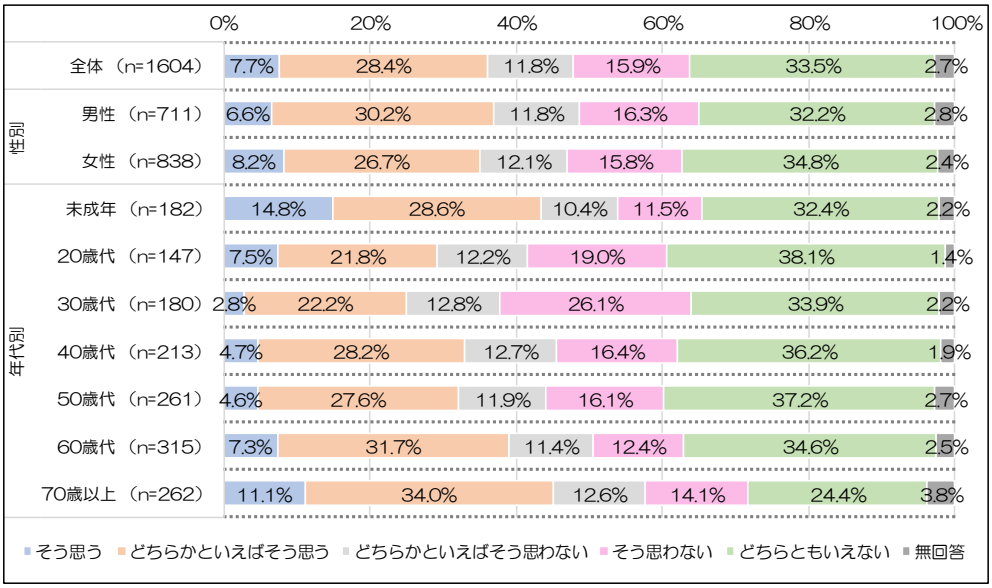
日田市は、防犯意識の高いまちだと思うかについては、防犯意識が高いまちだと思う人※1が 36.1%、防犯意識が高いまちだと思わない人※2が 27.7%となっています。

年代別にみると、「20 歳代」「30 歳代」の年代において、防犯意識が高いまちだと思わない人の割合が、防犯意識が高いまちだと思う人よりも高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

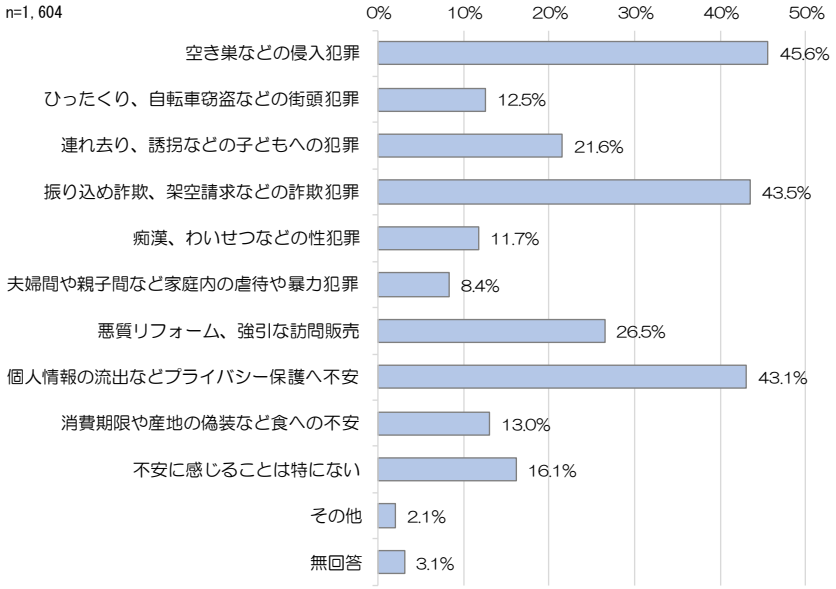




【問３６】あなたは、自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることはありますか。（○はいくつでも）

自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることがあるかについては、「空き巣などの侵入犯罪」が 45.6%と最も高く、次いで「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」が 43.5%、「個人情報の流出などプライバシー保護へ不安」が 43.1%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」「20 歳代」「30 歳代」においては「個人情報の流出などプライバシー保護へ不安」、「40 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」の年代においては「空き巣などの侵入犯罪」、「50 歳代」の年代においては「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」と回答した割合がそれぞれ最も高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	空き巣などの侵入犯罪	ひったくり、自転車窃盗などの街頭犯罪	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪	痴漢、わいせつなどの性犯罪	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力犯罪	悪質リフォーム、強引な訪問販売	個人情報の流出などプライバシー保護へ不安	消費期限や産地の偽装など食への不安	不安に感じることは特にない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	732	201	346	698	188	134	425	691	209	258	33	49
			45.6%	12.5%	21.6%	43.5%	11.7%	8.4%	26.5%	43.1%	13.0%	16.1%	2.1%	3.1%
性別	男性	711	330	82	127	315	60	59	188	285	80	118	14	24
			46.4%	11.5%	17.9%	44.3%	8.4%	8.3%	26.4%	40.1%	11.3%	16.6%	2.0%	3.4%
	女性	838	378	111	211	367	125	67	227	391	121	121	19	22
			45.1%	13.2%	25.2%	43.8%	14.9%	8.0%	27.1%	46.7%	14.4%	14.4%	2.3%	2.6%
年代別	未成年	182	50	35	36	62	30	17	21	75	16	47	5	5
			27.5%	19.2%	19.8%	34.1%	16.5%	9.3%	11.5%	41.2%	8.8%	25.8%	2.7%	2.7%
	20歳代	147	58	22	39	50	27	20	31	66	21	26	4	3
			39.5%	15.0%	26.5%	34.0%	18.4%	13.6%	21.1%	44.9%	14.3%	17.7%	2.7%	2.0%
	30歳代	180	76	25	77	73	30	18	56	90	28	23	4	3
			42.2%	13.9%	42.8%	40.6%	16.7%	10.0%	31.1%	50.0%	15.6%	12.8%	2.2%	1.7%
	40歳代	213	109	32	77	98	36	19	73	106	23	23	3	7
			51.2%	15.0%	36.2%	46.0%	16.9%	8.9%	34.3%	49.8%	10.8%	10.8%	1.4%	3.3%
	50歳代	261	135	31	45	137	29	28	83	126	30	27	6	8
			51.7%	11.9%	17.2%	52.5%	11.1%	10.7%	31.8%	48.3%	11.5%	10.3%	2.3%	3.1%
	60歳代	315	152	19	39	138	14	12	70	138	39	61	6	7
			48.3%	6.0%	12.4%	43.8%	4.4%	3.8%	22.2%	43.8%	12.4%	19.4%	1.9%	2.2%
	70歳以上	262	129	30	26	124	20	13	81	74	44	41	5	13
			49.2%	11.5%	9.9%	47.3%	7.6%	5.0%	30.9%	28.2%	16.8%	15.6%	1.9%	5.0%

【問３７】あなたは、ここ１～２年で日田市の観光資源（イベント、豆田町、日田祇園、食、温泉など）の魅力が磨かれてきたと思いますか。（○は１つだけ）

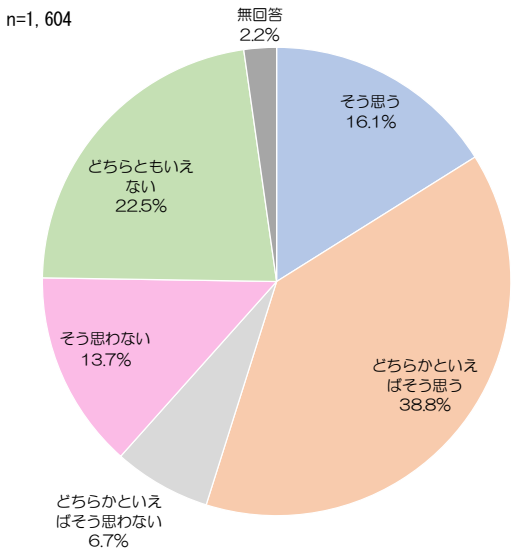
ここ１～２年で日田市の観光資源（イベント、豆田町、日田祇園、食、温泉など）の魅力が磨かれてきたと思うかについては、観光資源の魅力が磨かれたと思う人※1が 54.9%、観光資源の魅力が磨かれたと思わない人※2が 20.4%となっています。

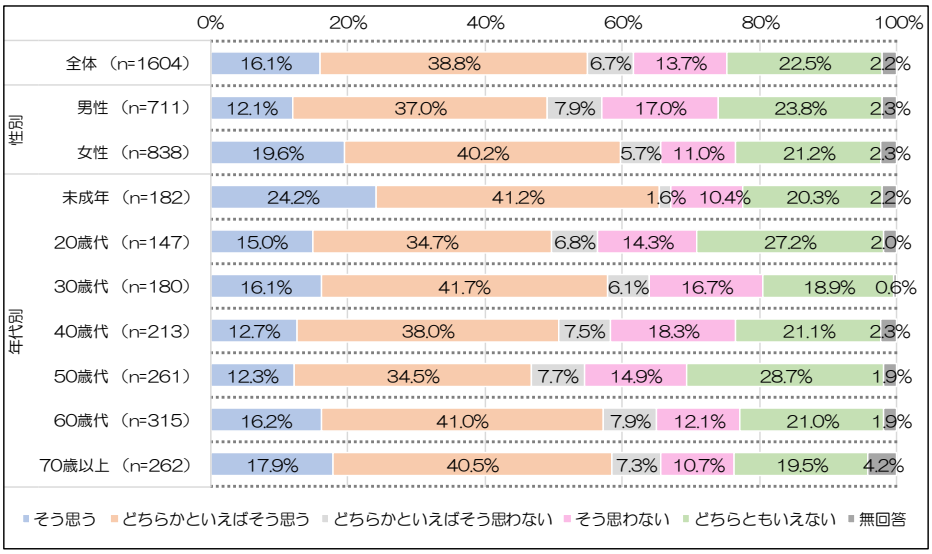
男女別にみると、観光資源の魅力が磨かれたと思う人は、「女性」が 59.8%で「男性」の 49.1%と比較して 10.7 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」において、観光資源の魅力が磨かれたと思う人の割合が他の年代より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





【問３８】あなたは、ここ１～２年で日田市の観光ＰＲや観光客の受入れ体制が充実してきたと思いますか。（○は１つだけ）

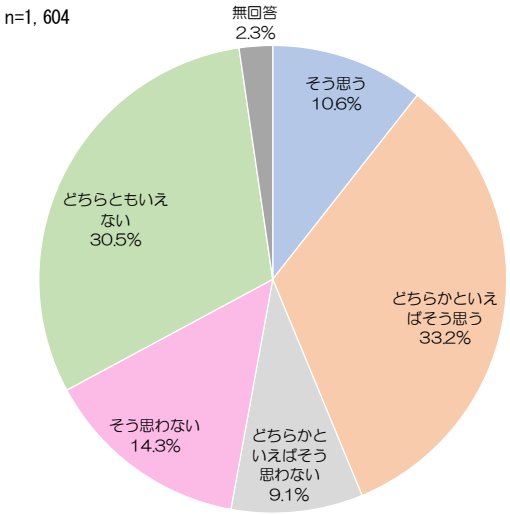
ここ１～２年で日田市の観光ＰＲや観光客の受入れ体制が充実してきたと思うかについては、受入れ体制が充実してきたと思う人※1が 43.8%、受入れ体制が充実してきたと思わない人※2が 23.4%となっています。

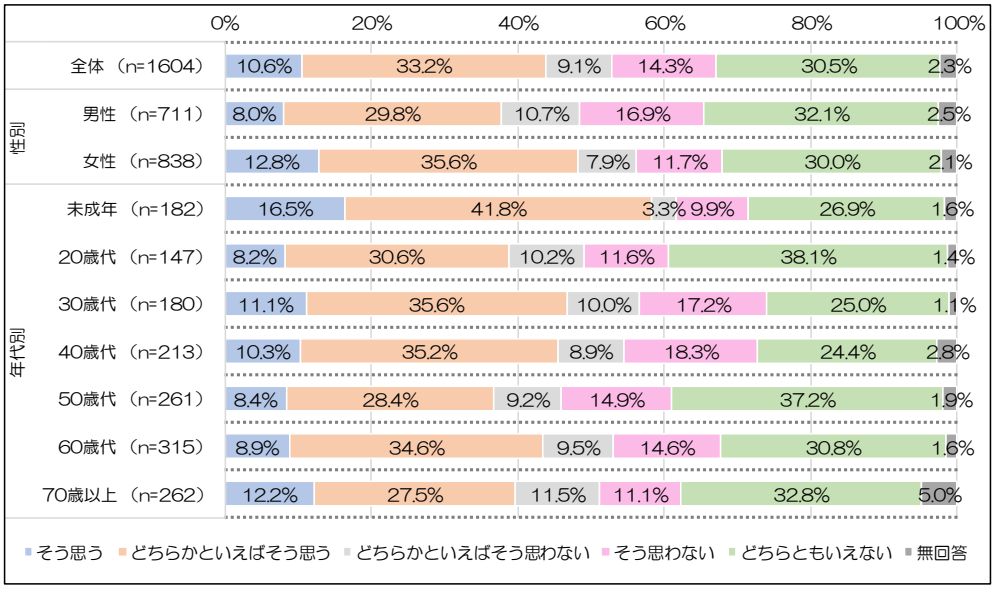
男女別にみると、受入れ体制が充実してきたと思う人は、「女性」が 48.4%で「男性」の 37.8%と比較して 10.6 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」の年代において、受入れ体制が充実してきたと思う人の割合が他の年代より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





【問３９】あなたは、ここ１～２年、スーパーや通販などで日田産の農水産物（野菜、くだもの、川魚など）を目にする機会が増えてきたと思いますか。（○は１つだけ）

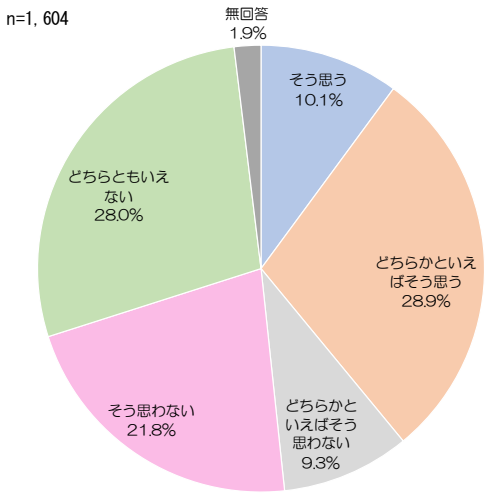
ここ１～２年、スーパーや通販などで日田産の農水産物（野菜、くだもの、川魚など）を目にする機会が増えてきたと思うかについては、目にする機会が増えてきたと思う人※1が39.0%、目にする機会が増えてきたと思わない人※2が31.1%となっています。

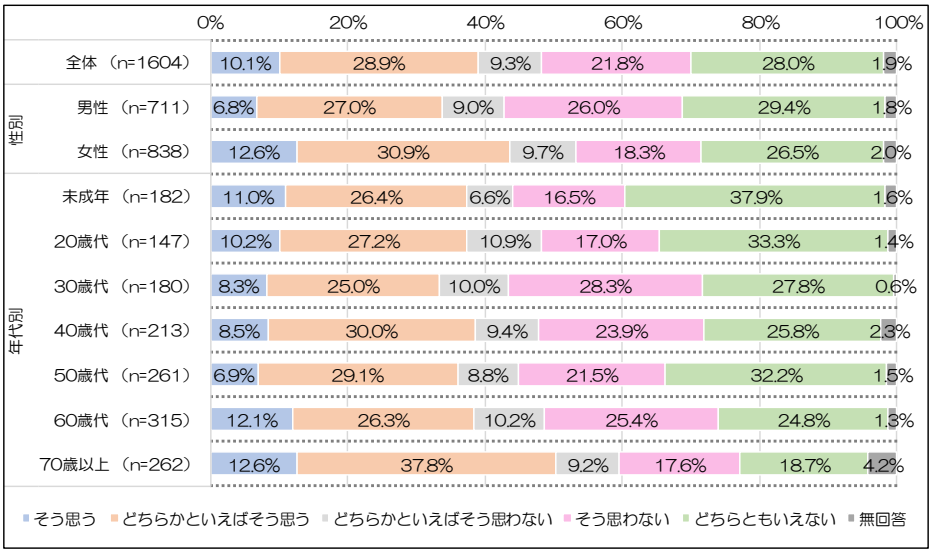
男女別にみると、目にする機会が増えてきたと思う人は「女性」が43.5%で「男性」の33.8%と比較して9.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「70歳以上」の年代において、目にする機会が増えてきたと思う人の割合が他の年代より高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





【問４０】あなたは、意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入されていますか。（○は１つだけ）

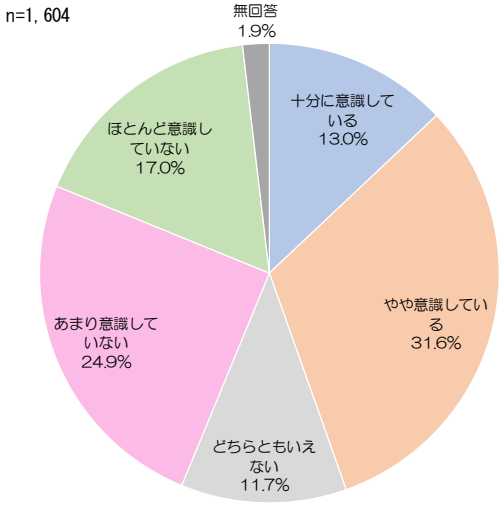
意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入しているかについては、意識して日田産品を購入している人※1が 44.6%、意識して日田産品を購入していない人※2が 41.9%となっています。

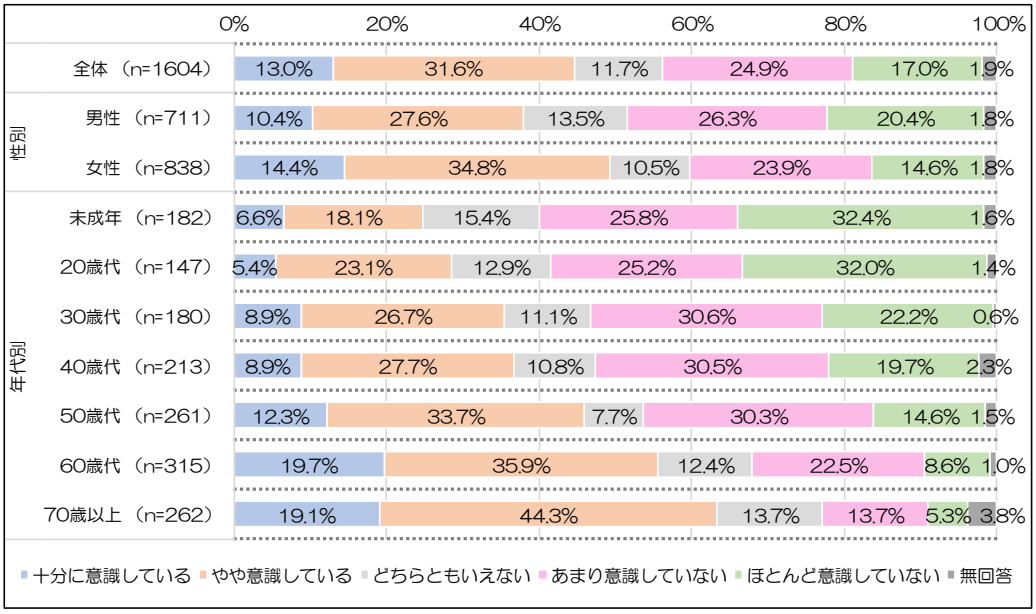
男女別にみると、意識して日田産品を購入している人は、「女性」が 49.2%で「男性」の 38.0%と比較して 11.2 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」から「40 歳代」の年代においては、意識して日田産品を購入していない人の割合の方が高くなっています。「50 歳代」以上の年代においては、意識して日田産品を購入している人の割合の方が高くなっています。

※1「十分に意識している」若しくは「やや意識している」と回答した人

※2「ほとんど意識していない」若しくは「あまり意識していない」と回答した人



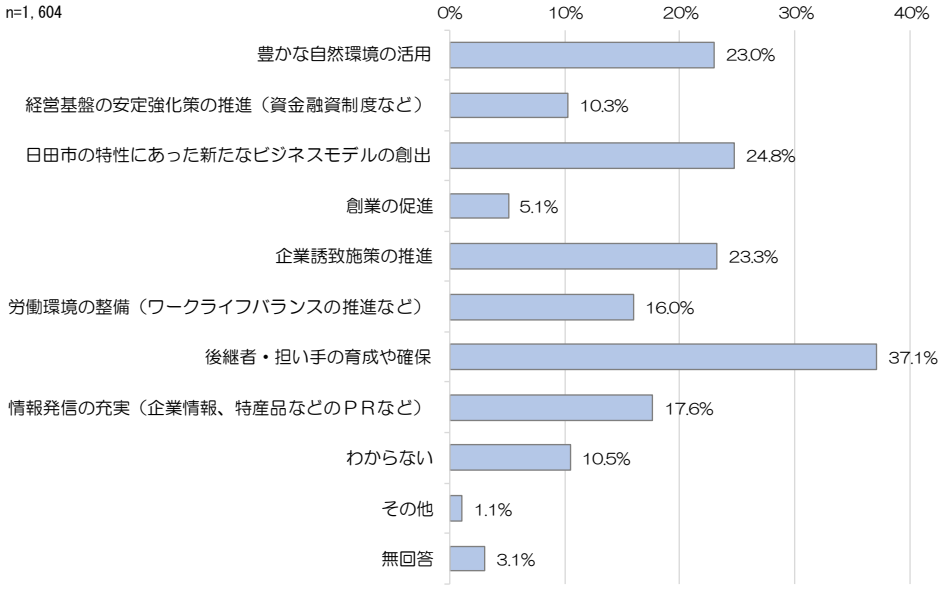


【問４１】日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「後継者・担い手の育成や確保」が 37.1%と最も高く、次いで「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」が 24.8%、「企業誘致施策の推進」が 23.3%、「豊かな自然環境の活用」が 23.0%の順となっています。

男女別にみると、「企業誘致施策の推進」と回答した割合は、「男性」が 29.0%で「女性」の 18.7%と比較して 10.3 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」の年代においては、「労働環境の整備（ワークライフバランスの推進など）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。また、「40 歳代」以上の年代において、「企業誘致施策の推進」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



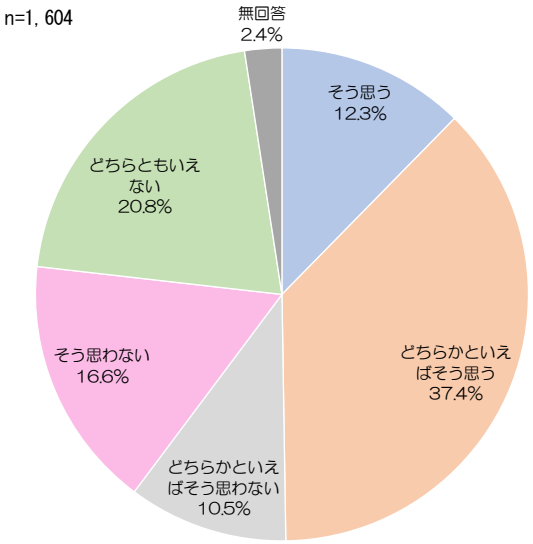
（上段：人　下段：%）

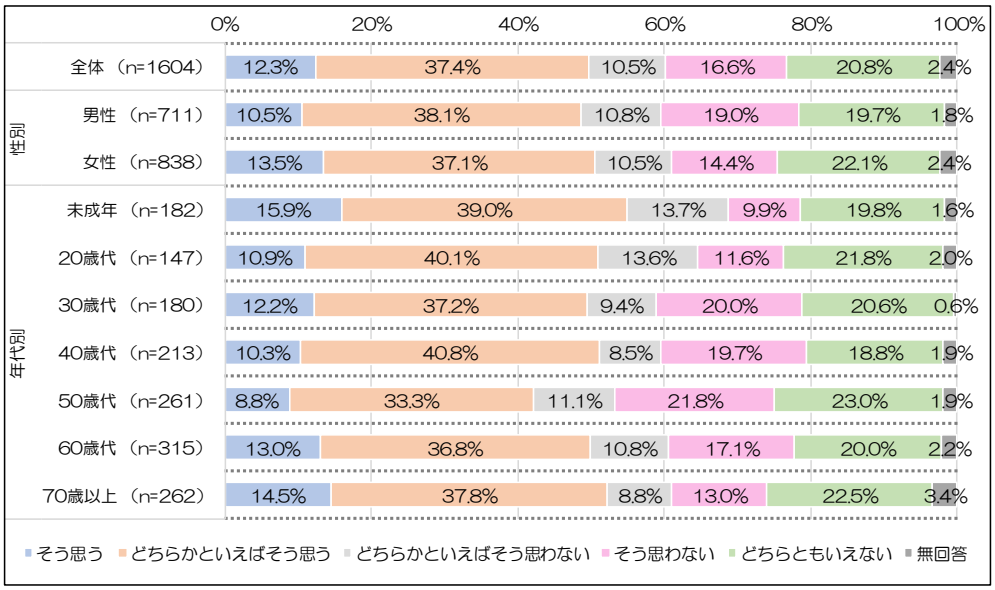
		標本数（人）	豊かな自然環境の活用	経営基盤の安定強化策の推進（資金融資制度など）	日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出	創業の促進	企業誘致施策の推進	労働環境の整備（ワークライフバランスの推進など）	後継者・担い手の育成や確保	情報発信の充実（企業情報、特産品などのＰＲなど）	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	369	165	397	82	373	256	595	283	168	18	50
			23.0%	10.3%	24.8%	5.1%	23.3%	16.0%	37.1%	17.6%	10.5%	1.1%	3.1%
性別	男性	711	164	83	197	45	206	117	250	95	60	9	18
			23.1%	11.7%	27.7%	6.3%	29.0%	16.5%	35.2%	13.4%	8.4%	1.3%	2.5%
	女性	838	191	74	187	37	157	133	323	176	105	9	28
			22.8%	8.8%	22.3%	4.4%	18.7%	15.9%	38.5%	21.0%	12.5%	1.1%	3.3%
年代別	未成年	182	46	19	41	11	25	29	53	31	36	1	4
			25.3%	10.4%	22.5%	6.0%	13.7%	15.9%	29.1%	17.0%	19.8%	0.5%	2.2%
	20歳代	147	22	14	42	7	29	38	49	28	17	1	3
			15.0%	9.5%	28.6%	4.8%	19.7%	25.9%	33.3%	19.0%	11.6%	0.7%	2.0%
	30歳代	180	39	20	44	12	28	41	66	40	17	2	2
			21.7%	11.1%	24.4%	6.7%	15.6%	22.8%	36.7%	22.2%	9.4%	1.1%	1.1%
	40歳代	213	37	18	59	12	58	50	77	35	19	4	4
			17.4%	8.5%	27.7%	5.6%	27.2%	23.5%	36.2%	16.4%	8.9%	1.9%	1.9%
	50歳代	261	53	36	62	12	74	39	104	47	19	4	7
			20.3%	13.8%	23.8%	4.6%	28.4%	14.9%	39.8%	18.0%	7.3%	1.5%	2.7%
	60歳代	315	73	32	87	17	83	34	126	59	26	4	10
			23.2%	10.2%	27.6%	5.4%	26.3%	10.8%	40.0%	18.7%	8.3%	1.3%	3.2%
	70歳以上	262	88	21	53	11	68	20	102	33	31	2	15
			33.6%	8.0%	20.2%	4.2%	26.0%	7.6%	38.9%	12.6%	11.8%	0.8%	5.7%

【問４２】日田市は、公園や緑地がよく整備されたまちだと思いますか。（○は１つだけ）

日田市は、公園や緑地がよく整備されたまちだと思うかについては、よく整備されたまちだと思う人※1が 49.7%、よく整備されたまちだと思わない人※2が 27.1%となっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人
※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





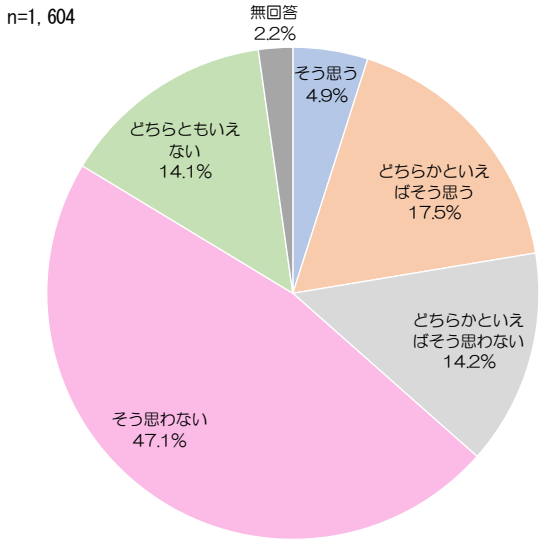
【問４３】日田市は、公共交通が便利なまちだと思いますか。（○は１つだけ）

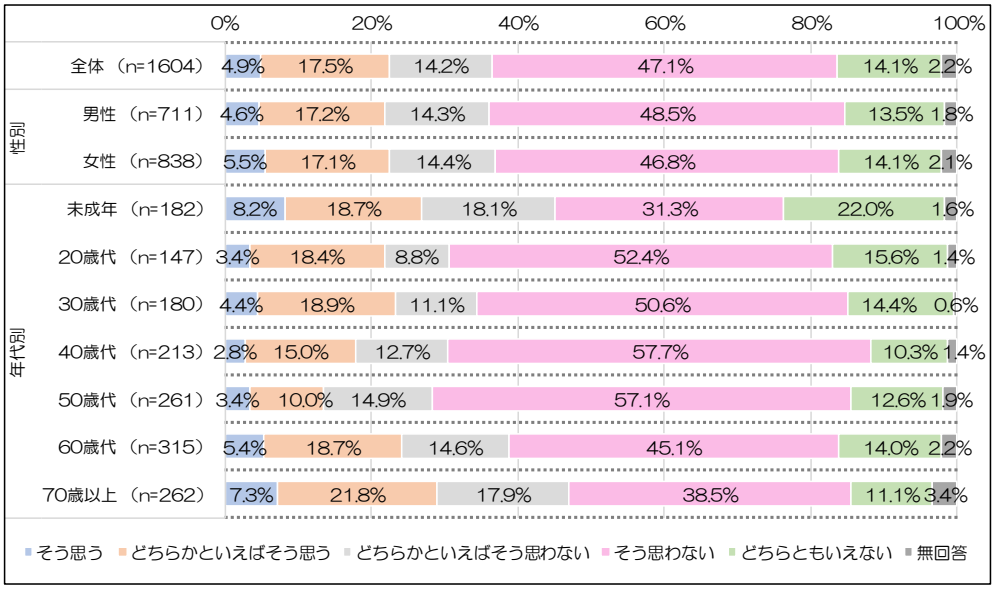
日田市は、公共交通が便利なまちだと思うかについては、公共交通が便利なまちだと思う人※1が 22.4%、公共交通が便利なまちだと思わない人※2が 61.3%となっています。

年代別にみると、「未成年」「70 歳以上」の年代において公共交通が便利なまちだと思う人の割合が他の年代よりも高くなっています。「40 歳代」「50 歳代」においては、公共交通が便利なまちだと思う人の割合が他の年代より低くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

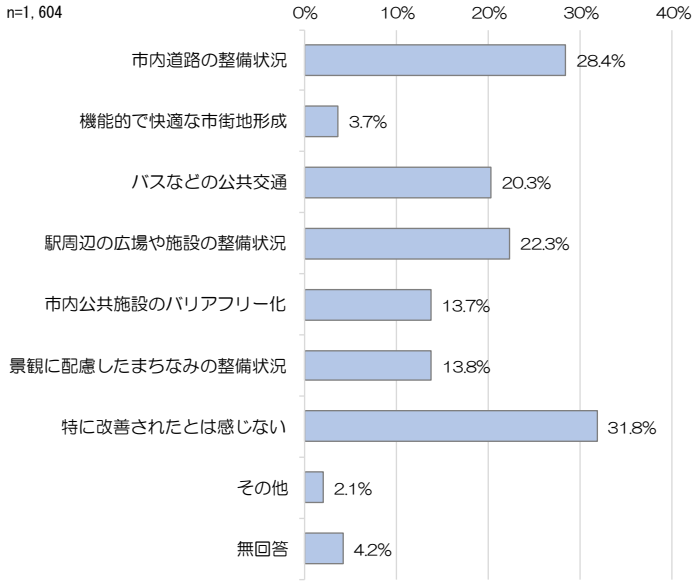




【問４４】あなたが日田市内における生活基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。（○はいくつでも）

日田市内における生活基盤で、以前と比べて改善されていると感じているものについては、「特に改善されたとは感じない」が 31.8%と最も高く、次いで「市内道路の整備状況」が 28.4%、「駅周辺の広場や施設の整備状況」が 22.3%、「バスなどの公共交通」が 20.3%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「50 歳代」の年代においては、「特に改善されたとは感じない」と回答した割合が最も高く、「60 歳代」「70 歳以上」の年代においては、「市内道路の整備状況」と回答した割合が最も高くなっています。

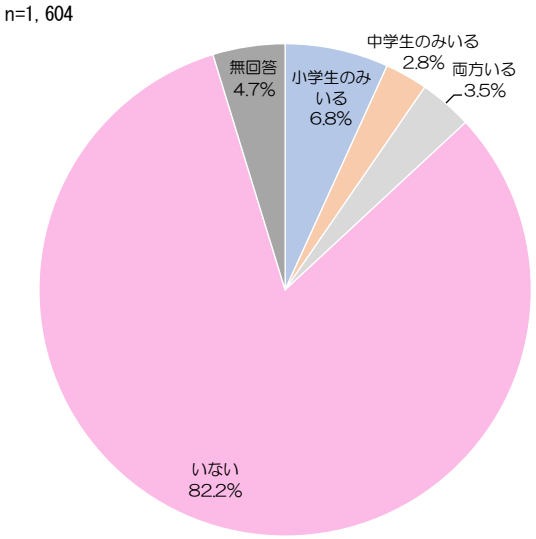


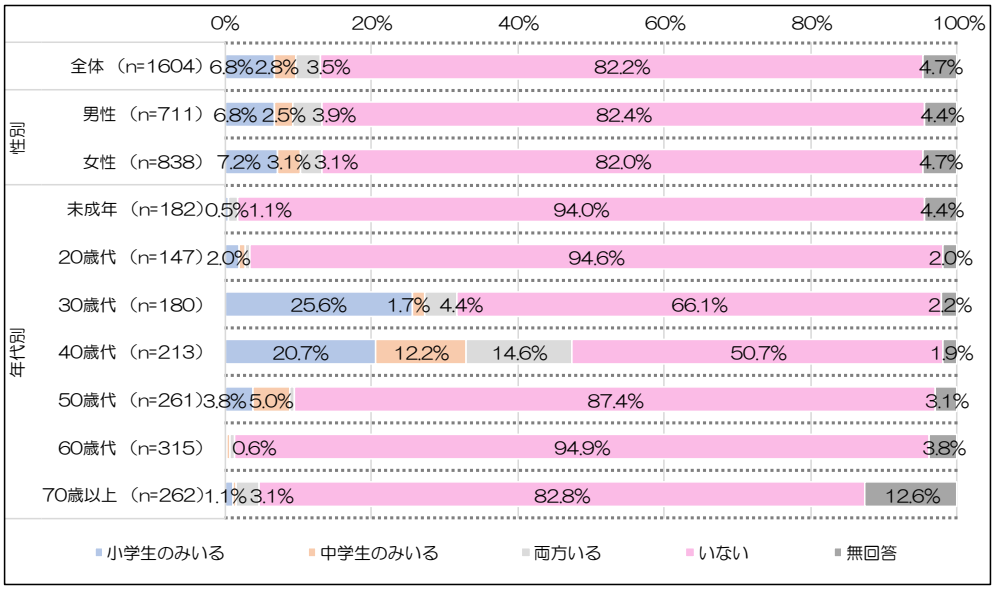
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	市内道路の整備状況	機能的で快適な市街地形成	バスなどの公共交通	駅周辺の広場や施設の整備状況	市内公共施設のバリアフリー化	景観に配慮したまちなみの整備状況	特に改善されたとは感じない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	456	59	326	358	220	221	510	33	67
			28.4%	3.7%	20.3%	22.3%	13.7%	13.8%	31.8%	2.1%	4.2%
性別	男性	711	206	26	134	133	91	89	258	17	26
			29.0%	3.7%	18.8%	18.7%	12.8%	12.5%	36.3%	2.4%	3.7%
	女性	838	234	26	177	211	119	121	241	16	33
			27.9%	3.1%	21.1%	25.2%	14.2%	14.4%	28.8%	1.9%	3.9%
年代別	未成年	182	46	5	44	42	34	24	55	2	4
			25.3%	2.7%	24.2%	23.1%	18.7%	13.2%	30.2%	1.1%	2.2%
	20歳代	147	46	2	30	34	12	15	53	0	4
			31.3%	1.4%	20.4%	23.1%	8.2%	10.2%	36.1%	0.0%	2.7%
	30歳代	180	44	7	35	35	21	21	64	6	2
			24.4%	3.9%	19.4%	19.4%	11.7%	11.7%	35.6%	3.3%	1.1%
	40歳代	213	51	5	40	43	25	27	79	5	6
			23.9%	2.3%	18.8%	20.2%	11.7%	12.7%	37.1%	2.3%	2.8%
	50歳代	261	71	10	38	54	26	37	99	6	13
			27.2%	3.8%	14.6%	20.7%	10.0%	14.2%	37.9%	2.3%	5.0%
	60歳代	315	101	7	66	84	56	50	85	5	11
			32.1%	2.2%	21.0%	26.7%	17.8%	15.9%	27.0%	1.6%	3.5%
	70歳以上	262	84	18	62	57	41	37	65	9	19
			32.1%	6.9%	23.7%	21.8%	15.6%	14.1%	24.8%	3.4%	7.3%

【問４５】あなたには、小学生もしくは中学生の子どもがいますか。（○は１つだけ）
※次の問 45-1 で小・中学生の子どもがいる方を対象とした質問を行うための設問

小学生もしくは中学生の子どもがいるかについては、「小学生のみいる」が 6.8%、「中学生のみいる」が 2.8%、「両方いる」が 3.5%、「いない」が 82.2%となっています。

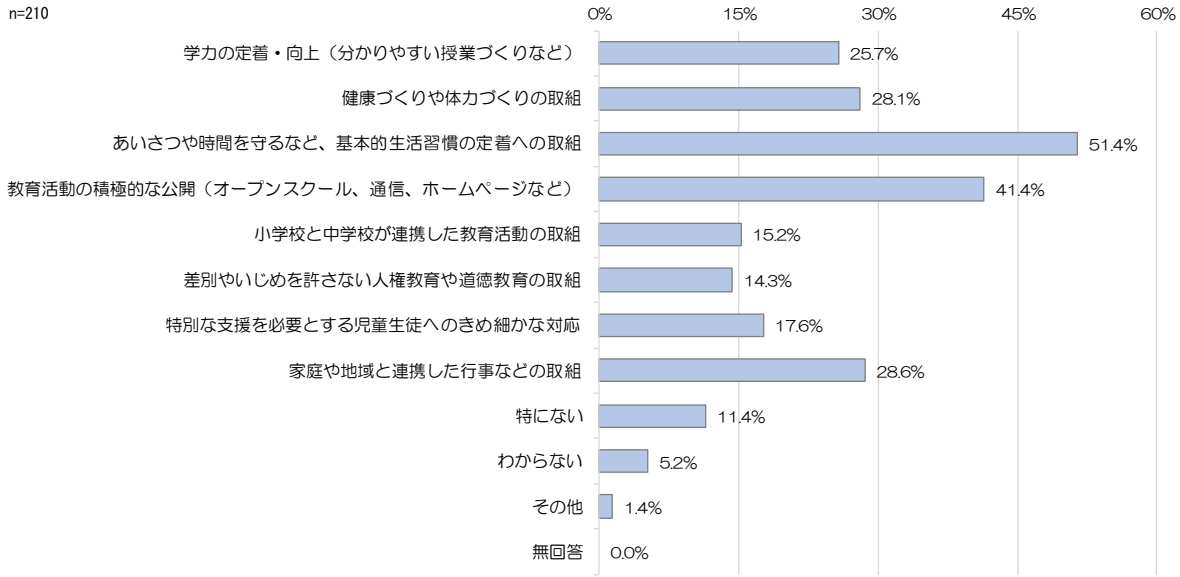




【問４５－１】小学生もしくは中学生の子どもがいる方にお伺いします。日田市内の小・中学校で、どのような点が特に評価できると思いますか。（○はいくつでも）

日田市内の小・中学校で、特に評価できる点については、「あいさつや時間を守るなど、基本的生活習慣の定着への取組」が 51.4%と最も高く、次いで「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」が 41.4%、「家庭や地域と連携した行事などの取組」が 28.6%の順となっています。

男女別にみると、「女性」において、「学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）」「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」「家庭や地域と連携した行事などの取組」と回答した割合が「男性」に比べ 10 ポイント以上高くなっています。



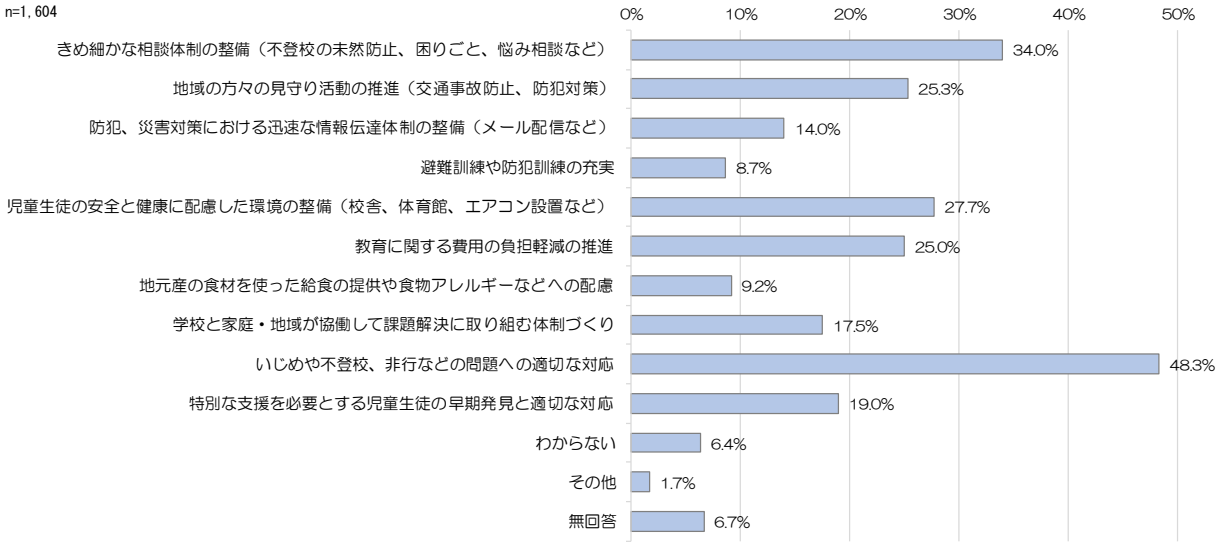
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）	健康づくりや体力づくりの取組	あいさつや時間を守るなど、基本的生活習慣の定着への取組	教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）	小学校と中学校が連携した教育活動の取組	差別やいじめを許さない人権教育や道徳教育の取組	特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応	家庭や地域と連携した行事などの取組	特にない	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		210	54	59	108	87	32	30	37	60	24	11	3	0
			25.7%	28.1%	51.4%	41.4%	15.2%	14.3%	17.6%	28.6%	11.4%	5.2%	1.4%	0.0%
性別	男性	94	17	24	48	32	12	13	16	20	14	3	3	0
			18.1%	25.5%	51.1%	34.0%	12.8%	13.8%	17.0%	21.3%	14.9%	3.2%	3.2%	0.0%
	女性	112	36	33	58	54	19	15	20	38	10	8	0	0
			32.1%	29.5%	51.8%	48.2%	17.0%	13.4%	17.9%	33.9%	8.9%	7.1%	0.0%	0.0%
年代別	未成年	3	0	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
			0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	5	0	1	3	3	0	1	2	2	1	0	0	0
			0.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	57	14	19	28	23	9	7	9	17	9	4	1	0
			24.6%	33.3%	49.1%	40.4%	15.8%	12.3%	15.8%	29.8%	15.8%	7.0%	1.8%	0.0%
	40歳代	101	29	21	48	43	17	11	20	27	13	4	1	0
			28.7%	20.8%	47.5%	42.6%	16.8%	10.9%	19.8%	26.7%	12.9%	4.0%	1.0%	0.0%
	50歳代	25	8	8	16	11	2	6	5	7	0	1	1	0
			32.0%	32.0%	64.0%	44.0%	8.0%	24.0%	20.0%	28.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	60歳代	4	0	0	2	2	1	0	0	2	0	1	0	0
			0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	12	2	6	7	3	2	1	1	4	1	1	0	0
			16.7%	50.0%	58.3%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%

【問４６】小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりにおいて、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。（○は３つまで）

小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりにおいて、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」が48.3%と最も高く、次いで「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」が34.0%、「児童生徒の安全と健康に配慮した環境の整備（校舎、体育館、エアコン設置など）」が27.7%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」「20歳代」においては、「児童生徒の安全と健康に配慮した環境の整備（校舎、体育館、エアコン設置など）」と回答した割合が他の年代より高く、「20歳代」「30歳代」においては、「教育に関する費用の負担軽減の推進」、「60歳代」「70歳以上」の年代においては、「地域の方々の見守り活動の推進（交通事故防止、防犯対策）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

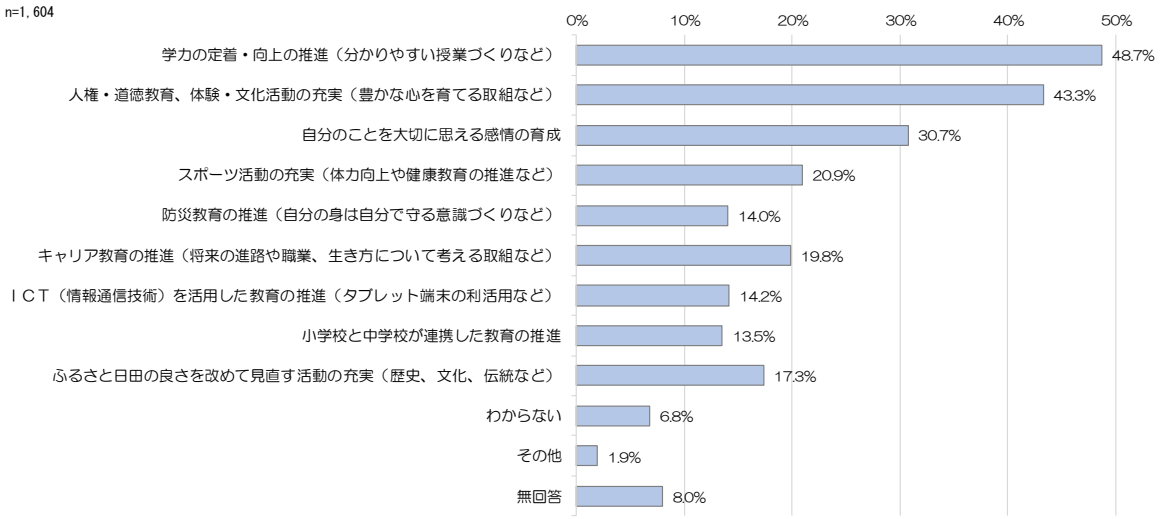
		標本数（人）	きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）	地域の方々の見守り活動の推進（交通事故防止、防犯対策）	防犯、災害対策における迅速な情報伝達体制の整備（メール配信など）	避難訓練や防犯訓練の充実	児童生徒の安全と健康に配慮した環境の整備（校舎、体育館、エアコン設置など）	教育に関する費用の負担軽減の推進	地元産の食材を使った給食の提供や食物アレルギーなどへの配慮	学校と家庭・地域が協働して課題解決に取り組む体制づくり	いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応	特別な支援を必要とする児童生徒の早期発見と適切な対応	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	545	406	225	139	445	401	147	281	775	304	102	27	107
			34.0%	25.3%	14.0%	8.7%	27.7%	25.0%	9.2%	17.5%	48.3%	19.0%	6.4%	1.7%	6.7%
性別	男性	711	237	185	92	57	188	196	55	128	337	113	55	13	45
			33.3%	26.0%	12.9%	8.0%	26.4%	27.6%	7.7%	18.0%	47.4%	15.9%	7.7%	1.8%	6.3%
	女性	838	293	206	128	79	246	194	85	145	416	183	43	14	52
			35.0%	24.6%	15.3%	9.4%	29.4%	23.2%	10.1%	17.3%	49.6%	21.8%	5.1%	1.7%	6.2%
年代別	未成年	182	60	26	21	24	78	54	17	10	89	28	19	3	5
			33.0%	14.3%	11.5%	13.2%	42.9%	29.7%	9.3%	5.5%	48.9%	15.4%	10.4%	1.6%	2.7%
	20歳代	147	50	30	20	11	56	52	14	26	84	24	5	3	2
			34.0%	20.4%	13.6%	7.5%	38.1%	35.4%	9.5%	17.7%	57.1%	16.3%	3.4%	2.0%	1.4%
	30歳代	180	63	48	30	22	55	56	22	28	81	49	5	8	5
			35.0%	26.7%	16.7%	12.2%	30.6%	31.1%	12.2%	15.6%	45.0%	27.2%	2.8%	4.4%	2.8%
	40歳代	213	73	43	45	15	67	56	16	30	107	47	13	3	11
			34.3%	20.2%	21.1%	7.0%	31.5%	26.3%	7.5%	14.1%	50.2%	22.1%	6.1%	1.4%	5.2%
	50歳代	261	94	60	41	15	67	61	19	65	134	54	16	3	11
			36.0%	23.0%	15.7%	5.7%	25.7%	23.4%	7.3%	24.9%	51.3%	20.7%	6.1%	1.1%	4.2%
	60歳代	315	113	95	51	24	62	78	29	70	171	58	15	3	16
			35.9%	30.2%	16.2%	7.6%	19.7%	24.8%	9.2%	22.2%	54.3%	18.4%	4.8%	1.0%	5.1%
	70歳以上	262	77	91	12	26	50	35	24	47	92	38	27	4	49
			29.4%	34.7%	4.6%	9.9%	19.1%	13.4%	9.2%	17.9%	35.1%	14.5%	10.3%	1.5%	18.7%

【問４７】小・中学校の教育において、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。（○は３つまで）

小・中学校の教育において、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」が 48.7%と最も高く、次いで「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」が 43.3%、「自分のことを大切に思える感情の育成」が 30.7%の順となっています。

男女別にみると、「スポーツ活動の充実（体力向上や健康教育の推進など）」と回答した割合は、「男性」が 26.0%で「女性」の 16.9%と比較してより 9.1 ポイント高くなっています。「自分のことを大切に思える感情の育成」と回答した割合は、「女性」が 34.5%で「男性」の 25.9%と比較して 8.6 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」において、「ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の利活用など）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。「40 歳代」以下の年代においては、「キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）」と回答した割合が他の年代より高く、「60 歳代」以上の年代においては、「ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）	人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）	自分のことを大切に思える感情の育成	スポーツ活動の充実（体力向上や健康教育の推進など）	防災教育の推進（自分の身は自分で守る意識づくりなど）	キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）	ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の利活用など）	小学校と中学校が連携した教育の推進	ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	781	694	493	336	225	318	227	217	278	109	31	128
			48.7%	43.3%	30.7%	20.9%	14.0%	19.8%	14.2%	13.5%	17.3%	6.8%	1.9%	8.0%
性別	男性	711	336	314	184	185	86	127	106	91	120	54	15	52
			47.3%	44.2%	25.9%	26.0%	12.1%	17.9%	14.9%	12.8%	16.9%	7.6%	2.1%	7.3%
	女性	838	427	361	289	142	135	186	118	116	147	49	16	64
			51.0%	43.1%	34.5%	16.9%	16.1%	22.2%	14.1%	13.8%	17.5%	5.8%	1.9%	7.6%
年代別	未成年	182	101	64	47	61	20	41	49	20	15	19	4	7
			55.5%	35.2%	25.8%	33.5%	11.0%	22.5%	26.9%	11.0%	8.2%	10.4%	2.2%	3.8%
	20歳代	147	83	60	54	42	17	40	20	7	20	6	5	7
			56.5%	40.8%	36.7%	28.6%	11.6%	27.2%	13.6%	4.8%	13.6%	4.1%	3.4%	4.8%
	30歳代	180	100	85	60	42	27	48	32	25	25	9	4	6
			55.6%	47.2%	33.3%	23.3%	15.0%	26.7%	17.8%	13.9%	13.9%	5.0%	2.2%	3.3%
	40歳代	213	112	87	76	43	33	60	40	28	30	13	6	9
			52.6%	40.8%	35.7%	20.2%	15.5%	28.2%	18.8%	13.1%	14.1%	6.1%	2.8%	4.2%
	50歳代	261	126	130	73	56	40	48	30	40	44	16	5	15
			48.3%	49.8%	28.0%	21.5%	15.3%	18.4%	11.5%	15.3%	16.9%	6.1%	1.9%	5.7%
	60歳代	315	148	160	100	48	41	48	31	62	79	14	4	20
			47.0%	50.8%	31.7%	15.2%	13.0%	15.2%	9.8%	19.7%	25.1%	4.4%	1.3%	6.3%
	70歳以上	262	97	94	67	38	43	28	22	27	56	27	3	54
			37.0%	35.9%	25.6%	14.5%	16.4%	10.7%	8.4%	10.3%	21.4%	10.3%	1.1%	20.6%

【問４８】あなたは、咸宜園や豆田町などの地域文化に誇りを感じますか。（○は１つだけ）

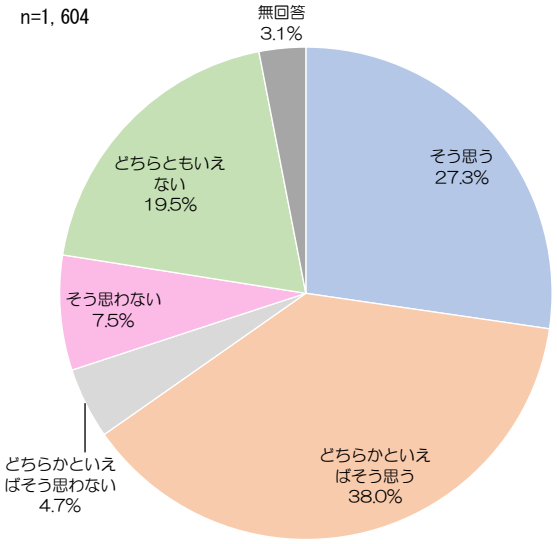
咸宜園や豆田町などの地域文化に誇りを感じるかについては、地域文化に誇りを感じている人※1が 65.3%、地域文化に誇りを感じていない人※2が 12.2%となっています。

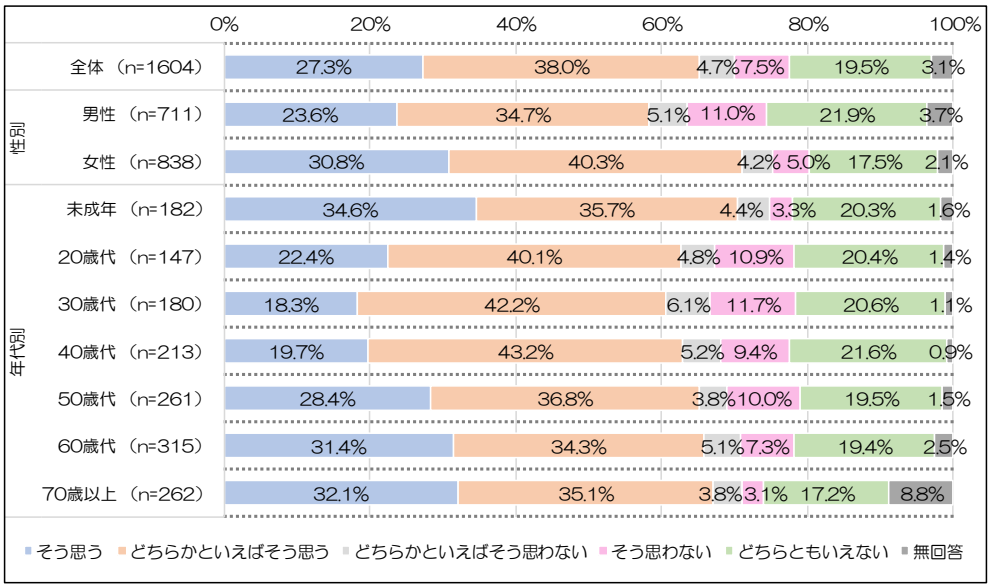
男女別にみると、地域文化に誇りを感じている人は、「女性」が 71.1%で「男性」の 58.3%と比較して 12.8 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「60 歳代」「70 歳以上」の年代において、「そう思う」と回答した割合が３割超と他の年代より高くなっています。一方、「30 歳代」「40 歳代」においては２割以下と他の年代より割合が低くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

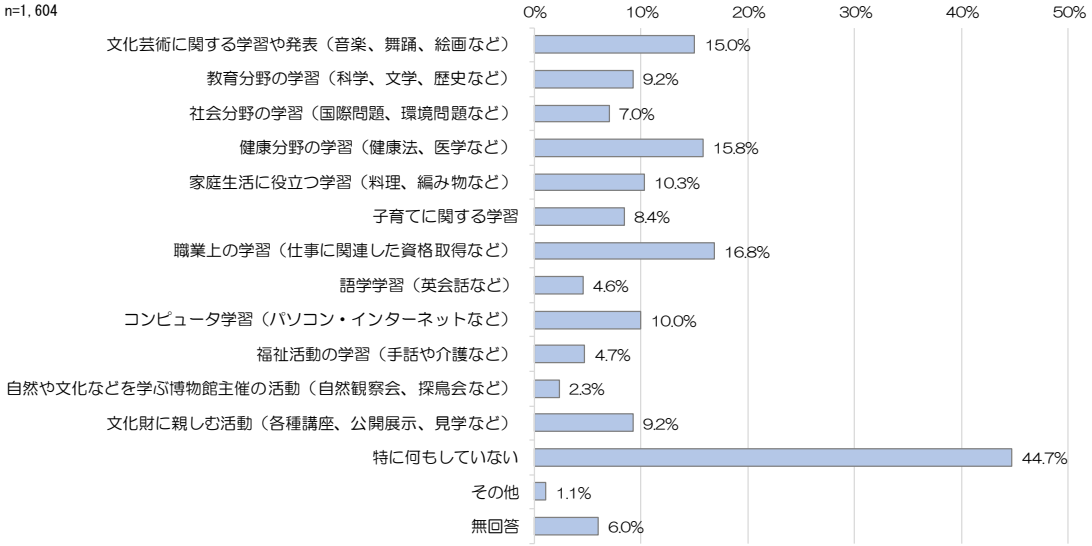




【問４９】ここ１～２年の間に、あなたが行った生涯学習はどのようなものですか。（○はいくつでも）

ここ１～２年の間に、行った生涯学習については、「特に何もしていない」が 44.7%と最も高く、次いで「職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）」が 16.8%、「健康分野の学習（健康法、医学など）」が 15.8%、「文化芸術に関する学習や発表（音楽、舞踏、絵画など）」が 15.0%の順となっています。

年代別にみると、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」においては、「子育てに関する学習」と回答した割合が他の年代より高く、「50 歳代」以下の年代においては、「職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）」、「60 歳代」「70 歳以上」の年代においては、「文化芸術に関する学習や発表（音楽、舞踊、絵画など）」「健康分野の学習（健康法、医学など）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



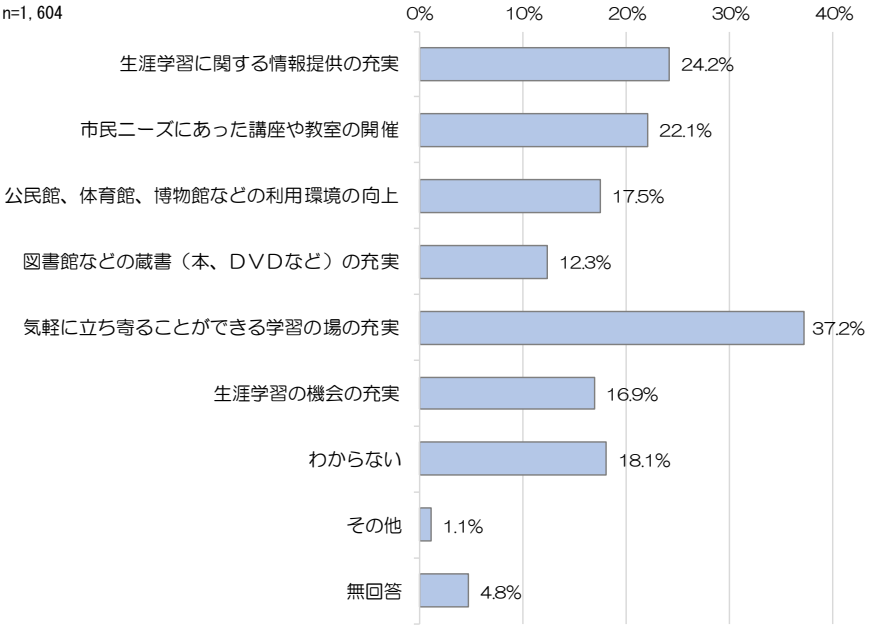
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	文化芸術に関する学習や発表（音楽、舞踊、絵画など）	教育分野の学習（科学、文学、歴史など）	社会分野の学習（国際問題、環境問題など）	健康分野の学習（健康法、医学など）	家庭生活に役立つ学習（料理、編み物など）	子育てに関する学習	職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）	語学学習（英会話など）	コンピュータ学習（パソコン・インターネットなど）	福祉活動の学習（手話や介護など）	自然や文化などを学ぶ博物館主催の活動（自然観察会、探鳥会など）	文化財に親しむ活動（各種講座、公開展示、見学など）	特に何もしていない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	241	148	112	253	165	135	270	73	160	76	37	148	717	17	96
			15.0%	9.2%	7.0%	15.8%	10.3%	8.4%	16.8%	4.6%	10.0%	4.7%	2.3%	9.2%	44.7%	1.1%	6.0%
性別	男性	711	81	72	52	92	31	37	125	24	69	19	17	55	353	8	44
			11.4%	10.1%	7.3%	12.9%	4.4%	5.2%	17.6%	3.4%	9.7%	2.7%	2.4%	7.7%	49.6%	1.1%	6.2%
	女性	838	152	74	56	153	129	94	142	47	89	53	18	86	343	8	45
			18.1%	8.8%	6.7%	18.3%	15.4%	11.2%	16.9%	5.6%	10.6%	6.3%	2.1%	10.3%	40.9%	1.0%	5.4%
年代別	未成年	182	49	59	37	30	34	18	39	37	59	18	9	19	56	2	5
			26.9%	32.4%	20.3%	16.5%	18.7%	9.9%	21.4%	20.3%	32.4%	9.9%	4.9%	10.4%	30.8%	1.1%	2.7%
	20歳代	147	15	13	10	24	12	22	39	8	14	7	1	9	56	1	3
			10.2%	8.8%	6.8%	16.3%	8.2%	15.0%	26.5%	5.4%	9.5%	4.8%	0.7%	6.1%	38.1%	0.7%	2.0%
	30歳代	180	19	9	12	25	24	39	50	5	17	8	4	9	81	0	2
			10.6%	5.0%	6.7%	13.9%	13.3%	21.7%	27.8%	2.8%	9.4%	4.4%	2.2%	5.0%	45.0%	0.0%	1.1%
	40歳代	213	27	16	11	32	18	34	43	2	14	6	5	24	97	3	6
			12.7%	7.5%	5.2%	15.0%	8.5%	16.0%	20.2%	0.9%	6.6%	2.8%	2.3%	11.3%	45.5%	1.4%	2.8%
	50歳代	261	30	17	13	38	15	10	52	7	20	8	3	22	141	3	7
			11.5%	6.5%	5.0%	14.6%	5.7%	3.8%	19.9%	2.7%	7.7%	3.1%	1.1%	8.4%	54.0%	1.1%	2.7%
	60歳代	315	47	16	11	54	29	5	29	10	21	17	6	29	164	4	20
			14.9%	5.1%	3.5%	17.1%	9.2%	1.6%	9.2%	3.2%	6.7%	5.4%	1.9%	9.2%	52.1%	1.3%	6.3%
	70歳以上	262	48	16	14	45	30	3	15	2	13	9	7	29	108	3	45
			18.3%	6.1%	5.3%	17.2%	11.5%	1.1%	5.7%	0.8%	5.0%	3.4%	2.7%	11.1%	41.2%	1.1%	17.2%

【問５０】日田市で、生涯学習の振興を図るためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

日田市で、生涯学習の振興を図るためには、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実」が 37.2%と最も高く、次いで「生涯学習に関する情報提供の充実」が 24.2%、「市民ニーズにあった講座や教室の開催」が 22.1%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代において、「気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実」と回答した割合が最も高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	生涯学習に関する情報提供の充実	市民ニーズにあった講座や教室の開催	公民館、体育館、博物館などの利用環境の向上	図書館などの蔵書（本、ＤＶＤなど）の充実	気軽に立ち寄ることができる学習の場の充実	生涯学習の機会の充実	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	388	354	280	198	596	271	290	18	77
			24.2%	22.1%	17.5%	12.3%	37.2%	16.9%	18.1%	1.1%	4.8%
性別	男性	711	173	138	127	84	227	131	149	9	35
			24.3%	19.4%	17.9%	11.8%	31.9%	18.4%	21.0%	1.3%	4.9%
	女性	838	207	204	147	106	350	133	127	8	37
			24.7%	24.3%	17.5%	12.6%	41.8%	15.9%	15.2%	1.0%	4.4%
年代別	未成年	182	50	22	40	30	74	23	41	1	2
			27.5%	12.1%	22.0%	16.5%	40.7%	12.6%	22.5%	0.5%	1.1%
	20歳代	147	33	43	20	25	55	32	25	0	2
			22.4%	29.3%	13.6%	17.0%	37.4%	21.8%	17.0%	0.0%	1.4%
	30歳代	180	37	48	35	27	75	34	25	3	1
			20.6%	26.7%	19.4%	15.0%	41.7%	18.9%	13.9%	1.7%	0.6%
	40歳代	213	51	56	35	36	70	26	44	7	3
			23.9%	26.3%	16.4%	16.9%	32.9%	12.2%	20.7%	3.3%	1.4%
	50歳代	261	63	73	43	27	108	49	42	1	8
			24.1%	28.0%	16.5%	10.3%	41.4%	18.8%	16.1%	0.4%	3.1%
	60歳代	315	82	67	58	31	116	56	52	3	16
			26.0%	21.3%	18.4%	9.8%	36.8%	17.8%	16.5%	1.0%	5.1%
	70歳以上	262	66	36	44	16	83	45	51	2	39
			25.2%	13.7%	16.8%	6.1%	31.7%	17.2%	19.5%	0.8%	14.9%

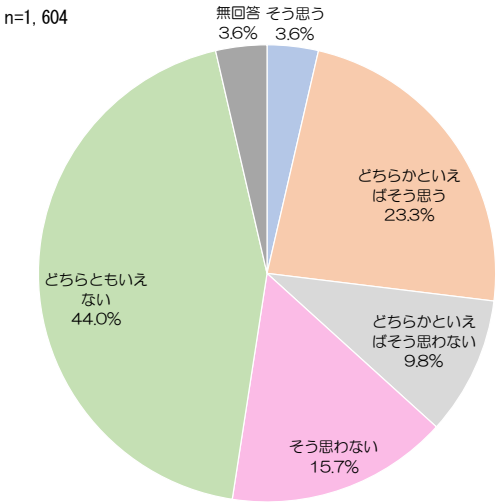
【問５１】日田市は、人権に対する意識の高いまちだと思いますか。（○は１つだけ）

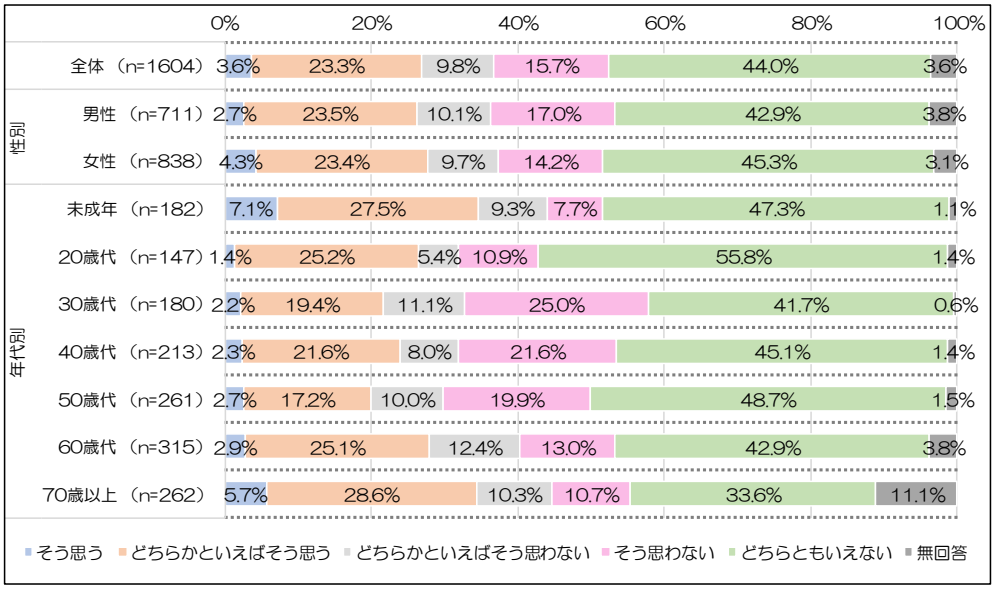
日田市は、人権に対する意識の高いまちだと思うかについては、意識の高いまちだと思う人※1が 26.9%、意識の高いまちだと思わない人※2が 25.5%となっています。

年代別にみると、「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」において、意識の高いまちだと思わない人の割合が意識の高いまちだと思う人より高くなっています。それ以外の年代においては、意識の高いまちだと思う人の割合の方が高くなっています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人

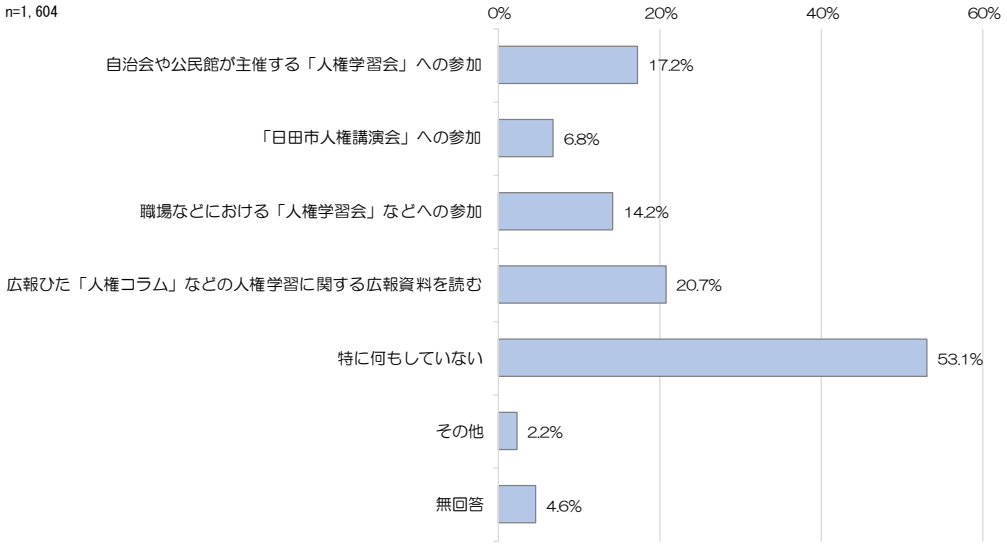




【問５２】あなたが、参加や学習している人権学習活動はどのようなものですか。
（○はいくつでも）

参加や学習している人権学習活動については、「特に何もしていない」が 53.1%と最も高く、次いで「広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する広報資料を読む」が 20.7%、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」が 17.2%、「職場などにおける「人権学習会」などへの参加」が 14.2%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「40 歳代」の年代において、「特に何もしていない」と回答した割合が 5 割を超え、「50 歳代」以上の年代よりも高くなっています。「未成年」から「30 歳代」の年代においては、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」と回答した割合が他の年代より特に低くなっています。「50 歳代」以下の年代においては、「職場などにおける「人権学習会」などへの参加」とする回答が上位に入っています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加	「日田市人権講演会」への参加	職場などにおける「人権学習会」などへの参加	広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する広報資料を読む	特に何もしていない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	276	109	227	332	851	36	74
			17.2%	6.8%	14.2%	20.7%	53.1%	2.2%	4.6%
性別	男性	711	125	47	99	121	406	7	30
			17.6%	6.6%	13.9%	17.0%	57.1%	1.0%	4.2%
	女性	838	140	57	122	198	419	27	38
			16.7%	6.8%	14.6%	23.6%	50.0%	3.2%	4.5%
年代別	未成年	182	8	8	22	10	123	19	2
			4.4%	4.4%	12.1%	5.5%	67.6%	10.4%	1.1%
	20歳代	147	3	7	19	17	107	0	3
			2.0%	4.8%	12.9%	11.6%	72.8%	0.0%	2.0%
	30歳代	180	7	5	28	29	122	3	1
			3.9%	2.8%	15.6%	16.1%	67.8%	1.7%	0.6%
	40歳代	213	38	19	43	33	118	3	4
			17.8%	8.9%	20.2%	15.5%	55.4%	1.4%	1.9%
	50歳代	261	45	19	65	65	122	4	10
			17.2%	7.3%	24.9%	24.9%	46.7%	1.5%	3.8%
	60歳代	315	87	31	35	97	130	1	16
			27.6%	9.8%	11.1%	30.8%	41.3%	0.3%	5.1%
	70歳以上	262	79	15	11	71	109	5	31
			30.2%	5.7%	4.2%	27.1%	41.6%	1.9%	11.8%

【問５３】あなたは、この１年間、どのくらい運動やスポーツを行いましたか。
（○は１つだけ）

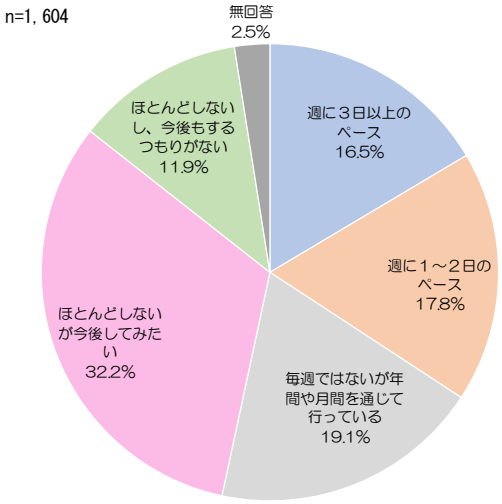
この１年間、どのくらい運動やスポーツを行ったかについては、運動を行っている人※1が53.4%、運動を行っていない人※2が44.1%となっています。

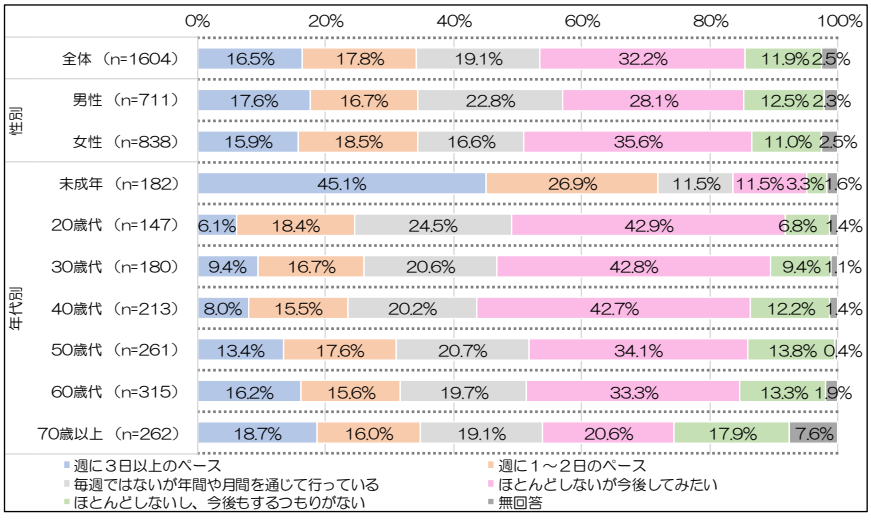
男女別にみると、運動を行っている人は、「男性」が57.1%で「女性」の51.0%と比較して6.1ポイント高くなっていますが、「ほとんどしないが今後してみたい」と回答した割合は、「女性」が35.6%で「男性」の28.1%と比較して7.5ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」においては運動を行っている人の割合が８割を超えています。「20歳代」「30歳代」「40歳代」の年代においては、「ほとんどしないが今後してみたい」と回答した割合が他の年代より高くなっています。

※1「週に３日以上のペース」若しくは「週に１～２日のペース」若しくは「毎週ではないが年間や月間を通じて行っている」と回答した人

※2「ほとんどしないが今後してみたい」若しくは「ほとんどしないし、今後もするつもりがない」と回答した人



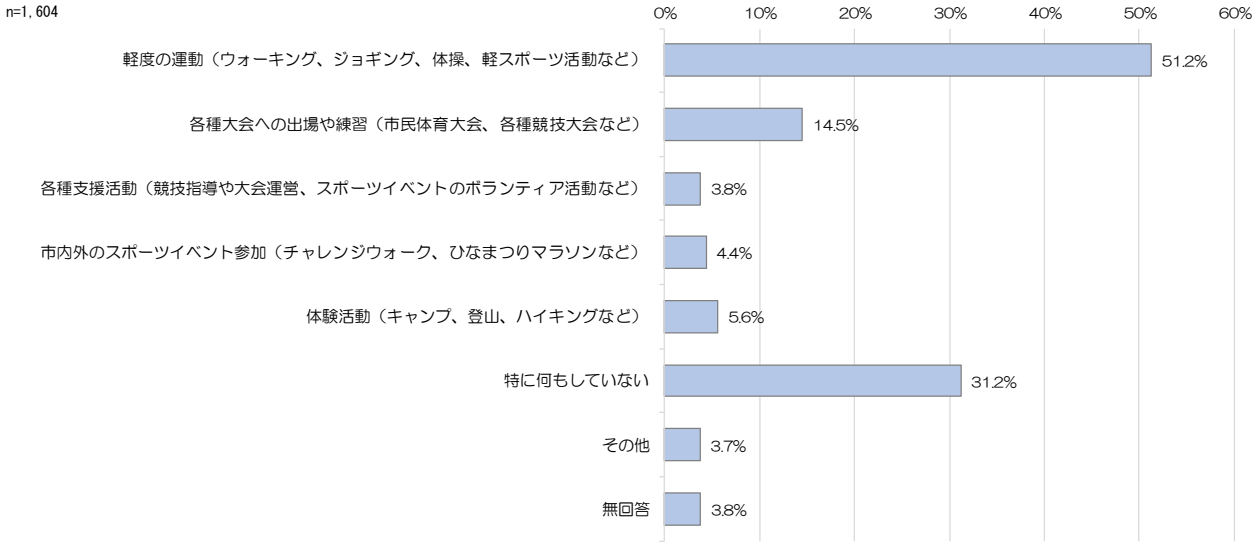


【問５４】ここ１～２年の間に、あなたが行ったスポーツなどはどのようなものですか。（○はいくつでも）

ここ１～２年の間に、行ったスポーツなどについては、「軽度の運動（ウォーキング、ジョギング、体操、軽スポーツ活動など）」が51.2%と最も高く、次いで「特に何もしていない」が31.2%、「各種大会への出場や練習（市民体育大会、各種競技大会など）」が14.5%の順となっています。

男女別にみると、「特に何もしていない」と回答した人の割合はほぼ同じですが、「各種大会への出場や練習（市民体育大会、各種競技大会など）」と回答した割合は「男性」が19.7%で「女性」の10.6%と比較して9.1ポイント高く、「軽度の運動（ウォーキング、ジョギング、体操、軽スポーツ活動など）」と回答した割合は「女性」が54.7%で「男性」の48.4%と比較して6.3ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」の年代においては、「各種大会への出場や練習（市民体育大会、各種競技大会など）」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



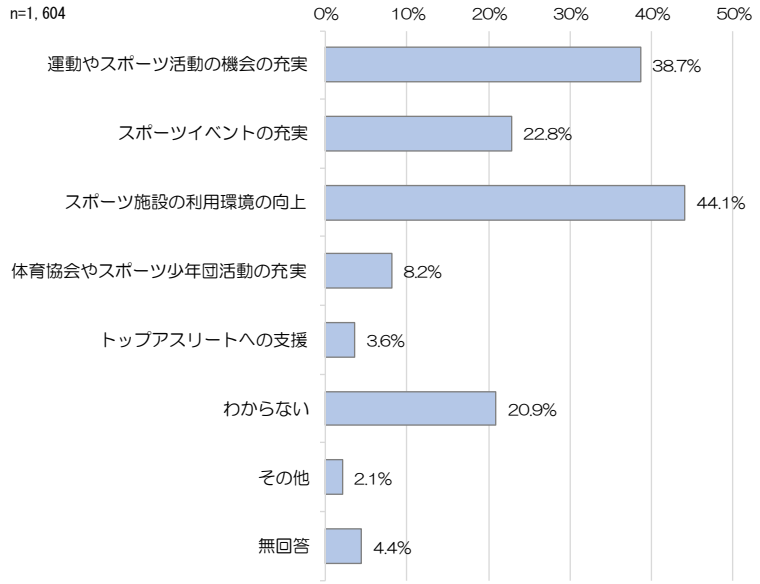
（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	軽度の運動（ウォーキング、ジョギング、体操、軽スポーツ活動など）	各種大会への出場や練習（市民体育大会、各種競技大会など）	各種支援活動（競技指導や大会運営、スポーツイベントのボランティア活動など）	市内外のスポーツイベント参加（チャレンジウォーク、ひなまつりマラソンなど）	体験活動（キャンプ、登山、ハイキングなど）	特に何もしていない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	822 51.2%	233 14.5%	61 3.8%	70 4.4%	90 5.6%	500 31.2%	60 3.7%	61 3.8%
性別	男性	711	344 48.4%	140 19.7%	34 4.8%	44 6.2%	46 6.5%	216 30.4%	21 3.0%	29 4.1%
	女性	838	458 54.7%	89 10.6%	26 3.1%	26 3.1%	42 5.0%	259 30.9%	37 4.4%	28 3.3%
年代別	未成年	182	101 55.5%	61 33.5%	13 7.1%	6 3.3%	9 4.9%	21 11.5%	26 14.3%	4 2.2%
	20歳代	147	67 45.6%	24 16.3%	7 4.8%	8 5.4%	13 8.8%	46 31.3%	5 3.4%	4 2.7%
	30歳代	180	86 47.8%	38 21.1%	6 3.3%	7 3.9%	15 8.3%	61 33.9%	5 2.8%	1 0.6%
	40歳代	213	108 50.7%	29 13.6%	11 5.2%	9 4.2%	15 7.0%	74 34.7%	5 2.3%	3 1.4%
	50歳代	261	141 54.0%	30 11.5%	10 3.8%	10 3.8%	12 4.6%	87 33.3%	3 1.1%	4 1.5%
	60歳代	315	173 54.9%	22 7.0%	9 2.9%	21 6.7%	18 5.7%	113 35.9%	4 1.3%	11 3.5%
	70歳以上	262	131 50.0%	26 9.9%	4 1.5%	9 3.4%	6 2.3%	79 30.2%	10 3.8%	30 11.5%

【問５５】日田市で、スポーツの振興を図るためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

日田市で、スポーツの振興を図るためには、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「スポーツ施設の利用環境の向上」が 44.1%と最も高く、次いで「運動やスポーツ活動の機会の充実」が 38.7%、「スポーツイベントの充実」が 22.8%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「40 歳代」の年代において、「スポーツイベントの充実」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

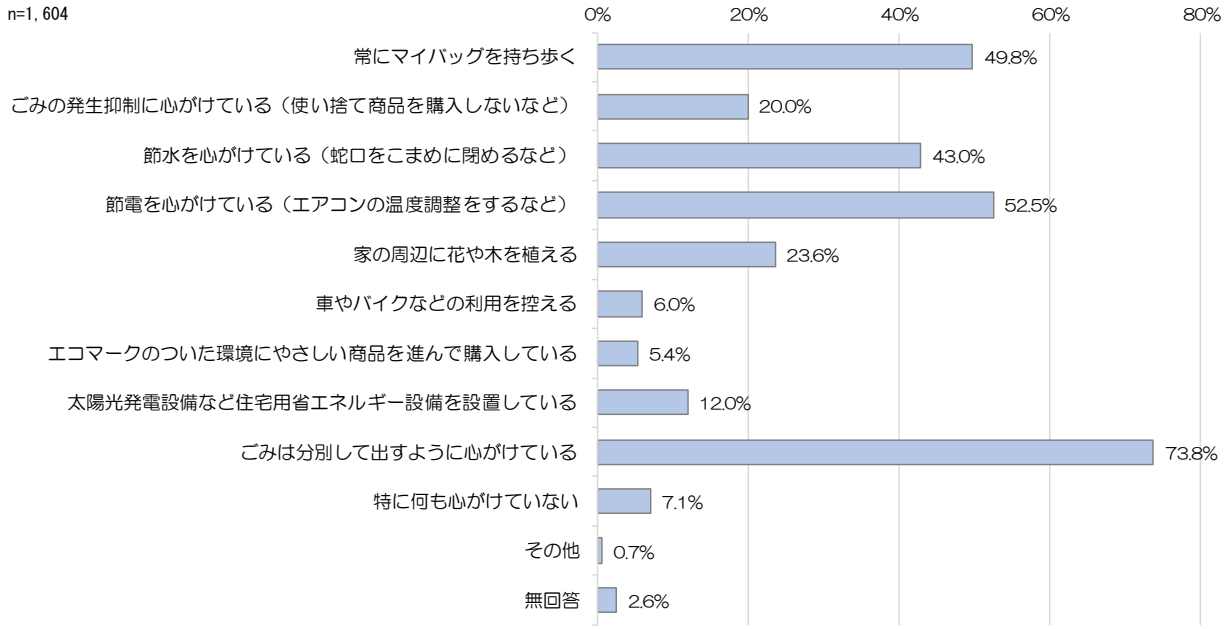
		標本数（人）	運動やスポーツ活動の機会の充実	スポーツイベントの充実	スポーツ施設の利用環境の向上	体育協会やスポーツ少年団活動の充実	トップアスリートへの支援	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	620	366	707	131	58	336	33	71
			38.7%	22.8%	44.1%	8.2%	3.6%	20.9%	2.1%	4.4%
性別	男性	711	266	184	314	68	33	145	16	26
			37.4%	25.9%	44.2%	9.6%	4.6%	20.4%	2.3%	3.7%
	女性	838	338	170	375	57	24	174	16	42
			40.3%	20.3%	44.7%	6.8%	2.9%	20.8%	1.9%	5.0%
年代別	未成年	182	78	56	97	26	16	21	1	3
			42.9%	30.8%	53.3%	14.3%	8.8%	11.5%	0.5%	1.6%
	20歳代	147	62	45	78	10	10	17	5	2
			42.2%	30.6%	53.1%	6.8%	6.8%	11.6%	3.4%	1.4%
	30歳代	180	77	55	82	13	5	29	5	3
			42.8%	30.6%	45.6%	7.2%	2.8%	16.1%	2.8%	1.7%
	40歳代	213	65	53	98	23	13	42	8	4
			30.5%	24.9%	46.0%	10.8%	6.1%	19.7%	3.8%	1.9%
	50歳代	261	102	52	123	15	8	53	11	7
			39.1%	19.9%	47.1%	5.7%	3.1%	20.3%	4.2%	2.7%
	60歳代	315	128	58	136	23	3	76	0	15
			40.6%	18.4%	43.2%	7.3%	1.0%	24.1%	0.0%	4.8%
	70歳以上	262	94	37	79	16	2	86	2	34
			35.9%	14.1%	30.2%	6.1%	0.8%	32.8%	0.8%	13.0%

【問５６】あなたが、環境を保全するために、普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。（○はいくつでも）

環境を保全するために、普段取り組んでいることについては、「ごみは分別して出すように心がけている」が 73.8%と最も高く、次いで「節電を心がけている（エアコンの温度調整をするなど）」が 52.5%、「常にマイバックを持ち歩く」が 49.8%の順となっています。

男女別にみると、「常にマイバックを持ち歩く」「節電を心がけている（エアコンの温度調整をするなど）」「ごみは分別して出すように心がけている」と回答した割合は「女性」の方が「男性」より 10 ポイント以上高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「20 歳代」において、「特に何も心がけていない」と回答した割合が他の年代より高くなっています。



（上段：人　下段：%）

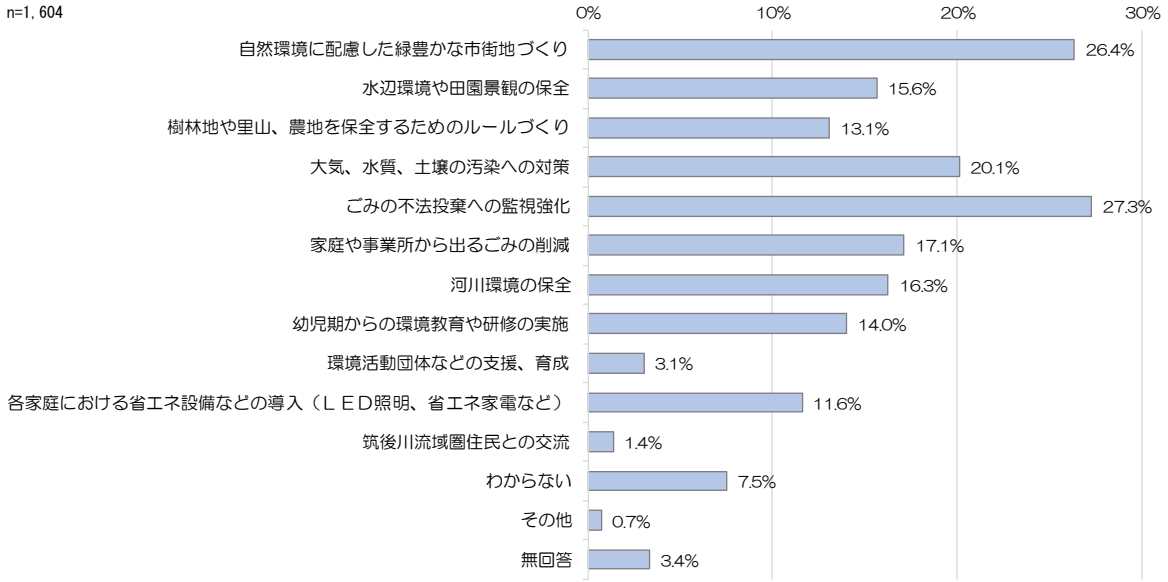
		標本数（人）	常にマイバッグを持ち歩く	ごみの発生抑制に心がけている（使い捨て商品を購入しないなど）	節水を心がけている（蛇口をこまめに閉めるなど）	節電を心がけている（エアコンの温度調整をするなど）	家の周辺に花や木を植える	車やバイクなどの利用を控える	エコマークのついた環境にやさしい商品を進んで購入している	太陽光発電設備など住宅用省エネルギー設備を設置している	ごみは分別して出すように心がけている	特に何も心がけていない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	799	320	689	842	379	97	87	192	1,183	114	11	42
			49.8%	20.0%	43.0%	52.5%	23.6%	6.0%	5.4%	12.0%	73.8%	7.1%	0.7%	2.6%
性別	男性	711	211	127	267	326	144	47	24	68	478	75	6	22
			29.7%	17.9%	37.6%	45.9%	20.3%	6.6%	3.4%	9.6%	67.2%	10.5%	0.8%	3.1%
	女性	838	560	180	397	486	221	43	57	117	666	38	5	15
			66.8%	21.5%	47.4%	58.0%	26.4%	5.1%	6.8%	14.0%	79.5%	4.5%	0.6%	1.8%
年代別	未成年	182	45	25	74	70	21	8	9	12	97	32	0	3
			24.7%	13.7%	40.7%	38.5%	11.5%	4.4%	4.9%	6.6%	53.3%	17.6%	0.0%	1.6%
	20歳代	147	67	17	52	66	7	8	2	12	96	18	0	2
			45.6%	11.6%	35.4%	44.9%	4.8%	5.4%	1.4%	8.2%	65.3%	12.2%	0.0%	1.4%
	30歳代	180	87	27	71	101	25	10	6	20	134	13	2	1
			48.3%	15.0%	39.4%	56.1%	13.9%	5.6%	3.3%	11.1%	74.4%	7.2%	1.1%	0.6%
	40歳代	213	102	34	79	106	35	7	5	32	147	15	1	3
			47.9%	16.0%	37.1%	49.8%	16.4%	3.3%	2.3%	15.0%	69.0%	7.0%	0.5%	1.4%
	50歳代	261	153	68	125	145	58	21	17	45	208	17	4	2
			58.6%	26.1%	47.9%	55.6%	22.2%	8.0%	6.5%	17.2%	79.7%	6.5%	1.5%	0.8%
	60歳代	315	194	73	154	181	108	20	23	43	264	7	2	6
			61.6%	23.2%	48.9%	57.5%	34.3%	6.3%	7.3%	13.7%	83.8%	2.2%	0.6%	1.9%
	70歳以上	262	130	65	112	149	114	19	21	22	208	11	2	20
			49.6%	24.8%	42.7%	56.9%	43.5%	7.3%	8.0%	8.4%	79.4%	4.2%	0.8%	7.6%

【問５７】自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は２つまで）

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「ごみの不法投棄への監視強化」が 27.3%と最も高く、次いで「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」が 26.4%、「大気、水質、土壌の汚染への対策」が 20.1%の順となっています。

男女別にみると、「河川環境の保全」と回答した割合は、「男性」が 21.2%で「女性」の 12.1%と比較して 9.1 ポイント高くなっています。「家庭や事業所から出るごみの削減」と回答した割合は、「女性」が 20.4%で「男性」の 12.9%と比較して 7.5 ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「20 歳代」「40 歳代」においては、「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」と回答した割合が最も高くなっています。「30 歳代」「50 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」においては、「ごみの不法投棄への監視強化」と回答した割合が最も高くなっています。



（上段：人　下段：%）

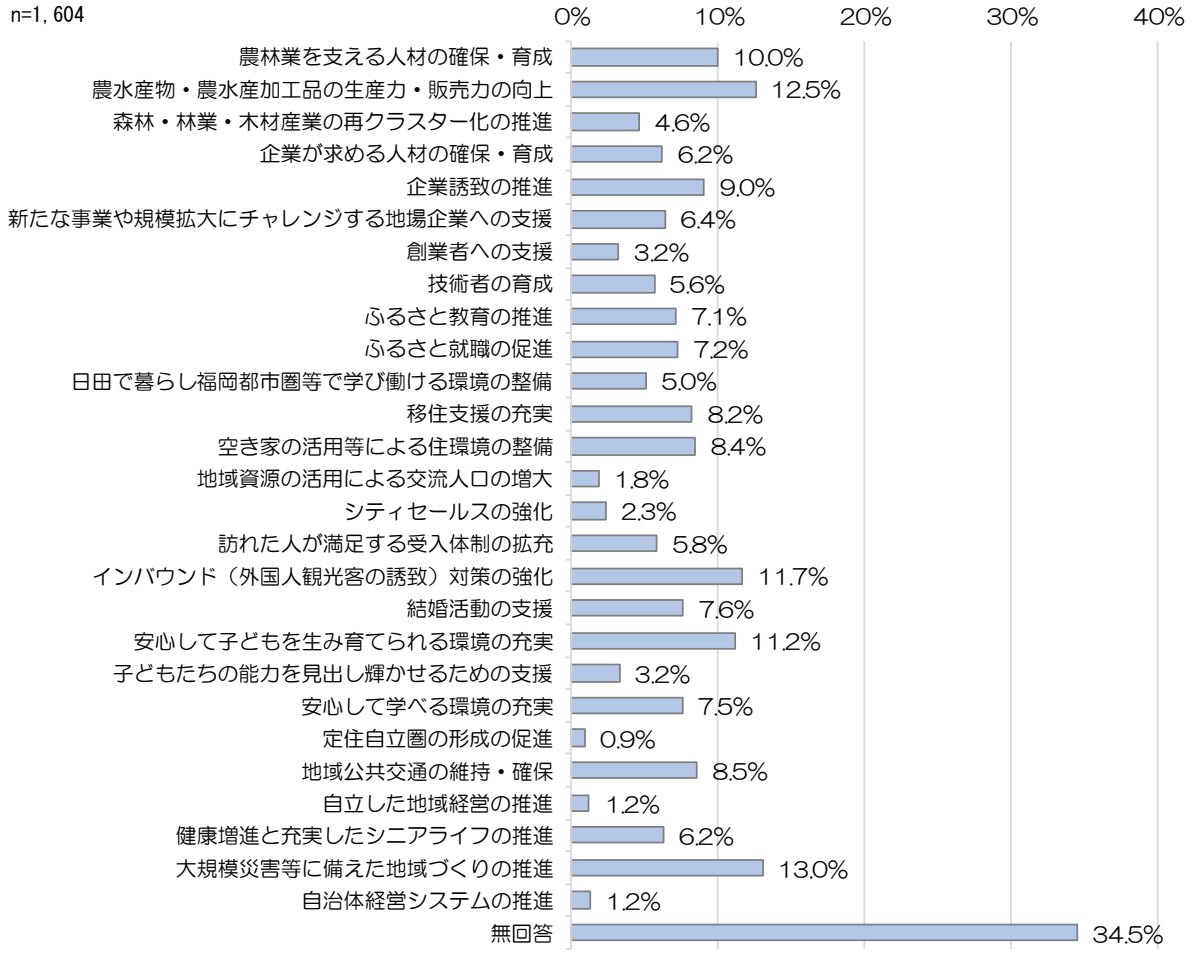
		標本数（人）	自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり	水辺環境や田園景観の保全	樹林地や里山、農地を保全するためのルールづくり	大気、水質、土壌の汚染への対策	ごみの不法投棄への監視強化	家庭や事業所から出るごみの削減	河川環境の保全	幼児期からの環境教育や研修の実施	環境活動団体などの支援、育成	各家庭における省エネ設備などの導入（LED照明、省エネ家電など）	筑後川流域圏住民との交流	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）		1,604	423	251	210	323	438	275	261	225	49	186	22	121	12	54
			26.4%	15.6%	13.1%	20.1%	27.3%	17.1%	16.3%	14.0%	3.1%	11.6%	1.4%	7.5%	0.7%	3.4%
性別	男性	711	171	125	108	129	201	92	151	81	23	77	13	55	6	26
			24.1%	17.6%	15.2%	18.1%	28.3%	12.9%	21.2%	11.4%	3.2%	10.8%	1.8%	7.7%	0.8%	3.7%
	女性	838	236	115	91	185	225	171	101	139	23	105	7	64	5	24
			28.2%	13.7%	10.9%	22.1%	26.8%	20.4%	12.1%	16.6%	2.7%	12.5%	0.8%	7.6%	0.6%	2.9%
年代別	未成年	182	54	30	12	48	52	29	22	18	5	19	1	26	0	3
			29.7%	16.5%	6.6%	26.4%	28.6%	15.9%	12.1%	9.9%	2.7%	10.4%	0.5%	14.3%	0.0%	1.6%
	20歳代	147	36	23	14	32	33	22	23	22	2	19	1	16	0	2
			24.5%	15.6%	9.5%	21.8%	22.4%	15.0%	15.6%	15.0%	1.4%	12.9%	0.7%	10.9%	0.0%	1.4%
	30歳代	180	43	28	15	42	49	18	34	29	6	23	2	19	3	2
			23.9%	15.6%	8.3%	23.3%	27.2%	10.0%	18.9%	16.1%	3.3%	12.8%	1.1%	10.6%	1.7%	1.1%
	40歳代	213	61	29	30	34	47	26	32	37	7	25	1	22	3	5
			28.6%	13.6%	14.1%	16.0%	22.1%	12.2%	15.0%	17.4%	3.3%	11.7%	0.5%	10.3%	1.4%	2.3%
	50歳代	261	68	39	36	64	73	52	39	42	9	27	6	12	2	3
			26.1%	14.9%	13.8%	24.5%	28.0%	19.9%	14.9%	16.1%	3.4%	10.3%	2.3%	4.6%	0.8%	1.1%
	60歳代	315	85	51	51	59	98	53	61	53	13	30	4	12	3	8
			27.0%	16.2%	16.2%	18.7%	31.1%	16.8%	19.4%	16.8%	4.1%	9.5%	1.3%	3.8%	1.0%	2.5%
	70歳以上	262	63	41	42	38	75	68	42	20	4	40	6	12	1	27
			24.0%	15.6%	16.0%	14.5%	28.6%	26.0%	16.0%	7.6%	1.5%	15.3%	2.3%	4.6%	0.4%	10.3%

【問５８】日田市は平成 28 年２月に「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、平成 27 年度から平成 31 年度にかけて、加速化する人口減少を抑制するために４つの基本目標を立て、全 27 項目に取り組んでいます。

① 平成 27 年度以降、日田市の取組として実感があるものを３項目選択して下さい。

平成 27 年度以降、日田市の取組として実感があるものについては、「無回答」を除くと「大規模災害等に備えた地域づくりの推進」が 13.0%と最も高く、次いで「農水産物・農水産加工品の生産力・販売力の向上」が 12.5%、「インバウンド（外国人観光客の誘致）対策の強化」が 11.7%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」「20 歳代」「30 歳代」において、「インバウンド（外国人観光客の誘致）対策の強化」と回答した割合が最も高くなっています。「30 歳代（「インバウンド対策」と同率）」「40 歳代」においては、「安心して子どもを生み育てられる環境の充実」と回答した割合が最も高くなっています。「50 歳代」においては、「大規模災害等に備えた地域づくりの推進」と回答した割合が最も高くなっています。「60 歳代」においては、「農水産物・農水産加工品の生産力・販売力の向上」と回答した割合が最も高くなっています。「70 歳以上」においては、「農林業を支える人材の確保・育成」と回答した割合が最も高くなっています。



（上段：人　下段：％）

		標本数（人）	農林業を支える人材の確保・育成	農水産物・農水産加工品の生産力・販売力の向上	森林・林業・木材産業の再クラスター化の推進	企業が求める人材の確保・育成	企業誘致の推進	新たな事業や規模拡大にチャレンジする地場企業への支援	創業者への支援	技術者の育成	ふるさと教育の推進	ふるさと就職の促進	日田で暮らし福岡都市圏等で学び働ける環境の整備	移住支援の充実	空き家の活用等による住環境の整備	地域資源の活用による交流人口の増大	シティセールスの強化
全体（単純集計）		1,604	160	201	74	99	145	102	51	90	114	116	81	132	135	29	37
			10.0%	12.5%	4.6%	6.2%	9.0%	6.4%	3.2%	5.6%	7.1%	7.2%	5.0%	8.2%	8.4%	1.8%	2.3%
性別	男性	711	89	89	37	47	70	44	26	47	46	55	35	62	55	14	18
			12.5%	12.5%	5.2%	6.6%	9.8%	6.2%	3.7%	6.6%	6.5%	7.7%	4.9%	8.7%	7.7%	2.0%	2.5%
	女性	838	62	108	35	47	71	54	24	38	62	57	42	68	74	14	17
			7.4%	12.9%	4.2%	5.6%	8.5%	6.4%	2.9%	4.5%	7.4%	6.8%	5.0%	8.1%	8.8%	1.7%	2.0%
年代別	未成年	182	14	20	11	15	8	9	3	11	29	12	9	5	9	3	3
			7.7%	11.0%	6.0%	8.2%	4.4%	4.9%	1.6%	6.0%	15.9%	6.6%	4.9%	2.7%	4.9%	1.6%	1.6%
	20歳代	147	13	17	5	9	9	5	5	6	14	13	17	13	11	3	3
			8.8%	11.6%	3.4%	6.1%	6.1%	3.4%	3.4%	4.1%	9.5%	8.8%	11.6%	8.8%	7.5%	2.0%	2.0%
	30歳代	180	8	19	4	12	11	10	6	5	12	8	4	18	12	2	4
			4.4%	10.6%	2.2%	6.7%	6.1%	5.6%	3.3%	2.8%	6.7%	4.4%	2.2%	10.0%	6.7%	1.1%	2.2%
	40歳代	213	15	27	11	10	15	12	6	11	16	13	9	22	26	2	8
			7.0%	12.7%	5.2%	4.7%	7.0%	5.6%	2.8%	5.2%	7.5%	6.1%	4.2%	10.3%	12.2%	0.9%	3.8%
	50歳代	261	24	34	8	9	29	13	9	15	19	17	8	26	26	5	9
			9.2%	13.0%	3.1%	3.4%	11.1%	5.0%	3.4%	5.7%	7.3%	6.5%	3.1%	10.0%	10.0%	1.9%	3.4%
	60歳代	315	35	44	16	17	41	21	7	14	17	27	17	30	25	6	5
			11.1%	14.0%	5.1%	5.4%	13.0%	6.7%	2.2%	4.4%	5.4%	8.6%	5.4%	9.5%	7.9%	1.9%	1.6%
	70歳以上	262	46	36	19	23	28	28	14	25	2	22	14	16	23	7	3
			17.6%	13.7%	7.3%	8.8%	10.7%	10.7%	5.3%	9.5%	0.8%	8.4%	5.3%	6.1%	8.8%	2.7%	1.1%

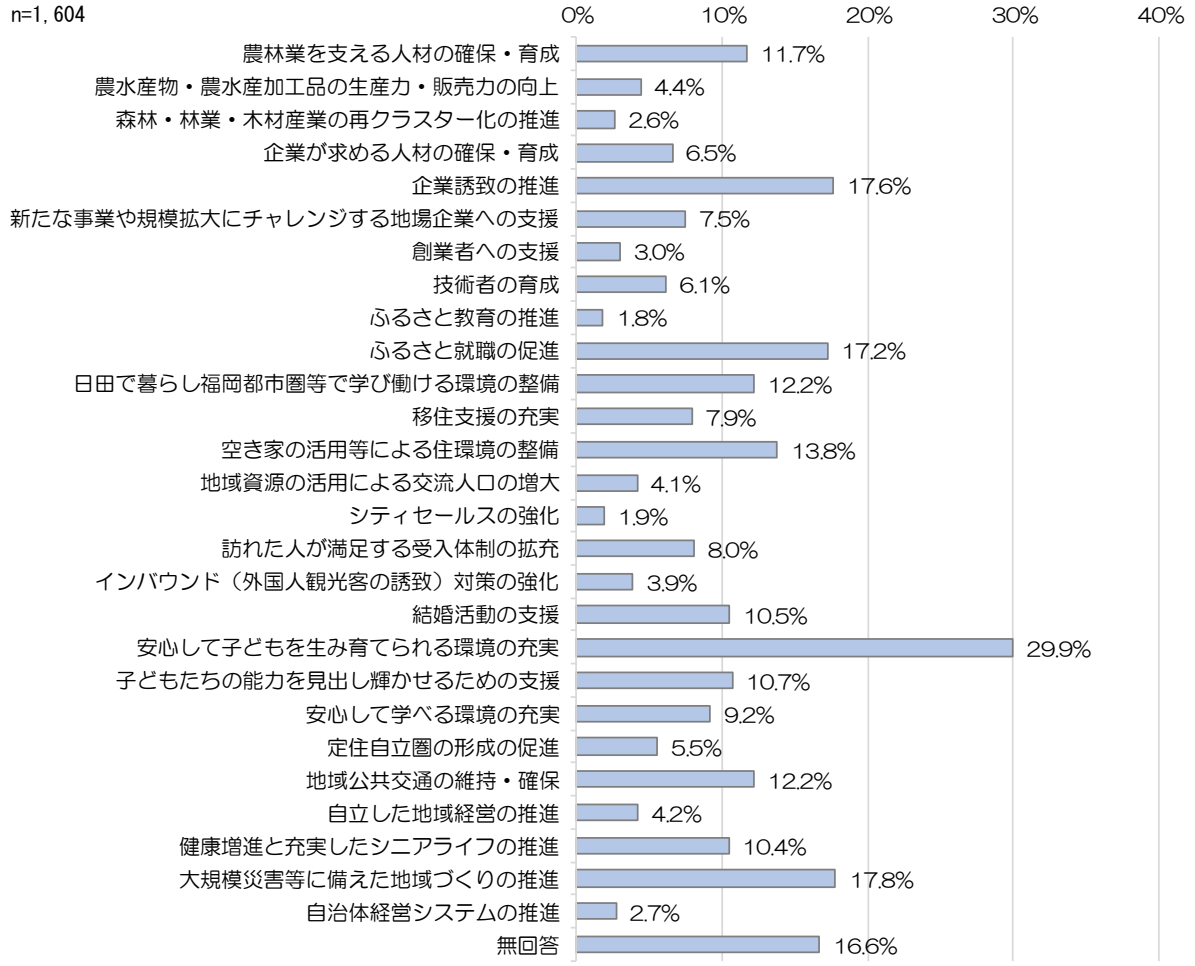
（上表の続き）

		標本数（人）	訪れた人が満足する受入体制の拡充	インバウンド（外国人観光客の誘致）対策の強化	結婚活動の支援	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	子どもたちの能力を見出し輝かせるための支援	安心して学べる環境の充実	定住自立圏の形成の促進	地域公共交通の維持・確保	自立した地域経営の推進	健康増進と充実したシニアライフの推進	大規模災害等に備えた地域づくりの推進	自治体経営システムの推進	無回答
全体（単純集計）		1,604	93	187	122	179	52	121	14	137	19	100	209	20	554
			5.8%	11.7%	7.6%	11.2%	3.2%	7.5%	0.9%	8.5%	1.2%	6.2%	13.0%	1.2%	34.5%
性別	男性	711	39	67	45	67	22	49	6	57	14	37	82	7	257
			5.5%	9.4%	6.3%	9.4%	3.1%	6.9%	0.8%	8.0%	2.0%	5.2%	11.5%	1.0%	36.1%
	女性	838	50	117	74	109	28	71	8	79	5	60	121	13	273
			6.0%	14.0%	8.8%	13.0%	3.3%	8.5%	1.0%	9.4%	0.6%	7.2%	14.4%	1.6%	32.6%
年齢別	未成年	182	28	41	8	24	15	38	2	24	3	16	35	4	43
			15.4%	22.5%	4.4%	13.2%	8.2%	20.9%	1.1%	13.2%	1.6%	8.8%	19.2%	2.2%	23.6%
	20歳代	147	7	22	20	19	8	12	1	13	4	10	14	1	45
			4.8%	15.0%	13.6%	12.9%	5.4%	8.2%	0.7%	8.8%	2.7%	6.8%	9.5%	0.7%	30.6%
	30歳代	180	10	29	25	29	2	15	3	9	3	10	23	2	60
			5.6%	16.1%	13.9%	16.1%	1.1%	8.3%	1.7%	5.0%	1.7%	5.6%	12.8%	1.1%	33.3%
	40歳代	213	12	29	20	36	10	15	1	21	4	13	34	5	61
			5.6%	13.6%	9.4%	16.9%	4.7%	7.0%	0.5%	9.9%	1.9%	6.1%	16.0%	2.3%	28.6%
	50歳代	261	14	33	16	28	5	12	1	24	2	15	47	6	90
			5.4%	12.6%	6.1%	10.7%	1.9%	4.6%	0.4%	9.2%	0.8%	5.7%	18.0%	2.3%	34.5%
	60歳代	315	7	21	14	28	3	17	3	33	2	29	37	2	121
			2.2%	6.7%	4.4%	8.9%	1.0%	5.4%	1.0%	10.5%	0.6%	9.2%	11.7%	0.6%	38.4%
	70歳以上	262	11	9	17	13	8	11	3	12	1	4	14	0	114
			4.2%	3.4%	6.5%	5.0%	3.1%	4.2%	1.1%	4.6%	0.4%	1.5%	5.3%	0.0%	43.5%

②また、今後５年間の日田市を考えた時に、重要な取組だと思うものを３項目選択して下さい。

今後５年間の日田市を考えた時に、重要な取組だと思うものについては、「安心して子どもを生み育てられる環境の充実」が 29.9%と最も高く、次いで「大規模災害等に備えた地域づくりの推進」が 17.8%、「企業誘致の推進」が 17.6%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代において、「安心して子どもを生み育てられる環境の充実」と回答した割合が高くなっています。次いで、「未成年」においては「日田で暮らし福岡都市圏等で学び働ける環境の整備」と回答した割合が高くなっています。「20 歳代」「70 歳以上」においては「大規模災害等に備えた地域づくりの推進」と回答した割合が高くなっています。「30 歳代」においては「子どもたちの能力を見出し輝かせるための支援」と回答した割合が高くなっています。「40 歳代」「50 歳代」「60 歳代」においては「企業誘致の推進」と回答した割合が高くなっています。



（上段：人　下段：%）

		標本数（人）	農林業を支える人材の確保・育成	農水産物・農水産加工品の生産力・販売力の向上	森林・林業・木材産業の再クラスター化の推進	企業が求める人材の確保・育成	企業誘致の推進	新たな事業や規模拡大にチャレンジする地場企業への支援	創業者への支援	技術者の育成	ふるさと教育の推進	ふるさと就職の促進	日田で暮らし福岡都市圏等で学び働ける環境の整備	移住支援の充実	空き家の活用等による住環境の整備	地域資源の活用による交流人口の増大	シティセールスの強化
全体（単純集計）		1,604	187	70	42	105	282	120	48	98	29	276	195	127	221	66	30
			11.7%	4.4%	2.6%	6.5%	17.6%	7.5%	3.0%	6.1%	1.8%	17.2%	12.2%	7.9%	13.8%	4.1%	1.9%
性別	男性	711	85	47	22	50	153	58	24	49	8	124	82	68	89	37	15
			12.0%	6.6%	3.1%	7.0%	21.5%	8.2%	3.4%	6.9%	1.1%	17.4%	11.5%	9.6%	12.5%	5.2%	2.1%
	女性	838	94	23	18	52	125	61	23	45	20	146	107	55	127	26	13
			11.2%	2.7%	2.1%	6.2%	14.9%	7.3%	2.7%	5.4%	2.4%	17.4%	12.8%	6.6%	15.2%	3.1%	1.6%
年代別	未成年	182	16	3	2	16	26	14	8	19	4	30	37	12	16	2	9
			8.8%	1.6%	1.1%	8.8%	14.3%	7.7%	4.4%	10.4%	2.2%	16.5%	20.3%	6.6%	8.8%	1.1%	4.9%
	20歳代	147	13	7	2	12	26	15	6	11	6	16	20	11	18	6	5
			8.8%	4.8%	1.4%	8.2%	17.7%	10.2%	4.1%	7.5%	4.1%	10.9%	13.6%	7.5%	12.2%	4.1%	3.4%
	30歳代	180	28	14	6	13	19	13	6	13	6	27	13	18	20	3	6
			15.6%	7.8%	3.3%	7.2%	10.6%	7.2%	3.3%	7.2%	3.3%	15.0%	7.2%	10.0%	11.1%	1.7%	3.3%
	40歳代	213	19	12	8	18	45	20	12	24	2	39	27	23	30	8	4
			8.9%	5.6%	3.8%	8.5%	21.1%	9.4%	5.6%	11.3%	0.9%	18.3%	12.7%	10.8%	14.1%	3.8%	1.9%
	50歳代	261	39	12	6	18	67	20	5	17	1	64	39	30	42	12	2
			14.9%	4.6%	2.3%	6.9%	25.7%	7.7%	1.9%	6.5%	0.4%	24.5%	14.9%	11.5%	16.1%	4.6%	0.8%
	60歳代	315	48	14	10	16	65	22	8	8	6	52	33	18	50	20	1
			15.2%	4.4%	3.2%	5.1%	20.6%	7.0%	2.5%	2.5%	1.9%	16.5%	10.5%	5.7%	15.9%	6.3%	0.3%
	70歳以上	262	16	8	6	9	32	15	2	2	3	42	22	13	41	12	2
			6.1%	3.1%	2.3%	3.4%	12.2%	5.7%	0.8%	0.8%	1.1%	16.0%	8.4%	5.0%	15.6%	4.6%	0.8%

（上表の続き）

		標本数（人）	訪れた人が満足する受入体制の拡充	インバウンド（外国人観光客の誘致）対策の強化	結婚活動の支援	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	子どもたちの能力を見出し輝かせるための支援	安心して学べる環境の充実	定住自立圏の形成の促進	地域公共交通の維持・確保	自立した地域経営の推進	健康増進と充実したシニアライフの推進	大規模災害等に備えた地域づくりの推進	自治体経営システムの推進	無回答
全体（単純集計）		1,604	129	62	168	480	171	147	89	195	67	167	285	43	267
			8.0%	3.9%	10.5%	29.9%	10.7%	9.2%	5.5%	12.2%	4.2%	10.4%	17.8%	2.7%	16.6%
性別	男性	711	50	29	84	204	77	52	39	80	33	56	121	18	108
			7.0%	4.1%	11.8%	28.7%	10.8%	7.3%	5.5%	11.3%	4.6%	7.9%	17.0%	2.5%	15.2%
	女性	838	77	32	78	263	89	91	46	108	31	105	153	21	143
			9.2%	3.8%	9.3%	31.4%	10.6%	10.9%	5.5%	12.9%	3.7%	12.5%	18.3%	2.5%	17.1%
年代別	未成年	182	28	18	19	54	22	21	4	23	6	25	29	3	23
			15.4%	9.9%	10.4%	29.7%	12.1%	11.5%	2.2%	12.6%	3.3%	13.7%	15.9%	1.6%	12.6%
	20歳代	147	15	8	18	54	17	14	3	12	6	17	33	1	18
			10.2%	5.4%	12.2%	36.7%	11.6%	9.5%	2.0%	8.2%	4.1%	11.6%	22.4%	0.7%	12.2%
	30歳代	180	15	6	21	75	43	32	9	9	10	12	29	3	22
			8.3%	3.3%	11.7%	41.7%	23.9%	17.8%	5.0%	5.0%	5.6%	6.7%	16.1%	1.7%	12.2%
	40歳代	213	12	6	17	67	30	20	12	34	10	13	33	6	24
			5.6%	2.8%	8.0%	31.5%	14.1%	9.4%	5.6%	16.0%	4.7%	6.1%	15.5%	2.8%	11.3%
	50歳代	261	16	7	29	85	17	14	15	31	10	26	51	6	27
			6.1%	2.7%	11.1%	32.6%	6.5%	5.4%	5.7%	11.9%	3.8%	10.0%	19.5%	2.3%	10.3%
	60歳代	315	22	12	34	85	19	23	30	40	12	36	57	9	57
			7.0%	3.8%	10.8%	27.0%	6.0%	7.3%	9.5%	12.7%	3.8%	11.4%	18.1%	2.9%	18.1%
	70歳以上	262	20	4	24	48	18	19	14	40	11	33	46	13	84
			7.6%	1.5%	9.2%	18.3%	6.9%	7.3%	5.3%	15.3%	4.2%	12.6%	17.6%	5.0%	32.1%

調査結果に対する
有識者の考察

調査結果に対する有識者の考察

Ⅰ．市民協働

「市民協働の重要性は認めるが、満足度は低い」

コミュニティ活動やボランティア活動への参加については、子育て世代は子育てに関する活動への参加経験や参加意向があるなど、属性に応じた結果となっている。また、年齢や性別など、多様な市民が参加できるよう、さらなる環境づくりが重要だと考えられる。

市政への参加については、一定の関心や参加意向があった。そして、市政にかかる情報提供の内容、わかり易さや媒体次第では、それらの改善が見込まれる結果となっている。

このような結果から、提供する情報の内容や媒体を市民の属性に応じて使い分けることによって、市民のコミュニティ活動、ボランティア活動や市政への参加を促すことができると考えられる。

ソーシャルキャピタル（社会関係資本）という言葉に代表されるように、地域の持続可能性を高めるためには、地域課題の解決に資する知識や経験を有する人や組織が柔軟に協働できる仕組みが欠かせない。また、市民協働は、目的ではなく手段であるため、適用の分野を問わない。多様な分野における地域の課題を解決して、市民が豊かに暮らし続けるためにも、多様な市民が参加・協働できる環境づくりが重要だと考えられる。

※1 ソーシャルキャピタル（社会関係資本）とは、社会や地域における人々の結びつきや信頼関係のことです。

２．福祉

「福祉の重要性が認められ、高齢者・障がい者福祉以外の満足度は高い」

健康づくり・保健・医療や子ども・子育て支援については、一定の評価は得られているが、半数には届かない結果となっている。また、健康づくり・保健・医療については、検診費用の助成、子ども・子育て支援については、保育園・認定こども園の整備・充実、子育て中の女性の就労支援や子育て世帯への経済支援など、いずれも世帯の経済的負担の軽減にかかる支援が求められているのではないだろうか。

高齢者・障がい者福祉については、高齢者の生きがいの有無、障がい者の暮らしやすさのいずれも低い評価となっている。また、高齢者福祉については、地域での交流や在宅福祉の充実、障がい者福祉については就労支援が望まれていると考えられる。

防災・防犯については、いずれにかかる意識も低い様子がうかがえる結果となっている。また、防災については、自主防災組織の存在や危険箇所・避難場所の把握にかかる情報の入手が、防犯については、空き巣などへの対策を望む声が聞かれる。

このような福祉にかかる市民のニーズについては、多様な主体が共生する安全・安心な地域社会を実現するために満たされるべき課題である。ただし、誰が上記のニーズに応えるべきなのかについては、十分な検討が必要である。たとえば、高齢者の生きがい創出や交流の場については、旧来からある行政が設置した施設に加えて、近年では自宅を開放したコミュニティカフェなど市民個人やコミュニティによる場の提供が注目されている。また、防災・防犯の推進におけるコミュニティ活動の重要性は、今更指摘する必要はないだろう。したがって、先の市民協働において触れたように、これらのニーズを満たすことのできる可能性のある市民への情報提供や担い手の育成、そして市民協働に積極的に取り組むことが重要だと考えられる。

３．産業振興

「産業振興の重要性は認めるが、観光以外、特に商工業の満足度は低い」

観光については、資源磨きが進む一方で、受け入れ体制の充実が不十分であるとの結果となった。また、農林水産業や商工業については、まだ日田産品を目にする機会が限られており、あまり購入されていない現状が明らかになった。そして、これらの産業の振興にかかる課題については、後継者・担い手の育成や確保があげられた。

観光客の受け入れは、外貨を稼ぐこと、市民による日田産品の購入は、域内循環を促進することを意味するため、いずれも地域における雇用の創出や所得の増大に寄与する。ただし、やみくもに観光客の受け入れ体制を整えれば良いという訳ではない。情報通信技術が発達し、観光客が事前に多様な情報を入手できるとともに、国内外各地が観光振興に躍起になる中で、地域の強みは何かを十分吟味した上で、その強みに呼応する層の観光客を受け入れる体制の整備に努める必要があると考えられる。また、市民による日田産品の購入については、今までスーパー等で購入してきた食料品などを地場産品で代替しようとしても、価格の折り合いがつかない可能性があるため、飲食店での食材としての利用や贈答品としての活用など、多様な手法で地産地消を推進することが重要だと考えられる。そして、後継者や担い手の育成・確保については、承継したいと思われる企業づくりや、地元の人材だけでは承継が難しい場合は、移住者への承継も考えられる。

４．生活基盤

「生活基盤の重要性も満足度も総じて低いが、道路・河川・公共交通の整備と減災・災害復旧の重要度は非常に高く、満足度は非常に低い」

生活基盤の中でも、特に公共交通の利便性については、非常に低い評価となった。人口減少に伴って不採算路線が増加する中で、公共交通の維持・拡充は難しいと思われるが、買い物弱者対策としても公共交通の維持は必須であり、既存の路線バスに加えて、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど、地区の事情に応じた移動手段の確保が求められているのではないだろうか。

減災については、行政による河川改修などハード整備による減災対策に加えて、河川増水時の早期避難にかかる隣近所の声かけなど市民によるソフトな対策の充実についても市民協働で進めることが望ましいと考える。

５．教育・文化

「教育の重要性は学校教育を除いて低いが、満足度は総じて高い」

学校教育については、生活習慣の定着、教育活動の公開や家庭や地域との連携などにおいて一定の評価を得ている。また、学力の定着や道徳教育の充実を図る一方で、いじめ・不登校対策や相談体制の充実を望む声が聞かれた。

生涯学習については、学習の内容を問わず低調な状況となっており、気軽に立ち寄れる学習の場の整備が求められているのではないだろうか。

今日の学校教育や生涯学習は、単に個人の成長だけではなく、コミュニティ活動やボランティア活動、市政への参加、市民協働に臨む市民の資質や能力の向上にも資する重要な役割を担っている。したがって、特に生涯学習においては、地域課題の提示から何らかの活動の方法に至る講座などを用意するなどして人材育成に取り組むことが重要だと考えられる。

６．環境

「環境の重要性はそれほど高くないが、満足度は総じて高い」

環境保全について、ゴミの分別やマイバッグの利用などに一定割合の市民が取り組んでいるが、これらの取り組みについては可能な限り高い割合の市民が取り組む必要があるため、引き続き啓発に励むことが重要であると考えられる。

また、ゴミの不法投棄の監視強化が望まれており、市民協働によって日常的な監視体制を構築するなどの検討が必要だと考えられる。

考察者：長崎大学経済学部　准教授　山口純哉

平成 30 年度　日田市市民意識調査

平成 31 年３月
企 画 ・ 発 行：日田市　企画振興部　地方創生推進課
〒 877-8601　大分県日田市田島２丁目６番１号
TEL　0973-22-8223
FAX　0973-22-8250
http://www.city.hita.oita.jp/
E-mail　kikaku@city.hita.oita.jp
調 査 委 託：株式会社　九州みらい研究所